

令和3年度

幸田町教育概要



幸田町教育委員会

【表紙】

表紙の写真は、荻谷小学校での音楽の授業の様子です。

「楽器と仲良くなろう」をテーマとして、打楽器を中心に音の出し方を工夫し、いろいろな音を聞いて楽しむことができました。

幸田町民憲章



わたくしたちは、心ゆたかな住みよいまちづくりをめざし、ここに町民憲章を定めます。

- 1 緑豊かに、水清らかに、みんなで美しいまちをつくりましょう。
- 1 ありがとう、いつも笑顔で親切の輪を広げましょう。
- 1 活気と希望と夢にみちた、若い力を育てましょう。
- 1 スポーツに親しみ、心身を鍛え、健康なまちをつくりましょう。
- 1 豊かな知識と教養を高め、文化の向上に努めましょう。

はじめに

世界中で新型コロナウイルスの感染が拡大し、私たちの生活は大きく変わりました。日々のマスク着用、三密の回避など、感染対策をこれまで以上に日常生活に定着させ、持続させなければならなくなりました。今、子どもたちは、これまでの学校生活とは一変し、窮屈な思いをしていると思われます。そんな子どもたちが少しでも充実した学校生活を送れるよう、工夫して学校行事を実施してまいります。

令和2年度から小学校が、令和3年度からは中学校において全面実施となった新学習指導要領では、「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という目標を学校と社会とが共有し、それぞれの学校において、必要な教育内容をどのように学び、どのような資質・能力を身につけられるようにするのかを明確にしながら、社会と連携・協働によりその実現を図っていくこと」を理念としています。理念の実現を図ることで豊かな心、健やかな体を育成する取組を続けてまいります。

また、社会・経済の急速な変化、自由時間の増大などの社会の成熟化により、新しい知識や技術の習得、心の豊かさや生きがいのための学習需要が増大しています。これらの需要に的確に対応し、生涯学習の基盤を整備することは、学習者自身の知識・技能の向上のほか、社会制度の基盤である人材育成にもつながり、社会・経済の発展に寄与することが期待されます。そのような生涯学習社会の実現を目指し、生涯学習の基盤の整備に努めてまいります。

最後になりましたが、本書は、幸田町における学校教育、生涯学習についての概要をまとめたものです。多くの皆様に御活用いただければ幸いです。

令和3年6月

幸田町教育委員会

教育長 小野 伸之

目 次

幸田町の現況	1
幸田町行政組織図	2
教育予算の状況	3
教育委員会	
1 教育委員会名簿	4
2 教育委員会施策評価	4
学 校 教 育	
学校教育推進機構	6
学校教育展開の指針	7
令和3年度児童・生徒数	8
坂崎小学校	9
幸田小学校	12
中央小学校	15
荻谷小学校	18
深溝小学校	21
豊坂小学校	24
幸田中学校	27
南部中学校	30
北部中学校	33
幸田町教育相談室・適応指導教室	36
地域に根ざした学校づくり事業	37
幸田町奨学金制度	41
令和2年度就学援助受給者内訳表	42
学校給食	43
生 涯 学 習	
生涯学習推進機構	47
生涯学習推進事業計画	
1 重点目標	48
生涯学習事業計画	49
2 生涯学習事業の概要	
(1) 生涯学習の推進	50
(2) 生涯学習の観点に立った学習の推進	50
(3) ライフサークル事業の推進	50
(4) 公民館活動	51
(5) 視聴覚教育活動	51

(6) 文化振興、文化財保護活動	51
(7) 幸山町郷土資料館	53
(8) 幸山文化広場・さくら会館	54
(9) 公民館	54
3 幸田町指定文化財一覧表	55
4 令和2年度利用実績	
(1) 視聴覚ライブラリー備品等貸出件数	57
(2) 郷土資料館利用状況	58
(3) 郷土資料館季節・企画展示実績	58
(4) 文化振興展入館実績	59
(5) さくら会館利用状況	60
(6) 中央公民館利用状況	61
(7) 地区公民館利用状況	62
(8) ライフサークル事業実績	62
各種委員名簿	
(1) 生涯学習推進本部委員	63
(2) 社会教育委員	64
(3) ライフサークル事業推進委員	65
(4) 視聴覚ライブラリー運営委員	65
(5) 青少年問題協議会委員	66
(6) 青少年健全育成地域推進員	66
(7) 文化財保護委員、幸田町郷土資料館運営委員	67
(8) 子ども読書活動推進計画推進委員	67
(9) 島原藩主深溝松平家墓所保存整備委員	68
社会体育推進事業計画	
1 重点目標	69
2 社会体育組織図	69
3 社会体育事業の概要	70
令和3年度社会体育事業計画	71
4 令和2年度社会体育事業実績	
(1) スポーツ協会の育成	72
(2) スポーツ教室の開設	72
(3) 各種スポーツ大会等の開催	72
(4) スポーツ協会表彰	73
(5) 学校体育施設一般開放の現況	74
(6) スポーツクラブの現況	74
(7) 社会体育施設の状況	74
令和2年度社会体育施設利用状況	79
令和2年度学校体育施設スポーツ開放利用状況	81

各種委員名簿

(1) スポーツ協会役員	83
(2) スポーツ推進委員	83
(3) 地区スポーツリーダー	84

施設管理運営事業計画

1 重点目標	85
2 令和3年度事業計画	85
3 ハッピネス・ヒル・幸田 施設の概要	
(1) 町民会館	85
(2) 図書館	86
(3) 町民プール	87
(4) 思索の森、センタープラザ及びその他の屋外施設	88
(5) その他	88
(6) 指定管理者の変遷	88
4 令和2年度までの実績	
(1) ハッピネス・ヒル・幸田全体	89
(2) 町民会館	91
(3) 図書館	93
(4) 町民プール	95
(5) 文化振興協会	96

参考資料

幸田町いじめ防止基本方針	1
幸田町子ども読書活動推進計画(第三次)の概要	13
幸田町子どもの権利に関する条例(抜粋)	14

幸田町の現況

幸田町は、中部圏の中核である名古屋市から45 km圏内にあり、南北10.55 km、東西10.25 km、面積56.72 km²、人口42,658人（令和3年4月1日現在）のまちです。

本町は、中央部を南東から北西にかけてJR東海道新幹線が通過し、南北にはJR東海道本線と国道248号が縦貫し、さらに東西に名豊バイパスが横断し、蒲郡の臨海工業地帯と岡崎・豊田の内陸工業地帯を結ぶ交通の要衝となっており、JR3駅（幸田・三ヶ根・相見）周辺市街地に、ハピネス・ヒル・幸田を中心とした地域交流拠点を加えた4極を都市の骨格を形成する都市核と位置づけています。

本町では、目指す将来像を「みんなで作る元気な幸田」として掲げ、各種事業を展開し、学校教育面においては、各学校が創意工夫を生かし、特色ある教育・学校づくりを進め、「生きる力」を育む新しい学校教育を、また生涯学習の面では、国際化や高齢化の進展に伴い、生涯に及ぶ学習要求に対応する機会を提供しながら、町民の人間性を育む環境づくりに努めています。



坂崎小学校「1年生を迎える会」



シルバースクール
「ドローン教室」



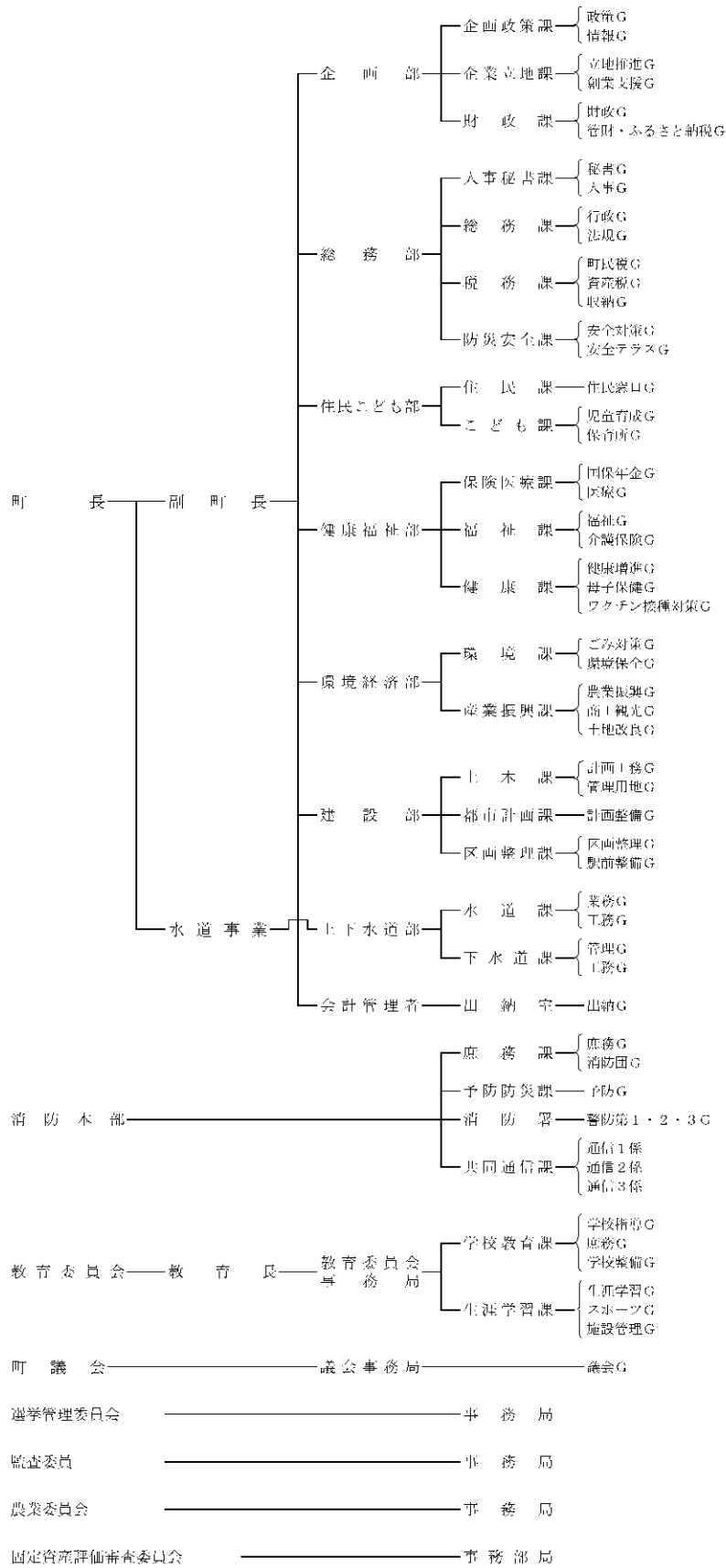
やろまいスポーツ
「クラブ体験」



荻谷小学校「すこやかタイム」

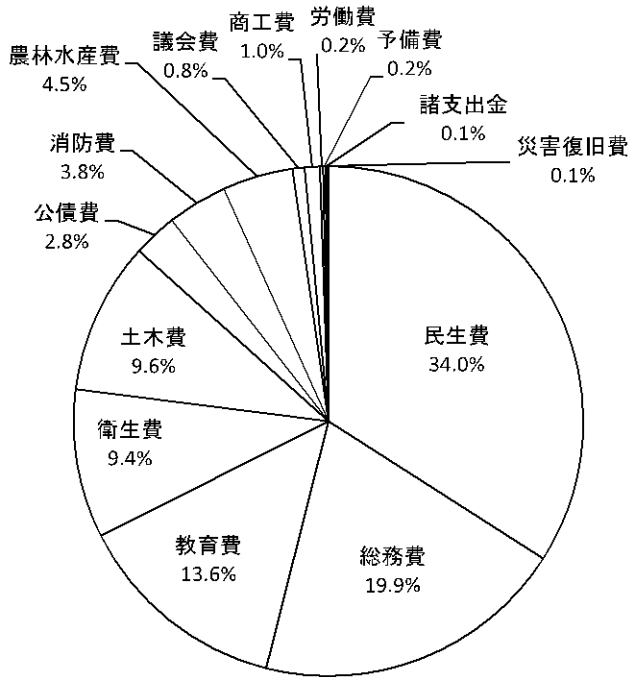
幸田町行政組織図

(令和3年4月2日現在)

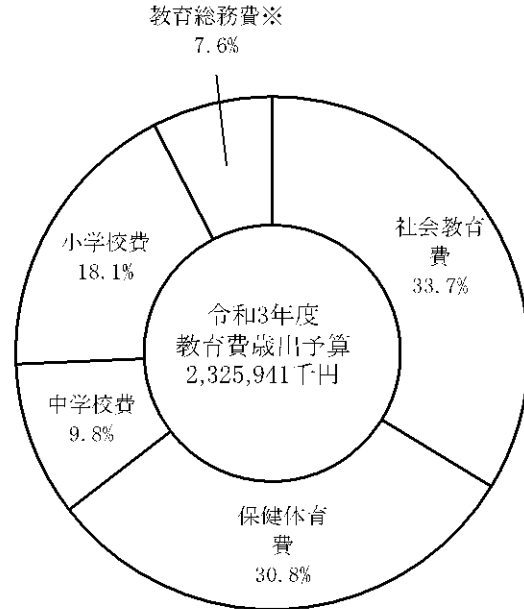


教育予算の状況

幸田町一般会計予算歳出款別構成比



教育費歳出予算項別構成比



教育費予算前年度との比較

(単位:千円)

項目	令和3年度	令和2年度	比較増減	伸率(%)
1 教育総務費※	176,839	158,611	18,228	11.5%
1 教育委員会費	1,919	1,919	0	0.0%
2 事務局費	174,920	156,692	18,228	11.6%
2 小学校費	420,834	942,229	-521,395	-55.3%
1 学校管理費	404,738	398,271	6,467	1.6%
2 教育振興費	16,096	16,065	31	0.2%
3 学校建設費	0	527,893	-527,893	-100.0%
3 中学校費	227,295	326,636	-99,341	-30.4%
1 学校管理費	210,151	308,819	-98,668	-32.0%
2 教育振興費	17,144	17,817	-673	-3.8%
4 社会教育費	783,931	603,685	180,246	29.9%
1 社会教育総務費	88,777	92,961	-4,184	-4.5%
2 公民館費	28,136	62,135	-33,999	-54.7%
3 町民会館費	509,513	256,723	252,790	98.5%
4 図書館費	92,869	119,970	-27,101	-22.6%
5 文化振興費	42,547	33,578	8,969	26.7%
6 ライフサイクル運動推進費	9,260	21,051	-11,791	-56.0%
7 文化広場費	12,829	17,267	-4,438	-25.7%
5 保健体育費	717,042	1,067,991	-350,949	-32.9%
1 保健体育総務費	38,903	47,236	-8,333	-17.6%
2 保健体育施設費	178,649	547,738	-369,089	-67.4%
3 給食センター費	499,490	473,017	26,473	5.6%
合計	2,325,941	3,099,152	-773,211	-24.9%

※教育総務費に幼児教育奨励費は含めていません。

教 育 委 員 会

1 教育委員会名簿

令和3年4月1日現在

職 名	氏 名	任 期 始
教 育 長	小 野 伸 之	(旧)H25.10.5 (旧) H29.4.1 (新)R2.4.1
委 員	山 下 英 雄	H30.4.1
委 員	立 花 千 加 子	H31.4.1
委 員	伊 藤 秀 雄	R 2.4.1
委 員	壁 谷 昭 代	R 3.4.1

2 教育委員会施策評価

教育委員会の職務権限などを規定した「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、平成20年4月から、すべての教育委員会は、毎年、事務の管理と執行の状況について点検評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出・公表しなければならないこととされました。これを受け、幸田町教育委員会では、町民の視点や中立的、公平的な観点から評価するため、教育に関し学識経験を有する委員で構成された、幸田町教育委員会施策外部評価委員会に諮問し、令和2年度～令和4年度の活動内容について評価を行います。

幸田町教育委員会施策外部評価委員会委員名

任 期	令和2年4月1日 ～ 令和5年3月31日		
職 名		氏 名	備 考
委 員 長	名古屋大学大学院教育 発達科学研究科准教授	石 井 拓 児	
副委員長	愛知教育大学付属 岡崎中学校副校長	増 岡 潤 一 郎	
委 員	前こうた女性の会会長	塩 谷 恵 美 子	
委 員	前幸田町スポーツ推進委 員 会 委 員 長	大 久 保 勝 彦	
委 員	児童生徒保護者代表	今 井 勝 利	
合 計		5名	

幸田町教育委員会施策評価実施対象事業

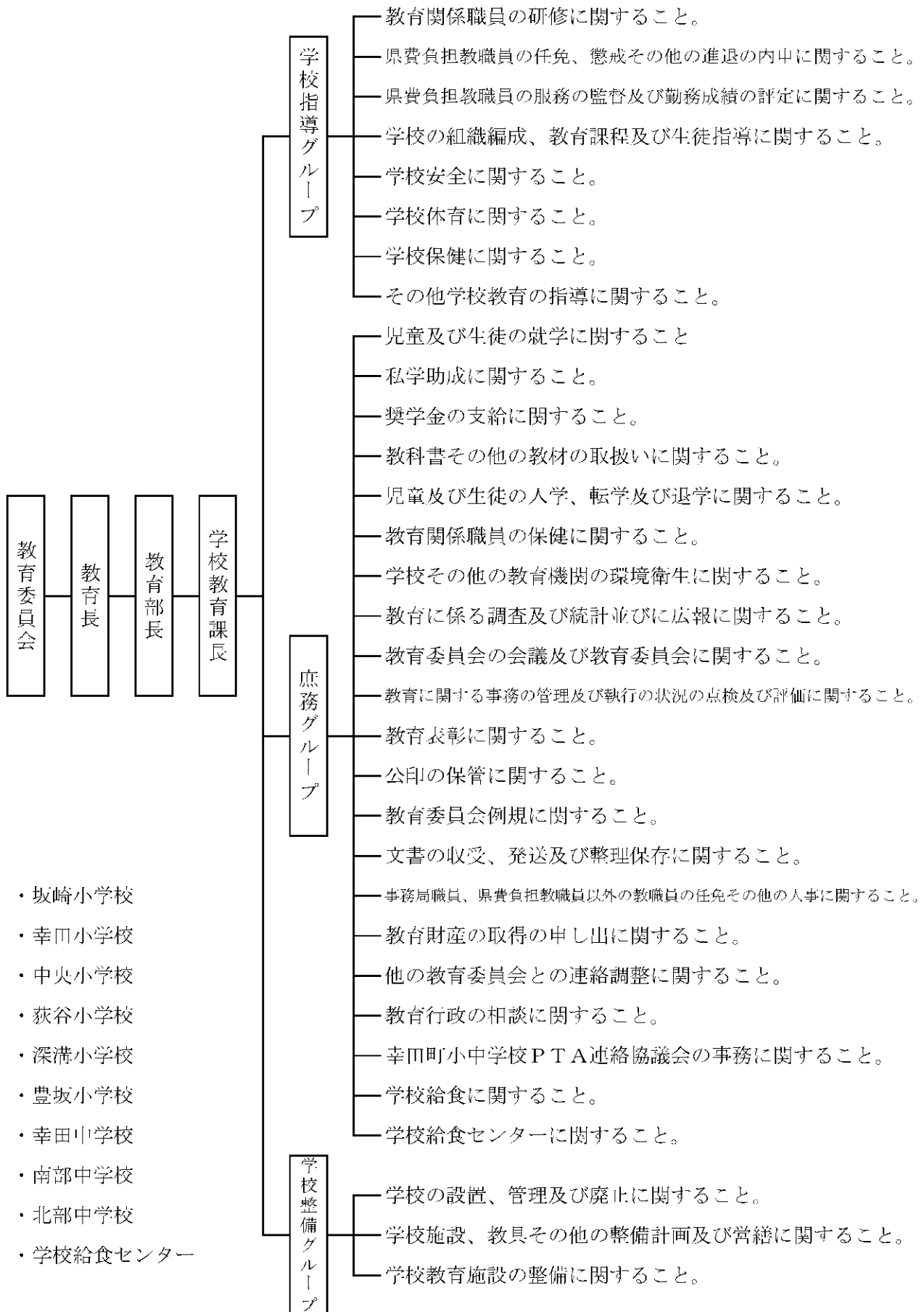
第6次幸田町総合計画上の位置づけ	基本施策	事業名	実施年度	担当課
1 安心して子どもを育てられる。				
○子育て支援の充実	—	—	—	—
○就学前教育・保育の充実	—	—	—	—
○子どもの居場所の充実	—	—	—	—
2 未来を担う子どもが良い環境で学んでいる。				
○学校教育の充実	地域に根ざした特色のある学校づくり	体験活動推進事業（地域に根ざした学校づくり事業）	R2	学校教育課
	交通安全、防犯・防災の取組みの充実	安全対策推進事業	R2	学校教育課
	通級指導・特別支援	特別支援教育事業	R3	学校教育課
	教えやすく、学びやすい学習環境の整備	GIGAスクール構想推進事業	R4	学校教育課
	教育幼保小中高連携教育の推進	幼保小中高連携教育推進事業	R4	学校教育課
3 いつだって、誰だって学べる。				
○生涯学習の推進	読書に親しむ意識の向上と環境づくり	社会教育総務一般事業	R2	生涯学習課
○スポーツの振興	スポーツに参加する機会の充実	社会体育推進事業	R4	生涯学習課
4 幸田の歴史、文化を大切にしている。				
○歴史・伝統文化の継承	文化財の保護	文化財保護事業（本光寺本堂修理復旧事業等）	R3	生涯学習課
○文化の振興	ハピネス・ヒル・幸田の計画的整備	町民プール管理運営事業	R3	生涯学習課

学校教育



幸田中学校「日食を再現しよう」

学校教育推進機構



心身ともに健やかな子どもたちの育成をめざして

— 幸田の教育の推進 —

令和3年4月1日

幸田町教育委員会

西三河地方教育事務協議会の示す「学校教育の指導の重点」を踏まえ、幸田町教育委員会は、「心身ともに健やかな幸田の子どもたち」の育成を目指し、「令和3年度 学校教育展開の指針」を次のように示します。各学校においては、この指針も参考にして教育活動を推進してください。

令和3年度 学校教育展開の指針

- (1) 子ども、保護者、地域から信頼される学校経営を推進する。
 - ① 子どもと教師、子ども同士、保護者と教師の信頼関係の確立に努める。
 - ② 教師は常に研修を積み重ね、教師としての力量を高める。
 - ③ 子どもたちは、保護者、地域に育てられ、地域のためにも活躍するという機運を高める。
 - ④ 学校の働き方改革に対して、保護者、地域の理解を得られるように努める。
 - ⑤ 学校評議員、PTA役員や保護者などの意見を参考にし、開かれた学校経営に努める。
 - ⑥ 学校評価を適切に行い、学校経営の改善に努める。
- (2) 確かな学力を育む。(知)
 - ① 学習指導要領の内容を踏まえた学習指導に取り組む。
 - ② 個に応じた指導の充実を図り、あらゆる学習の基盤となる言語活動を充実させ、基礎・基本をはじめとする学習内容の確実な定着を図るとともに、思考力・判断力・表現力等の育成に努める。
 - ③ 体験的な学習や問題解決的な学習を重視し、子どもの思考に即した主体的・対話的で深い学びを保障することで、学習意欲を高め、学ぶことの楽しさと成就感を味わう活動を展開する。
 - ④ キャリア教育を教育課程に明確に位置づけ、発達段階に合わせて小学校段階から系統的なキャリア教育を推進する。
 - ⑤ 学力や学習状況を的確に把握分析し、授業改善に取り組む。
- (3) 豊かな心を育む。(徳)
 - ① 道徳科を要として、「いのちを大切に作る心」「思いやりの心」「他者を尊重する心」「美しいものを美しいと感じる心」「助け合う心」等、心を耕す教育を全教育活動において推進する。
 - ② 様々な体験を通して、生きる構えを考える機会を充実させる。
 - ③ いじめ、不登校、暴力行為等の未然防止、早期発見、早期対応に努める。
 - ④ 情報化社会に対応するために情報活用能力を育成しつつ、保護者との連携・協力を図りながら情報モラル教育を推進する。
 - ⑤ 読書指導の充実を努め、本に親しみ、読書を楽しむ子どもを育てる。
 - ⑥ グローバル社会を生き抜くために、自己理解と物事を多面的に捉える見方や考え方を育てる。
- (4) たくましく健康な体をつくる。(体)
 - ① 集団で遊んだり、仲間とともに運動する活動を奨励する。
 - ② 学校給食を中心に食について総合的に考え、望ましい食習慣の形成に努めるなど、食育の充実を図る。
 - ③ 保護者と連携・協力を図りながら、睡眠時間の確保等望ましい生活習慣の確立に努める。
 - ④ 体力や運動能力の状況を的確に把握分析し、体力の向上を図る。
- (5) 特別な支援が必要な子どもへの適切な対応に努める。
 - ① 障がいのある子どもの特性に応じた指導や支援を全校体制で推進する。
 - ② 通常の学級において特別な支援が必要な子ども（日本語指導が必要な子どもを含む）に対しては、個々の状態に応じたきめ細やかな指導を通級指導教室等で行い、困難の改善・克服を日ごと。
 - ③ 障がいのある子どもの、自立と共生に向けた主体的な取り組みを支援する。
 - ④ 保護者、専門家、関係機関との連携により、より適切な指導を推進する。
 - ⑤ 幼保小中高と途切れなく見守り、支援する体制づくりを推進する。
- (6) 子どもの安全確保に努める。
 - ① 各学校の実情に沿った安全教育、防災教育、感染症感染予防教育の推進を図る。
 - ② 子どもたちの安全確保に努めるとともに、自らを守ろうとする意識と、周りの人の役に立とうという意識を高める。
 - ③ 学校、保護者、地域、行政が一体となって、子どもの安全を確保する。

令和3年度 幸田町小中学校 児童・生徒数一覧表

※小1、小2、小3、中1は35人学級。他は40人学級

(令和3年5月1日現在)

学 年 学 校 名		1年		2年		3年		4年		5年		6年		合計		総計	学校嘱託医				
		通常	特支	通常	特支	通常	特支	通常	特支	通常	特支	通常	特支	通常	特支		内科	歯科	眼科	耳鼻	薬剤
坂崎小学校	男	21		23	1	20		30		35		30	2	159	3	162	小原央生	平野達也	鬼頭和裕	西山礼二	森直之
	女	16		23	1	26		26	1	35		28		154	2	156					
	合計	37	0	46	2	46	0	56	1	70	0	58	2	313	5	318					
	学級	2		2		2		2		2		2		12	3	15					
幸田小学校	男	78	3	90	1	86	3	96	4	89	1	57	2	496	14	510	山口泰爾	渡部真法	内藤賢吾	山口礼二	志賀明代
	女	75		67		74	2	88		81	2	59		447	4	451					
	合計	153	3	157	1	160	5	184	4	173	3	116	2	943	18	961					
	学級	5		5		5		5		5		3		28	4	32					
中央小学校	男	51		43	1	33	3	48	1	46	2	44	2	265	9	274	牛田 肇	藤江豪成	内藤賢吾	山口礼二	鈴木康司
	女	45	3	45	1	50		52	1	41		37	1	270	6	276					
	合計	96	3	88	2	83	3	100	2	87	2	81	3	535	15	550					
	学級	3		3		3		3		3		3		18	3	21					
萩谷小学校	男	15		23	2	19	3	29		26	1	30		142	6	148	富田 博	植田晃弘	鈴木裕之	山口礼二	鈴木康司
	女	27		28		22		28		16		20	1	141	1	142					
	合計	42	0	51	2	41	3	57	0	42	1	50	1	283	7	290					
	学級	2		2		2		2		2		2		12	3	15					
深溝小学校	男	29	3	39	6	40	4	31		32	2	32	3	203	18	221	金子佳史	榑原泰一	鈴木裕之	山口礼二	鈴木康司
	女	27	1	23		28	3	25		35	1	30	1	168	6	174					
	合計	56	4	62	6	68	7	56	0	67	3	62	4	371	24	395					
	学級	2		2		2		2		2		2		12	5	17					
豊坂小学校	男	34		39	3	28		28		39	3	26		194	6	200	野々村仁志	不破金好	鈴木裕之	石田正人	鈴木康司
	女	40	1	34		34	3	31	1	26	1	31	3	196	9	205					
	合計	74	1	73	3	62	3	59	1	65	4	57	3	390	15	405					
	学級	3		3		2		2		2		2		14	4	18					
小学校計	男	228	6	257	14	226	13	262	5	267	9	219	9	1459	56	1515					
	女	230	5	220	2	234	8	250	3	237	4	205	6	1376	28	1404					
	合計	458	11	477	16	460	21	512	8	504	13	424	15	2835	84	2919					
	学級	17		17		16		16		16		14		96	22	118					
幸田中学校	男	97	7	95	6	82	12							274	25	299	稲垣佑祐	川所克裕	内藤賢吾	石田正人	志賀明代
	女	85		82	5	90	6							257	11	268					
	合計	182	7	177	11	172	18							531	36	567					
	学級	6		5		5								16	6	22					
南部中学校	男	41	3	31	2	27	2							99	7	106	金子佳史	市川善之	鈴木裕之	西山礼二	鈴木康司
	女	31	1	35	1	40								106	2	108					
	合計	72	4	66	3	67	2							205	9	214					
	学級	2		2		3								7	3	10					
北部中学校	男	105	1	101	2	95	2							301	5	306	山口泰爾	南 鉦	鬼頭和裕	西山礼二	森直之
	女	96		93	1	96								285	1	286					
	合計	201	1	194	3	191	2							586	6	592					
	学級	6		5		5								16	3	19					
中学校計	男	243	11	227	10	204	16							674	37	711					
	女	212	1	210	7	226	6							648	14	662					
	合計	455	12	437	17	430	22							1322	51	1373					
	学級	14		12		13								39	12	51					
小中学校計	男													2133	93	2226					
	女													2024	42	2066					
	合計													4157	135	4292					
	学級													135	34	169					

坂崎小学校

創立 明治5年

校長 都築 孝明

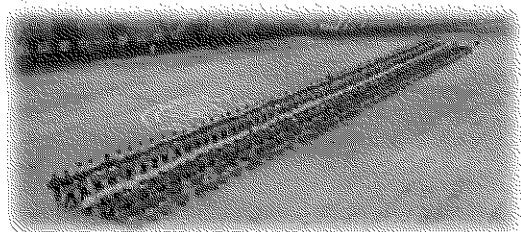
所在地 幸田町大字坂崎字揚り山31番地 電話 62-0115 FAX 62-0197

校地面積 16,135 m²(施設台帳より引用) E-mail sakazaki@town.kota.aichi.jp

校訓

校章

よ い 子
つ よ い 子
か し こ い 子



「坂小フェスティバル」

1 教育方針

(1) 本校の教育目標

校 訓	め ざ す 子 ど も 像
よ い 子	礼節を重んじ、力を合わせて、心豊かに生活する子 (心)
つ よ い 子	命を尊び、心や体を鍛え、汗を流す子 (体)
か し こ い 子	学ぶ楽しさを求め、深く考え、自ら学ぶ子 (知)

豊かな心を持ち、目を輝かせて学び、たくましく生きる坂崎っ子の育成

『声が響きわたる坂崎小』

(2) 経営方針

- ア 心(徳)・体・知の調和のとれた子どもの育成を図り、教職員と子ども・家庭・地域が信頼し合える学校づくりを目指す。
- イ 「常に子どもに寄り添い、子どもとともにある」を合い言葉に、教育活動を推進する。
- ウ 「気づき」「つながり」「ふりかえり」を大切にした教育活動を展開する。
- エ 子どもの健やかで豊かな成長を支える環境づくりを進める。
- オ 「子どもとともに私も伸びる」という謙虚で共感的な意識を持ち、教師としての感性を磨きながら、情熱と人間力・指導力を備えた魅力ある教職員集団を目指す。

(3) 本年度の重点努力目標

ア 豊かな心をもつ子ども (心: よい子)

豊かに感じ、表現する子どもの育成

- ・ あいさつと「はい」「ありがとう」「すみません」の言葉を大切にし、教育活動全体で道徳的実践力を養う。
- ・ 子どもの心のひだをふるわす体験活動を意図的・計画的に展開し、感じる心と素直に表現しようとする態度の育成を図る。
- ・ 読書活動や合唱など、文化的活動を充実させ、豊かな感性を育む。

イ たくましく生きる子ども (体: つよい子)

自ら進んで自分を鍛えるたくましい心と体の育成

- ・ コロナ禍における坂小版「新しい生活様式」を策定し、健康安全に配慮した教育活動を展開する。

- ・ 欠席0の日をめざし、いじめ・不登校の早期発見とその対応に努める。
 - ・ 業間活動（パワータイム）では、目標をもって主体的に取り組めるようにする。
- ウ 目を輝かせて学ぶ子ども（知：かしこい子）

自分の思いが表現できる子どもの育成

- ・ 子どもの眼と心を惹きつけ、夢中になって取り組めるような魅力ある授業づくりを工夫する。
- ・ ユニバーサルデザインの理論を活用し、友達の考えを聞いたり、自分の考えを伝えたりして、仲間とかかわり合いながら意欲的に授業に参加できるよう手だてを工夫する。
- ・ 子どものつぶやきや表情を鋭く感じ取り、指導にいかす教師の感性を磨く。
- ・ 教科指導において外国語・理科・算数・音楽など、より専門性を生かした教科指導体制を取り入れるとともに、全教科・領域でICT教育の導入を模索していく。

2 現職教育の研究課題・研究分野

(1) 研究の方針

ア 「豊かな心を持ち、目を輝かせて学び、たくましく生きる子」の育成をめざし、全教科全領域で魅力ある教材を発掘し、学級全員が楽しく学べるよう、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりを心がけ、授業研究を推進する。

イ 確かな学習習慣、生活習慣づくりを学校生活のあらゆる場面で意識させる。

ウ 少人数指導や個別の教育支援をより一層充実させ、子どもが生き生きと楽しく学べる時間になるよう、授業形態や指導法の改善、教材・教具の工夫に努め、学力の向上と定着を図る。

エ 専門職としてふさわしい力量を身につけるための校内研修の充実を図る。

(2) 研究課題

- 研究主題 「豊かな心を持ち、目を輝かせて学び、たくましく生きる子の育成」
ーユニバーサルデザインの視点をいかした、子どもが夢中になる授業づくりー

○ 研究の方法

ア 学級の中でもっとも気になる子どもを意識し、その子どもにとって有効な手立ては、他の多くの子どもにとっても有効であるという発想で授業づくりをする。

イ 授業に「焦点化」「視覚化」「共有化」を取り入れ、子どもたちが楽しく、夢中になって取り組める展開を考える。

ウ 子どもの思いをいかした単元構想を構築し、問題解決型授業の実践をする。

エ 一人一人の子どもが生きる指導・評価のあり方を追究する。

3 教職員構成

名称	校長	教頭	主幹教諭	教務主任	校務主任	教諭・講師	養護教諭	栄養教諭	事務職員(主事)	任期付任用	県費非常勤	町学校教員等	用務員	介助員	Sカウンセラー	図書館指導員	Sサポートスタッフ	教職員計
人数	1	1	0	1	1	18	1	0	1	(2)	3	1	1	1	1	1	1	33

4 学級編成状況

学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	計
学級数	2	2	2	2	2	2	3	15
人 数	37	46	46	56	70	58	5	318
実家庭数	20	28	15	48	67	58	3	239

5 クラブ活動・部活動等の編成状況

(1) 運動系

名 称	球 技 1	球 技 2	卓 球	ゲートボール
人 数	22	24	22	10

(2) 文化系

名 称	紙飛行機	室内ゲーム	消しゴムはんこ	コンピューター	イラスト
人 数	16	22	23	23	22

6 教育課程・日課編成上の特色

- 少人数指導 確かな学力を定着させるために、第3学年以上の算数の授業等において行う。
- 通級指導 生活上、学習上で個別の支援を必要とする児童に行う。
- 委員会 木曜日 第6時限（不定期）4～6年 常時活動を重視する。
- クラブ 木曜日 第6時限（不定期）4～6年
- 集会活動 月曜日 8時15分～8時35分（年間5回程度）
- 読み聞かせ 水曜日 8時15分～8時25分
- 読書タイム 火・木・金曜日 8時15分～8時25分
- パワータイム 毎日 10時20分～10時30分

7 その他の特色ある活動

「あいさつ」「思いやり」「自分から」という姿が日常の子どもたちのなかに定着することを目標に、次のような活動を展開する。

(1) 豊かな道徳性の育成を図る体験活動

- ・ 縦割り班による清掃活動や集会活動（全校遊びの重視）
- ・ うさぎの飼育活動
- ・ 「あいさつ運動」「アルミ缶集め」などの児童活動
- ・ 学校田、畑における勤労体験学習
- ・ 地域のお年寄りの方々との交流活動

(2) 学校、家庭、地域が連携した体験活動

- ・ 地域の人を講師にして実践する学習活動
- ・ 家庭教育学級を中心とした親子活動
- ・ 郷土を見直す、親子ふれあい「学区ウォークラリー」
- ・ 保護者・ボランティアによる読み聞かせ
- ・ 地域の人と連携した里山保全活動

会 長	1名
副 会 長	3名
書 記	3名
会 計	2名
母 親 代 表	4名
会 計 監 査	2名
幹 事	4名

8 PTAの組織（役員・委員の名称及びその人数）

幸田小学校

創立 明治9年

校長 唐澤 満

所在地 幸田町大字大草字三ツ石 18 番地 電話 62-0118 Fax 62-0416

校地面積 22,403 m²(施設台帳より引用) E-mail kotaes@town.kota.aichi.jp

校訓 「きたえ みがく」

健康で、けじめのある学校

(基本的生活習慣を育成する)

みんなで力を合わせることでできる学校

(共に生きる集団生活の高まりをめざす)

競い合い、励まし合える活気のある学校

(自らをきたえる意欲を高める)

校章



授業の様子

1 教育方針

(1) 本校の教育目標

校訓「きたえ みがく」のもと、めざす子ども像として「**こころ**の豊かな子・**う**ちこむ子・**たす**けあう子」を育成する。

(2) 経営方針

ア 体験的な活動を通して、豊かな感性及び自ら学ぶ態度を育成し、健やかでたくましい児童を育てる。

イ 温かい人間関係の中で学年・学級のよさと一人一人のよさを伸ばし、「生きる力」を育てる。

ウ 教師自身が「学ぶ」姿勢をもち、児童のよさを伸ばす指導・支援に努める。

(3) 本年度の重点努力目標

ア 学校・家庭・地域が一体となって子どもを育てる

・睡眠時間の確保等基本的生活習慣の育成に向けて、家庭と連携・協力した指導に努める。

イ 温かい人間関係や学習の基礎・基本を重視し、確かな学力を育てる(知)

・個に応じた指導の充実を図り、学ぶ楽しさと成就感を味わわせる。

ウ 道徳指導や体験的活動を通して、命を大切に作る心、思いやりの心を育てる(徳)

・いじめや不登校等、諸課題の未然防止・早期発見・組織的な対応に努める。

エ H 常の遊びや体育的活動を通して、健やかでたくましい体を育てる(体)

・体力や運動能力の状況を把握し、体力の向上に努める。

オ 学級活動や縦割り活動・集会活動等を通して、楽しい子どもの文化を創造する

・「歌声タイム」「ふれあい集会」「縦割り活動」等を通して、楽しい学校づくりに努める。

カ 特別な支援が必要な子どもへの支援を充実させる

・子どもの特性や状況を的確に把握し、自立と共生に向けた主体的な取組を支援する。

キ 災害や感染症、危険なことから身を守る知識・意識・態度を身につけさせる

・異変に気付く感性と対応力を磨く安全教育・防災教育・健康教育の充実を努める。

2 現職教育の研究課題・研究分野

研究主題 学校って楽しいな！

研究副主題 ～子どもたちの確かな学習習慣の定着と学習改善の工夫を通して～

学校生活全般で、子どもの心を耕し、感性を磨く魅力ある教育活動を展開する。特に授業では、関わり合う「ぐんぐんタイム」と振り返りの「◎◎◎◎グー」を充実させ、児童の主体的に学習に取り組む態度を引き出し、「学校って楽しいな！」という本質的な楽しさを感じさせた。そして、相手を思いやり、助け合いながら努力し続ける子どもの育成を目指す。

<授業における楽しさ>

○主体的・対話的で深い学び

<確かな日常生活における楽しさ>

○心身の健康

<地域や異学年との交流における楽しさ>

○認め合う温かい人間関係づくり

3 教職員構成

名称	校長	教頭	主幹教諭	教務主任	校務主任	教諭・講師	養護教諭	栄養教諭	事務職員(正事)	事務職員(正査)	任期付任用	県費非常勤	町学校教員等	用務員	介助員	Sカウンセラー	図書館指導員	教員補助員	教職員計
人数	1	1	1	1	1	39	2	0	2	1	4	5	1	2	1	1	1	1	64
												(1)							(1)

4 学級編成状況

学年	14年	24年	34年	44年	54年	64年	特支	計
学級数	5	5	5	5	5	3	4	32
人数	156	158	165	188	176	118	18	961
実家庭	64	77	112	153	165	116	14	701

5 委員会・クラブ活動の編成状況

(1) 委員会活動

組織 12の委員会を組織し、5・6年全員が参加

内容 日常の委員会活動と、各委員会主催行事の企画運営

活動グループ名	5年	6年	活 動 内 容
企画委員会	10	9	各委員会のまとめ役 スローガンの決定と達成に向けての取り組み
歌声委員会	14	10	歌声タイムの進行 ふれあい集会の進行・歌
放送委員会	15	10	番組制作 放送の準備・片付け(朝会・集会)
図書委員会	18	10	図書の貸し出し 読み聞かせ
美化委員会	15	9	掃除道具の管理、美化(親子)作業の進行
保健委員会	15	10	健康に関する活動
給食委員会	15	10	給食に関する活動
福祉委員会	15	9	アルミ缶収集活動、募金活動
広報委員会	14	10	掲示物・掲示黒板の管理
栽培委員会	15	12	学校花壇の管理
体育委員会	15	9	すくすくタイムの企画・進行、運動会・マラソン大会補助
環境委員会	15	10	GTP・遊具の管理と整備、エコキャップ回収

(2) クラブ活動

17クラブを設置。4年生以上が全員参加する。年間10回、火曜日第6校時に実施する。

ク ラ ブ 名	人数(人)				ク ラ ブ 名	人数(人)			
	4年	5年	6年	合計		4年	5年	6年	合計
ソフト・サッカー	7	19	6	32	パソコン	0	13	17	30
アウトスポーツ	0	14	16	30	フラワーアレンジメント	13	8	0	21
グラウンドゴルフ	5	22	3	30	絵手紙	11	2	2	15
室内スポーツ	0	0	30	30	昔遊び	21	6	3	30
ユニホッケー	1	23	6	30	消しゴムはんこ	9	9	12	30
ミュージック	25	5	0	30	将棋	22	6	2	30
百人一首	13	5	0	18	ペーパー	21	5	5	31
手作り	6	22	4	32	折り染めアート	9	11	10	30
工 作	21	6	0	30					

6 教育課程・日課編成上の特色

(1) 教育課程の特色

ア 教科学習

話す・聞く力を育て、話し合いや人と関わり合うことを大切にした学習をする。

イ ほなみ学習

教科学習を生かし、総合的な学習の時間・生活科・生活単元学習を軸にした問題解決的な学習をする。

ウ 好ましい子ども文化の創造

児童委員会活動や縦割り活動、ふれあい集会、学芸会などの学校行事を軸にした、児童主体の活動をする。

エ 道徳

思いやりの心を核とした道徳指導、児童委員会の企画による全校活動をする。

(2) 日課の特色

	月	火	水	木	金
いきいきタイム 8:20～8:45	特別11課6限 朝の会 8:20～8:30	すくすくがみ(1・3・5年) きらきらがみ(2・4・6年) 朝の会	水曜朝会 歌声タイム 朝の会	すくすくがみ(2・4・6年) きらきらがみ(1・3・5年) 朝の会	読み聞かせ 読書タイム 朝の会
1限 8:45～9:30	8:35 9:20		ふれあい集会 (年間3回)		
2限 9:35～10:20	9:25 10:10				
10:20～10:45	(15分)	のびのびタイム (25分)			
3限 10:45～11:30	10:25 11:10				
4限 11:35～12:20	11:15 12:00				
12:20～13:10	12:50	給食・はみがき			
13:15～13:30	12:50 簡単清掃	清掃 (15分)			
13:30～13:50	帰りの会	放課 (20分)			
5限 13:50～14:35	13:15 14:00				
14:40～14:55	6限 14:40～15:25	14:05 14:50	帰りの会 15:00 1～4年下校	帰りの会 15:00 1・2年下校	帰りの会 15:00 1・2年下校
15:05～15:50	15:30～15:45	15:15 一斉下校	委員会(5・6年)	帰りの会	帰りの会
		15:30～ 職員打合せ	クラブ(4～6年) 16:00 5・6年下校	帰りの会 16:00 3～6年下校	帰りの会 16:00 2～6年下校
				職員打合せ	

7 PTAの組織(役員・委員の名称及びその人数)

会 長	1名	
顧問	1名	
副 会 長	3名	
会 計	2名	
庶 務	3名	
母 親 代 表	2名	
教養委員長	1名	教養委員会 14名
保健体育委員長	1名	保健体育委員会 14名
校外指導委員長	1名	校外指導委員会 15名

中央小学校

創立 昭和55年

校長 藤井 敦

所在地 幸田町大字横落字北門1番地 電話 62-8050 Fax 62-8116

校地面積 21,096 m²(施設台帳より引用) E-mail chuocs@town.kota.aichi.jp

校訓

なかよく

(徳) 力を合わせる子

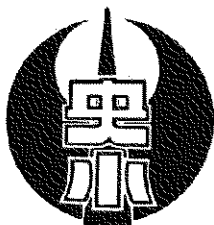
つよく

(体) 体をつくる子

こんきよく

(知) よく考える子

校章



【4月 1年生を迎える会】

1 教育方針

(1) 教育目標

校訓「なかよく・つよく・こんきよく」のもと、自他のよさを認め合える教育活動を創造し、子ども一人一人の自己肯定感を醸成することによって、「人が好き、自分が好き、自分が住んでいる町が好きな子ども」を育てる。

(2) 経営方針

- ◎ 「いいとこさがし・いいとこみつけ」を核に据えた学校づくり
- ア 子どもの可能性(よさ)を引き出し伸ばす学校づくり
- イ 信頼を基盤とした学校づくり
- ウ 家庭・地域とともに歩む学校づくり

(3) 本年度の重点努力目標

- ア 豊かな人間性を育む教育活動の創造(力を合わせる子の育成)
 - ・子どもの主体的な活動を支援し充実を図ることにより、子どもの自己肯定感を高める。
 - ・地域の方々との交流や体験活動を通して、思いやりの心や命を大切にする心を育てる。
- イ 健やかな心身を育む教育活動の創造(体をつくる子の育成)
 - ・日々の遊びや体育的活動を効果的に実践し、健やかでたくましい体づくりに努める。
 - ・家庭との連携のもと、食育や健康教育を充実させ、望ましい生活習慣の定着を図る。
- ウ 確かな学力を育む教育活動の創造(よく考える子の育成)
 - ・わかる、できる授業づくりに努め、基礎・基本の定着と学力の向上を図る。
 - ・かわり合いを大切にし、子どもの聞く力・話す力を高める。
- エ 特別な支援を要する子どもを大切にする教育活動の創造
 - ・家庭および関係諸機関との連携のもと、将来を見据え、個に応じた支援を行う。
 - ・日本語指導が必要な子どもへの迅速な初期対応と継続的な粘り強い支援を行う。

2 現職教育の研究課題・研究分野

○ 主 題

「人が好き、自分が好き、自分が住んでいる町が好きな子どもの育成」

～自他のよさを認め合える教育活動の創造～

○ 研究の方針

- ・自己や他者とのかかわりや連携を図るふるさと学習を通して、人、自分、地域のよさを追究する力を育む。
- ・言語活動を通して、人、自分、地域のよさを表現したり発信したりする力を育む。
- ・見通しをもった学習展開を通して、学んだよさを自分自身に生かそうとする力を育む。

3 教職員構成

名 称	校 長	教 頭	主 幹 教 諭	教 務 主 任	校 務 主 任	教 諭	養 護 教 諭	栄 養 教 諭	事 務 員 (主 任)	任 期 付 任 用	臨 時 的 任 用	県 費 非 常 勤	町 学 校 教 員 等	用 務 員	介 助 員	S カウンセラー	図 書 館 指 導 員	サ ポ ー ト ス タ フ	教 職 員 計
人 数	1	1	0	1	1	20	1	0	1	3	4	5 (1)	4 (3)	1	2	(1)	1	1	47 (5)

4 学級編成状況

学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特別支援	計
学級数	3	3	3	3	3	3	3	21
人 数	96	88	83	100	87	81	15	550
実家庭数	57	55	55	77	84	80	11	419

5 クラブ活動の編成状況

(1) 運動系

名 称	ソフトボール	卓球	バスケットボール	サッカー	ゲートボール	エアーホッケー・バドミントン
人 数	18	16	20	20	10	18

(2) 文科系

名 称	三河万歳	凧	家庭科	茶道	切り絵	音楽	絵手紙
人 数	14	15	20	12	14	8	14
名 称	和太鼓	囲碁	作って遊ぼう	昔遊び	言葉遊び		
人 数	18	12	13	15	18		

6 教育課程・日課編成上の特色

(1) 教育課程の特色

ア 少人数指導授業、特別支援教育、通級指導、日本語適応指導等の個に応じた教育の充実

- ・少人数指導授業は、第3学年～第6学年の算数で実施。第3・4学年の算数は学級を2分割した均等または習熟度別授業、第5・6学年の算数は学年体制による3コース5グループの習熟度別授業。
- ・通級指導は、通級指導教室(ここにこ教室)を設置して、個別・グループ別指導を実施。日本語指導は日本語能力や生活経験の差に応じた指導を実施。

イ 確かな学力を育む学習の推進

- ・基礎・基本の定着を図るとともに、かかわり合う中で考えを深め、わかる喜びや仲間と学ぶ楽しさを体感できる単元構想の工夫と追究意欲を高める問題解決的な学習の推進。

(2) 日課の特色

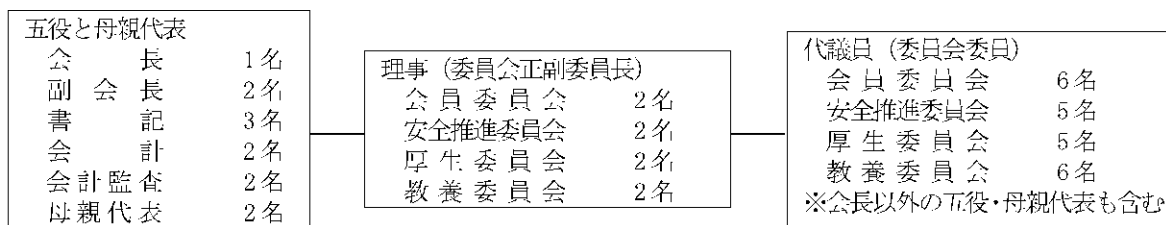
- ・たくましい体と心をつくるランニングとにこにこ班(縦割り)でのなかよし遊び。
- ・ド校時の安全に配慮した集団ド校体制。
- ・心を育てる朝の読書やボランティアによる読み聞かせ。

基本の時間	月	火	水	木	金
朝の時間 8:15～ 8:40	朝会・集会 実施の場合のみ	読書・ランニ ング・朝の会	読書・ランニ ング・朝の会	朝の会 8:15～ 8:25	読書・ランニ ング・朝の会
第1限 8:45～ 9:30	9:00～ 9:45			8:30～ 9:15	
第2限 9:40～10:25	9:55～10:40			9:25～10:10	
業間 10:25～10:45	10:40～10:50			10:10～10:20	
第3限 10:45～11:30	10:50～11:35			10:20～11:05	
第4限 11:40～12:25	11:45～12:30			11:15～12:00	
給食 12:25～13:20	12:30～13:20			12:00～12:50	
掃除 13:20～13:35					
昼放課 13:35～14:00				12:50～13:10	
第5限 14:00～14:45				13:10～13:55	
第6限 14:55～15:40	4～6年授業	委員会5～6年 クラブ4～6年	3～6年授業	14:00～14:45 1年生まちまちタイム	3～6年授業
帰りの会 15:40～15:50				14:45～14:55	
集団下校	1便 15:05・2便 16:00 (火曜日委員会・クラブなしと木曜日は15:05 一斉下校) ※最終下校は、年間を通して16:00				

7 その他特色ある活動

- 子どもの主体的な活動による3つの宝（あいさつ、そうじ、ランニング）磨きを大切にし、望ましい生活習慣の定着を図っている。
- 地域連携協議会の開催や学校支援ボランティアの募集等を通して、家庭・地域との連携を図っている。
- 避難訓練をはじめとする防災教育の充実を図り、地域の防災訓練にも積極的に参加することで学校・家庭・地域が一体となって防災に対する意識を高めている。
- 「三河力歳クラブ」「凧クラブ」「ゲートボールクラブ」「茶道クラブ」「和太鼓クラブ」等8つのクラブで、地域の人材を活用し、交流を図るとともに伝統・文化の継承をめざしている。また、地域の催しへの参加や福祉施設への訪問を通して、交流を深めている。
- 「にこにこ遊び」、「にこにこ集会（月曜集会）」等の「縦割り活動」を実施することで、高学年のリーダーとしての意識を高めるとともに、異学年交流を深めている。
- 社会福祉協力校として、地域とのふれあいを大切にした福祉実践教室等の活動を行い、福祉への関心を高めている。
- 「読み聞かせ」「親子ふれあい作業」等の活動を行い、親子のふれあいを深め、奉仕の心を育てている。

8 PTAの組織(役員・委員の名称及び人数)



荻谷小学校

創立 明治16年

所在地 幸田町大字芦谷字東山1番地

校地面積 22,871 m²(施設台帳より引用)

校長 岡本 智

電話 62-0117 FAX 62-0649

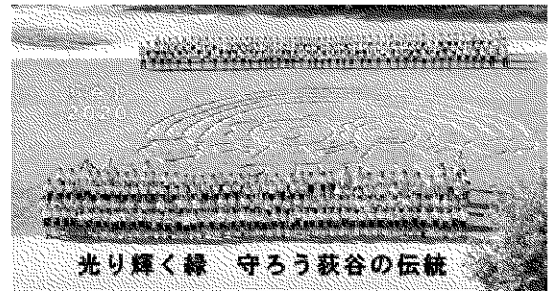
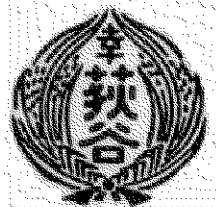
E-mail ogiyaes@town.kota.aichi.jp

校訓

きまりよく

かしこい子
あかるい子
げんきな子

校章



芝生アート

1 教育方針

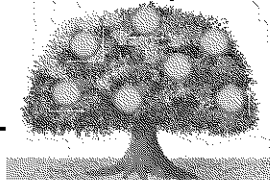
(1) 教育目標

たくましく生きる力を身につけた「かしこい子 あかるい子 げんきな子」の育成を図る。

(2) 学校づくりスローガン

「みんなでそだてよう『**おきやまもも**』」

- ・ **お** おもいやり **き** きょうりよく **や** やりぬく心
- ま** まなびあい **も** もっと **も** もっと



(3) 本年度の重点努力目標

<p>あかるい子(徳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明るく思いやりのある心豊かな児童 <p>集団づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特別活動 ⇒学級会の自治的な運営 ⇒行事 (スローガン・実行委員会) <p>心の教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道徳教育を核として ⇒重点内容項目は お・ぎ・や+ありがとう ○特別の教科・道徳 ⇒荻谷スタンダード <自己内対話> <p>個別の支援(特別支援教育)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○その子らしさを支える ⇒傾聴 ⇒認知能力向上(コグトレ) 	<p>かしこい子(知)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学びに向かい、共に学び合う喜びを感じる児童 <p>学び合い高め合う授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○感性と問題意識を高める体験活動 ・気づきの日 ・感動する心 ・問いを生む ○直に関わり合う授業スタイル ・板書 ・ペア、グループ対話 ・共同制作 ・相互指名、自由発言 ○ねらいと振り返り<メタ認知> ⇒子どもに寄り添った単元構想と授業展開 ○結果より過程を評価 ○国語力 ⇒読書 音読・群読 MIM aドリル <p>自立的な家庭学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分で決めて自分で取り組む ⇒けずぶれノート (計画・テスト・分析・練習) 	<p>げんきな子(体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よき生活習慣を身に付けた、健康でたくましい児童 <p>すこやかタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のために走る <p>外遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校レク ・白山遊び <p>健康教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣(歯磨き・質のよい睡眠) ・心身の健康(レジリエンスの向上) ・学校保健委員会の充実 <p>食育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食習慣の改善(給食⇄家庭) <p>安全・防災教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より実践的な避難訓練
---	---	--

社会に開かれた教育課程

- 総合的な学習(とぼね学習)を核として ⇒『荻谷学』
- ・人々のくらし 自然 環境 歴史 防災
- キャリア教育 ⇒オリンピック・パラリンピックにつなげて
- 新たな取組 ⇒外国語 プログラミング学習 SDGs

学び続ける教師

- 信念と柔軟性(変化に対応できる) ICT 防災
- 授業洞察力(授業分析)
- 行事の見直し(PDCA)業務改善⇒働き方改革

専門機関との連携

- ・学校医 ・SC ・町教育相談室 ・SSW

外部講師招聘

- ・つばき(金管・和太鼓) ・米作り
- ・いちご栽培 ・わくわくワーク

幼保小中高連携

- ① ・就学時健診 ・体験入学 ・相互交流
- ② ・防災訓練
- ③ ・陸上 ・金管 ・カンボンズ支援

2 現職教育の研究課題・研究分野

(1) 研究主題

「協働して問題解決に向かい、やり遂げる喜びを感じる子どもの育成」
 — つなぎ合い、高め合う「教室コミュニティ」を基盤として —

(2) 研究の重点

- ア 「主体的・対話的で深い学び」となる授業づくり＝自立的な学び
- ・ 5つのキーワード(あれ・ふうん・そうか・なるほど・もっど)をもとに、子どもに寄り添った単元を構想する。
 - ・ 子どもの追究を生み出し、学びに拍車をかける感性や問題意識を高める活動を取り入れる。
 - ・ 子ども同士の多様な関わり合いを生み出す授業形態を工夫する。
 - ・ 子ども一人一人の学びとなるように「焦点化する場面」、「振り返る場面」を意図的につくる。
 - ・ 「話し方・聞き方のあいうえお」や「話のつなぎ方」に基づき、基本姿勢を身に付けさせる。
 - ・ 子どもの自立的な学びの力を高めるために、「自分で決めて自分で取り組む学習スタイル」を確立する。
- イ 荻谷学(荻谷を知り、荻谷で共に生きるための学び)の推進
- ・ 総合的な学習(とぼね学習)を核として、地域教材(地域の人・こと・もの)の開発、学年に応じた目指す姿へアプローチするための活用方法を構築する。
 - ・ 子ども自身が課題を見つけ、解決していく学びの場(プロジェクト学習)を設定すると共に、その取り組みを年間指導計画に位置付けて、蓄積していく。
- ウ 国語力向上に向けた取組
- ・ 国語と他教科や行事などを関連させた単元を構想するなど、子どもたちが自ら言語活動に取り組もうとする場を多く設定する。
 - ・ αドリルやMIM(多層指導モデル)を活用したり、お礼の手紙など、行事後の書きたい思いがあるときを狙った作文指導を行ったりするなど効果的な言語活動について研究する。
- エ ICT教育の推進
- ・ ICT環境整備に取り組むと共に、ICTの活用の在り方やプログラミング学習について研究する。
 - ・ ICTに堪能な教師が中心となって随時講習会を開き、教師の指導力向上をめざす。
- オ 心の教育に向けた取組
- ・ 心の在り方や人間関係作りを学ぶ場として、荻谷っ子タイムを定期的に設け、構成的エンカウンターに取り組む。
 - ・ 道徳の授業では、テーマ発問を工夫し、考え、議論する授業展開を目指す。
 - ・ ポートフォリオの蓄積とその利用、さらに評価の仕方について全体の共通認識を図る。

3 教職員構成

名称	校長	教頭	主幹教諭	教務主任	校務主任	教諭・講師	再任用教諭	養護教諭	栄養教諭	事務職員(主事)	県費非常勤	町学校教員等	用務員	介助員	Sカウンセラー	図書館指導員	Sサポートスタッフ	教職員計
人数	1	1	0	1	1	16	1	1	1	1	4	4 (1)	1	2	1	1	1	38 (1)

()内の数は他校在籍

4 学級編成状況

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	計
学級数	2	2	2	2	2	2	3	15
人数	42	51	41	57	42	50	7	290
実家庭数	28	28	29	46	42	50	5	228

5 教育課程・日課編成上の特色

(1) 教育課程の特色

- ア すこやかタイム …… 調和のとれた心と体づくりを日指し、業間10:20～10:35（火・水・集会のない金）の7分間を「すこやかタイム」として、持久力をつけるマラソン（火・金）、敏捷性や平衡性などを身につける多様な運動（水）を組み合わせて、実施する。
- イ 読書タイム …… 読書の習慣をつけるために8:20～8:30（火・水・集会のない金）を「読書タイム」とし、毎週水曜日は読み聞かせの日とする。
- ウ クラブ（つばき）活動 …… 月曜日の第6時限（15:10～15:55）を、「つばき」の時間として、マーチングとチャレンジ（和太鼓）に分かれて実施。1学期は5・6年生を中心に、2学期以降は4・5年生を中心に活動する。保護者や地区の方々にその成果を発表する場を設ける。
- エ とぼね学習 …… 各教科の学習などで身につけた力を生かし、自ら学び・考えながら、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。また、授業を通して地域の「ひと、もの、こと」とのつながりを深め（『荻谷学』）、社会との関わり方について意識させる。
- オ 荻谷っ子タイム …… 各クラスで構成的エンカウンターを行い、子どもたちの温かい人間関係作りの場とする。

(2) 日 課

	月		火	水	金	木
	朝会 8:20	荻谷っ子 タイム 8:20	歌声タイム 8:15～8:20 読書タイム 8:20～8:30 朝の会 8:30～8:45		集会 8:20	朝の会 8:15～8:30
	朝の会 8:45～9:00				朝の会 8:45～9:00	
第1時限	9:00～9:45		8:45～9:30		9:00～9:45	8:30～9:15
第2時限	9:50～10:30		9:35～10:20		9:50～10:30	9:20～10:05
			すこやかタイム 10:20～10:35			業間 10:05～10:20
			業 間 10:35～10:50			
第3時限			10:55～11:40			10:25～11:10
第4時限			11:45～12:30			11:15～12:00
			給食・歯みがき（12:30～13:25） 清掃（13:30～13:45）			12:00～12:55
第5時限			14:05～14:50			13:15～14:00
第6時限	帰りの会 14:50～15:05		とぼね			14:05～14:50
	つばき	委員会	14:55～15:40			
帰りの会	15:10～15:55		15:40～15:55			14:50～15:00

6 その他の特色ある活動

(1) みどりのチーム

全校縦割りのグループを編成し、学級・学年・教科の枠を越えた学習の場とする。

〈主な活動〉

芝生の管理（芝生アート）、春の遠足、集会活動、サツマイモ栽培、収穫祭など

(2) 親子学級「わくわくワーク」

親子の絆を深め、地域の方との交流を図ることを目的に、半日の親子活動を行う。



サツマイモ掘り

7 PTAの組織（役員・委員の名称及びその人数）

<役員>

会長	1名	書記	2名
副会長	3名	会計監査	2名
会計	2名	母親代表	2名

<理事><代議員>

・研修広報委員会	2名	7名
・生活文化委員会	2名	7名
・保健環境委員会	2名	7名

<学級委員>

・各学年で選出した委員6～9名

※理事会は、役員と理事の18名で組織

深溝小学校

創立 明治5年

校長 藤井 健一

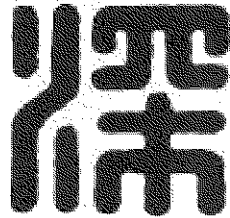
所在地 幸田町大字深溝字南道祖神 11 番地 電話 62-0119 FAX 62-0958

校地面積 13,124 m²(施設台帳より引用) E-mail fukouzues@town.kota.aichi.jp

校訓

みんな なかよく
進んで勉強
健康なからだ
よく考え よく働く

校章



元気アップ体操

1 教育方針

(1) 本校の教育目標

【校訓】

みんな なかよく 進んで勉強 健康なからだ よく考え よく働く

【めざす子ども像】

〈徳〉 明るく、思いやりがあり、互いを高めあえる子	〈知〉 自ら学ぶ意欲をもち、粘り強く学ぶ子	〈体〉 自他の命を大切にし、心と体を鍛える子
------------------------------	--------------------------	---------------------------

【本年度の教育目標】

自ら学びに向かい、互いに高め合う子どもの育成

(2) 経営方針

【めざす学校】

楽しくて、力のつく学校

ア すべての教職員がめざす子ども像を共有し、それぞれのよさを生かしながら互いに高めあい、子ども、保護者、地域から信頼される教職員集団をめざす。

イ 子ども同士が互いのよさを認め、支えあいながら自己実現できる集団づくりをめざすとともに、主体的に学び続ける姿勢を育む。

ウ 開かれた学校を目ざして家庭や地域と連携を深めるとともに、安心・安全の中で教育活動が展開できるように環境や体制を整える。

(3) 本年度の重点努力目標

ア 地域、保護者、児童から信頼される一枚岩の教職員集団をつくる

- ・「何のため」を共有し、組織的・系統的に指導にあたる。
- ・全職員が参画意識をもち、自分の得意を生かすよう心がける。
- ・子どもの笑顔を第一に考え、ワークライフバランスのとれた働き方をする。

イ 自分の学校や自分自身に誇りをもって生活できる確かな日常をつくる

- ・「学級づくり」「休づくり」「授業づくり」を柱として子どもを鍛える。
- ・「やってみたい」という思いを大切にしたい楽しくて力のつく授業を構想する。
- ・達成感や自己有用感を味わうことができる活動を展開する。

ウ 地域や保護者と連携しながら安心・安全な学校をつくる

- ・通信やITPを充実させ、子どものよさを積極的に発信する。
- ・危機管理体制や防災計画を強化し、地域や保護者と共有する。
- ・学校評価を活用して教育活動を見直す。

2 現職教育の研究課題・研究分野

(1) 研究主題

やってみたい！

(2) 研究の重点

子どもたちの「やってみたい」という思いを大切にしながら楽しくて力のつく授業を展開するために、教師一人一人の授業力を向上させる。そのために、以下の三つの点に重点を置き、研究を進める。

① 子どもの思考に沿った単元構想

子どもの生活とのつながりを意識した題材を選び、子どもの思考に沿った単元を構想することにより、教師は子どもの追究を支える。授業の中では、めあてと振り返りを大切に、子ども自身が問題意識をもち、見通しをもって学習に取り組むことができるようにする。

② 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善

疑問をもたせる仕掛け、ずれを生む発問、教師の出により、子どもの思考を揺さぶり、追究意欲を高める。また、話し合いの内容を焦点化したり、立場を明確にしたりして話し合いをする中で、学びを広げ、深めることができるようにする。

③ 授業を支える確かな学級経営

規律のある学級づくりと、互いに認め合い、安心して学び合える学級づくりに努める。

3 教職員構成

名称	校長	教頭	主任教諭	教務主任	校務主任	教諭・講師	養護教諭	栄養教諭	事務職員(主事)	任期付任用	県費非常勤	町学校教員等	用務員	介助員	Sカウンセラー	図書館指導員	教員補助員	教職員計
人数	1	1	0	1	1	19	1	0	1	0	4	4 (1)	1	3	(1)	(1)	1	37 (4)

4 学級編成状況

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	計
学級数	2	2	2	2	2	2	5	17
人数	56	62	68	56	67	62	24	395
実家庭数	31	36	38	45	64	58	13	285

5 クラブ活動・部活動等の編成状況

(1) 運動系

名称	ソフトボール・サッカー	卓球	バレー・バスケットボール
人数	26	26	28

(2) 文化系

名称	書道	パソコン	お茶	和太鼓	百人一首	手芸
人数	12	26	15	14	13	28

6 教育課程・日課編成上の特色

〇たて割り活動…1年生から6年生の異年齢グループをつくり、「ふこうずっ子タイム」として年5回、子ども

もの笑顔があふれるような活動を計画し、子ども同士の人間関係づくりと高学年児童のリーダー性を養う場としている。また、4年生のリーダー性を養うため、うさぎの当番をたて割り班の3・4年生で行っている。

○元気アップタイム…火・水・金の第2校時と第3校時の間を25分間とり、業間活動に取り組んでいる。コロナ対策のため、全校をAチームとBチームの半分に分け、元気アップタイムと読書を交互に行っている。元気アップタイムは、リズムに乗って体を動かす「元気アップ体操」と、各学年で課題種目を設定した縄跳びを行っている。冬場は、マラソン大会に向けてランニングを行い、年間を通して「走・跳」を鍛えるトレーニングを行っている。

○読書活動の充実…業間の「読書タイム」、週末の「わくわく読書」活動を行い、読書好きな子どもを育てている。全校児童が図書室の本を借りる機会を設け、家庭でも読書する習慣を育てるため、教科書に掲載されている図書から各学年に「必読図書」を50冊ずつ選び、20冊で「多読賞」、50冊で「読破賞」を授与している。

○読み聞かせ…家庭教育学級「ダンボの会」の協力で年間20回（月曜日）に読み聞かせタイムを設定し、本に親しむ環境の充実を図る予定である。

○ふれあい学習…身近な地域の自然や社会を教材とし、「ひと・もの・こと」を生かした体験的な学習活動（総合的な学習の時間）を工夫して、自ら学ぶ力の育成を図っている。

＜総合的な学習の時間（ふれあい学習）の指導計画＞

学年	活 動 内 容	関 連	
3 年	地域(地域探検、祭り、児童館など)	社会科、理科	<ul style="list-style-type: none"> ・情報教育 ・キャリア教育 ・食育 ・防災教育 (深溝断層見学)
4 年	自然・環境(ゴミ、水、川など) 防災記事まとめ 老人福祉センター訪問	社会科、理科	
5 年	自然・環境(ナス作り) 福祉体験 産業(自動車工場見学)	社会科、理科 家庭科	
6 年	自然・環境(ジャガイモ作り、環境学習) 歴史(島原藩主深溝松平家、修学旅行の史跡見学) 防災(三河地震)	社会科、理科 道徳	

7 その他特色ある活動

○ピオトープ……自然体験や環境教育の場として環境整備を行うとともに、メダカや草花の観察を進めるなど、学習場面での活用に向けて日常活動を行っている。

○ナスの栽培……地元の方を講師として招き、5年生が苗植えから収穫に至るまでの栽培活動を学んでいる。

○福祉体験活動……ガイドヘルパー、手話講座、福祉施設訪問など、各学年の発達段階に応じて福祉について学ぶ機会を設け、福祉教育の充実を図っている。



ナスの観察

8 P T A の組織（役員・委員の名称及びその人数）

会 長 ……	1名	副 会 長 ……	2名
書 記 ……	2名	会 計 ……	2名
会計監査 ……	2名	理 事 ……	4名
地区委員 ……	15名	学級委員 ……	24名

豊坂小学校

創立 明治5年

校長 伊藤 美佳

所在地 幸山町大字野場字鶏島 55 番地

電話 62-1048 Fax 62-1807

校地面積 19,979 m²(施設台帳より引用)

E-mail toyosaka@town.kota.aichi.jp

<校訓>

<校章>

さとく
正しく
すこやかに

豊坂

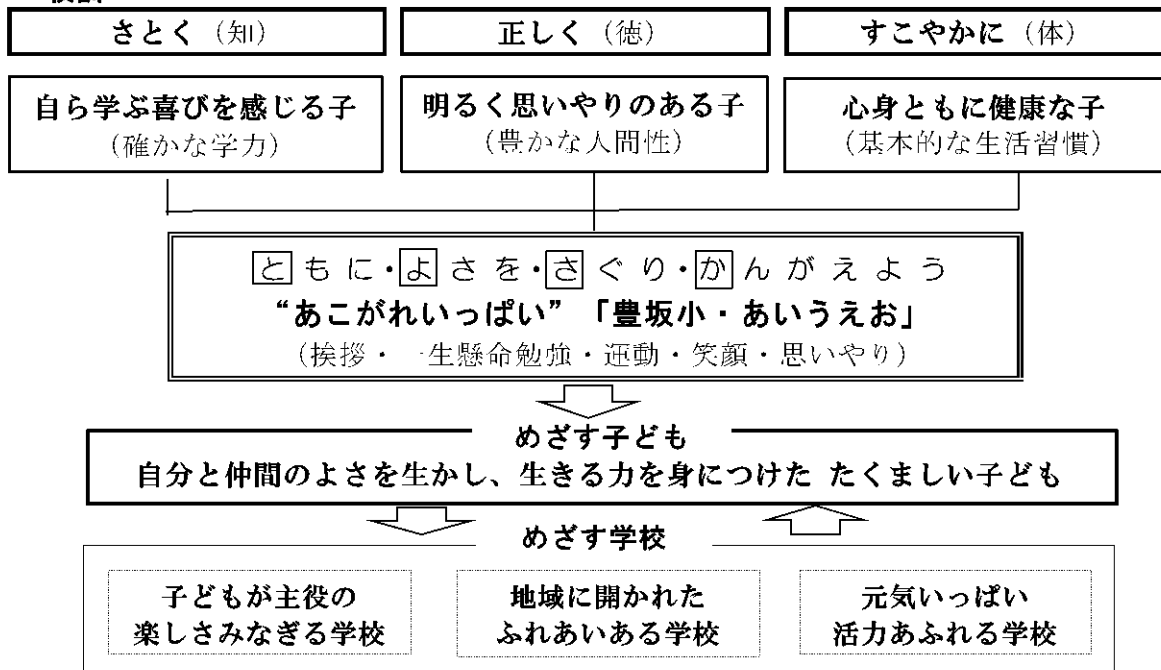


<ビオトープでの米作り>

1 教育方針

(1) 本校の教育目標

校訓



(2) 経営方針

- 子ども一人一人を伸ばす創意工夫した教育活動を展開することで、知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育む。
- 子ども理解に努め、全校の子どもを全職員で育てる。特別な支援等の必要な子どもに対しては、保護者や関係機関と連携して共通理解を図り、適切な支援・指導にあたる。
- 教育活動を公開し、家庭・地域・学校が一体となって、子どもの健全育成や安心・安全を確保する学校経営を展開する。

(3) 本年度の重点努力目標

ア 知恵づくり (知)

- ・ 学区の「人・もの・こと」を生かした問題解決的な学習や体験活動等、子どもの思考に即した単元構想をもとに授業を展開し、学ぶことの楽しさや成就感を味わわせる。
- ・ 学習規律を確立し、わかる・できる授業づくりの推進と少人数指導・ドリル学習の充実により学習内容の定着や学力向上を図る。
- ・ 各教科において「話す・聞く・読む・書く」言語活動を充実させ、表現力の育成を図る。
- ・ 発達段階に沿ったキャリア教育を推進し、自分らしい生き方を実現させる力を育成する。

イ 心づくり (徳)

- ・ 自分と友だちのよさを認め合い、高め合う温かい学級集団、人間関係づくりに努め、「あこがれの連鎖」を生み出す。

- ・ 生き方を考え、話し合う道徳教育を推進し、豊かな心情と道徳的実践力を育む。
- ・ 体験活動や縦割り活動、地域の方とのふれあいを通して、思いやりや感謝の心を育てる。
- ・ 読書活動や読み聞かせ活動を通して、読書への意欲を高め、豊かな感性を育む。

ウ 体づくり(体)

- ・ 食育・健康教育の推進と家庭との連携により、基本的な生活習慣の確立を図り、健康を育む力を高める。
- ・ チャレンジタイムのかけ足等を通して、たくましく生きる体力の増進を図る。
- ・ 相撲大会、縄跳び大会等の伝統行事を通し、地域と連携して運動に親しむ意欲を高める。

エ 環境づくり(安全・安心・健全)

- ・ 防災教育や防犯教育と命を守る教育や、安全・安心な教育環境づくりを推進する。
- ・ 子ども理解と個に応じた指導の充実と、子どもの「心の居場所」づくりに努める。

2 現職研修の研究課題・研究分野

(1) 研究主題

「自分と仲間のよさを生かし、主体的に学ぶ子どもの育成」
～ 考え表現する問題解決的な学習を通して ～

- ・ 自分の考えをはっきりさせたり、仲間の考えを聞いてそのよさに気づいたりする。
- ・ かかわり合いを通して、自分と仲間の思いや考えを比べたりつなげたりして、新たな視点や考えをもつ。
- ・ 問題解決の見通しをもって追究し、得た知識・技能を使って考え、表現する。

(2) 研究の重点

- ・ 子どもたちの興味・関心などを教師がとらえ、子どもの意識がつながり追究意欲が持続する単元を構想する。
- ・ 構造的な板書と教師の問い返しを工夫し、子どもたちが自分や仲間の考えを比較・関連づけるかかわり合いの場を設定する。
- ・ ワークシートやふり返りに視点を与えることで、子どもたちが見通しをもって追究できるよう工夫する。

3 教職員構成

名称	校長	教頭	主任教諭	教務主任	校務主任	教諭・講師	養護教諭	栄養教諭	事務職員(主任)	任期付任用	県費非常勤	町学校教員等	用務員	介助員	Sカウンセラー	図書館指導員	教員補助員	教職員計
人数	1	1	0	1	1	25 (2)	1	1	1	0	2	5 (1)	1	3	(1)	(1)	1	46 (5)

4 学級編成状況

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	計
学級数	3	3	2	2	2	2	4	18
人数	74	73	62	59	65	57	15	405
実家庭数	42	43	46	48	61	56	10	306

5 クラブ活動の編成状況

(1) 運動系

名称	球技	室内球技	卓球	伝承遊び
人数	30	24	24	24

(2) 文化系

名称	手芸	図工	百人一首	室内遊び
人数	24	22	20	21

6 教育課程・日課編成上の特色

<朝の会>

30分間を確保し、今月の歌・健康観察・読書・ドリル学習の他に、子ども同士のかかわり合いの基盤づくりの場として活用している。ドリル学習では、漢字や計算の反復練習を10分間行い、基礎的な学力の定着を目指している。

<チャレンジタイム（第2校時と第3校時の間）>

体力の向上と運動に親しむ資質や能力を育むため、年間を通して5分間走に取り組むとともに、季節に応じて、相撲や縄跳びの技能向上をめざして取り組んでいる。

<とよさかタイム（総合的な学習）>

子どもが地域・自然・社会とかかわる大切な時間と位置づけている。

学年	主な活動内容（テーマとのつながり）	他教科との関連
3年	ナスを育てよう幸田のじまん（自然・環境）	国語・社会・理科・道徳
4年	地球を守ろう（福祉・環境）	国語・社会・理科・道徳
5年	わたしたちのお米を育てよう（自然・共生）	国語・社会・理科・家庭・道徳
6年	笑顔プロジェクト（福祉・共生・自然）	国語・社会・図工・家庭・道徳

<縦割り活動>

全校を24班に分け、6年生を班長として、1年生から6年生までの16～18名で班をつくる。縦割りタイムや児童集会をはじめとした諸活動で相互のかかわりを深める。

<児童会活動>

4～6年生が代表委員会を中心とし、9つの委員会に分かれて活動する。子ども自らが学校生活上の問題改善に向けて自主的に取り組むことで、子どもの自浄力・自治活動力を育てる。

7 その他の特色ある活動

<ナスの栽培>

学級園でナスの栽培を始めて今年で21年目になる。地域の方を講師に招き、3・6年生を中心に苗植えから栽培、収穫までを行っている。収穫したナスは給食センターに運び、幸田町小中学校の給食の食材として利用していただいている。

<読み聞かせ（てんとう虫の会）>

毎週水曜日に、本校の保護者で組織するボランティア「てんとう虫の会」による読み聞かせを全学年で行っている。また、隔月に1回、全校児童を対象とした「業間ほんほんタイム」と1年生を対象にした「ほんほんタイム」、2学期には「全校読み聞かせの会」を実施している。

<親子観劇会>

学区コミュニティとの共催で行っている。地域が育む心の教育の場と位置づけ、児童・保護者、地域の方々を対象に観劇会を開催している。

<相撲大会>

26代木村庄之助の出身がこの豊坂学区であること、もともと相撲熱が高かったことから、昭和57年に土俵がつくられた。これを利用して、毎年10月に相撲大会を行っている。学区全体に参観を呼びかけて開催している。

<ビオトープ>

本校は、昭和52年に「豊坂みどりの少年団」を結成して以来、自然を大切に活動した活動を継続している。20年前に、地区の多くの方々の協力を得て完成した本校のビオトープは、植物や生き物などの自然にふれあう憩いの場になっている。ビオトープを生活科・社会科・理科・総合的な学習などで活用し、ESD（持続発展教育）の充実に努めている。

8 PTAの組織（役員・委員の名称及びその人数）

[PTA役員]				[PTA委員会]	
会 長	1名	会計監査	2名	総務委員会	7名
副 会 長	2名	母 親 代 表	2名	広報委員会	4名
書 記	3名	幹 事	11名	環境委員会	9名
会 計	2名			保健委員会	5名
				教養委員会	5名

幸 田 中 学 校

校長 山 本 勝 秀

創 立 昭和22年

所在地 幸田町大字菱池字黒方19番地 電話 62-0043 Fax 62-0210

校地面積 33,649㎡(施設台帳より引用) E-mail kotajh@town.kota.aichi.jp

校訓

ほがらかに
清 潔 に
よ く 考 え
よ く 働 く

校章



朝日を背に～ライジングサン～

1 教育方針

(1) 本校の教育目標

「いつも熱く ずっと熱く もっと熱く そして とことん熱く」生きる生徒の育成

(2) 経営方針

ア 生きる力を育む教育活動の基本

・ いつも ずっと もっと とことん → 夢を育み 心を鍛え 今に満足せず 未来へつなぐ

イ 指導体制の確立

- ・ 情熱と信頼を基盤とし、職員間の協力体制(L・タイム)を確立して、指導法の改善に努める
- ・ チームで生徒を指導する体制の完成と成功をみんなで喜ぶ職場づくり
- ・ 生徒の心に火をつけ、生きる勢いをつける教師集団づくり(「幸中百人一首by staff」)
- ・ 生徒よりも先にあいさつのできる教師集団づくり(「これが社会人だ!」を生徒に見せつける)

(3) 本年度の重点努力目標

「新たな発想と展開 そして挑戦！」

ア 最適な学びを生む学習指導

- ・ 学ぶ姿勢づくり(ICTを活用した個別最適な学びの土台づくり)
- ・ 「なぜ、どうして」の疑問を大切に学習の展開(問題解決思考の体得)
- ・ 協働的な学びの充実 (本物との出会い、体験活動、考えると対話の保証)

イ みんなでかこむ特別支援教育

- ・ 一人一人に合わせた「あったか支援」の充実を図る
- ・ 全員の教師がかかわる特別支援学級授業づくり
- ・ 自情の特別支援学級の充実(知的・自情の学級の区切りの明確化)
- ・ 作業学習による野菜栽培・販売・給料支給までの確実な展開
- ・ 授業のユニバーサルデザイン化と男女混合名簿の推進

ウ つながる生徒指導・・・不登校ゼロ(Fタイム)

- ・ 心を耕すキラキラ笑顔のEYEさつ運動の展開
(様々スタイルでの朝のあいさつ運動、学級・委員会・部活動・縦割り団・全校)
- ・ 心を潤す活動(全校ダンス・全校合唱、団活動、7時間目KFTの実践)
- ・ 心を鍛える活動(まっすぐな心、工夫、自分を変える部活動展開)
- ・ 不登校ラベルを一人の生徒にも貼らない取り組みの実践・・・自分に合った学校をつくる
(サテライト、ドライブスルー、ホリデー、ヴィジット、オンラインスクールへの取組の充実)
- ・ 登校したくなる別室の充実(Fタイム)

エ キラキラ笑顔で地域にぬくもりを

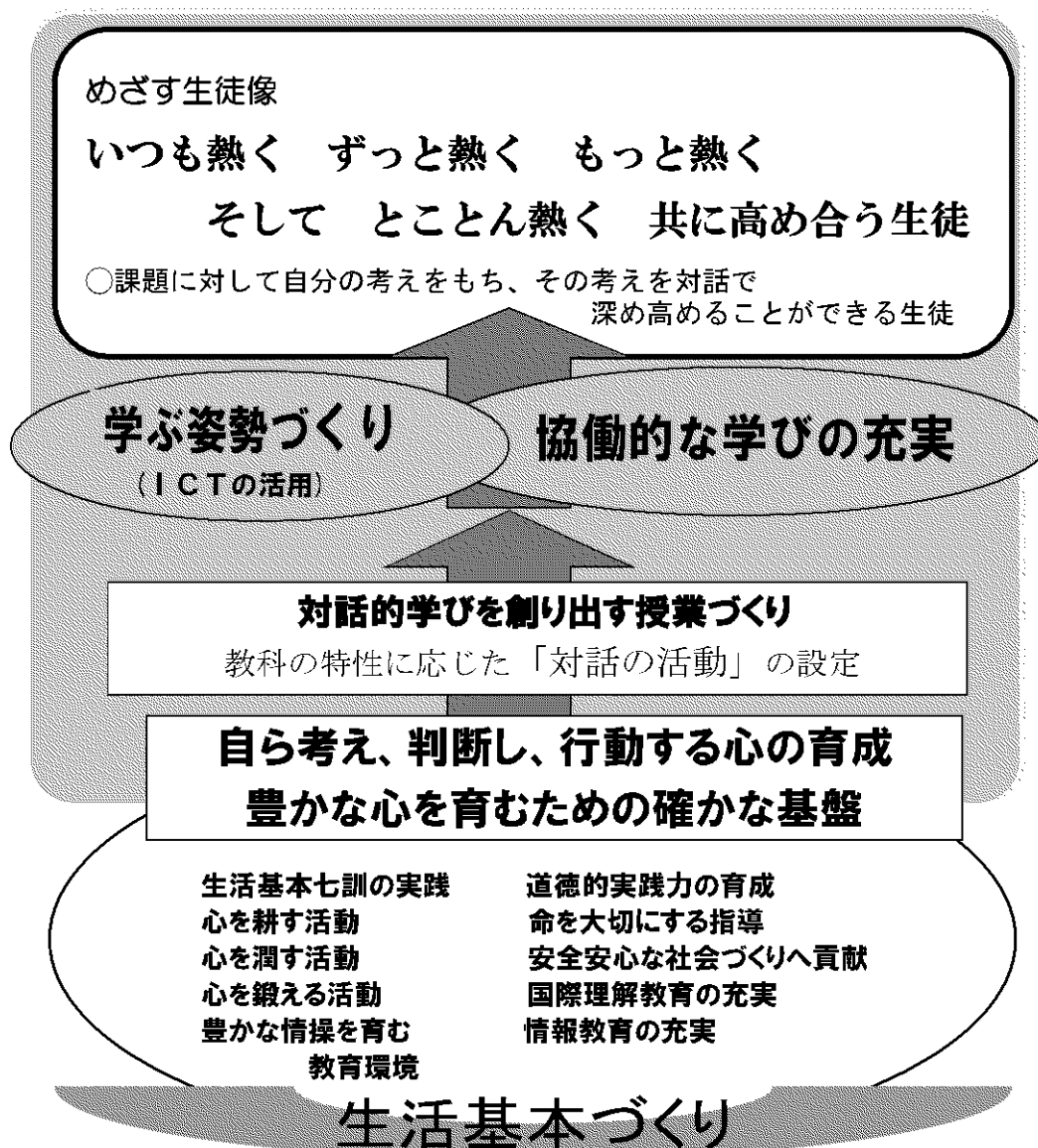
- ・ 「守られる人から守る人へ」から「しあわせ運べる人へ」の実践
笑顔と歌声で幸せを届けよう Rising Sun & 「輝くために」
小さくても確かな一歩を日指して(フードドライブ、小学校訪問、清掃活動など)

オ 想いを揺らす道徳教育

- ・ 「思いっきり、みんなで、ガッツリ道徳」dayの実践
すべての先生の道徳18番授業を一斉展開し、生徒たちが授業を選択できる
- ・ いじめ問題に正面から取り組み、いじめ歯車を壊すことのできる生徒を育てる

カ 乗り遅れない情報教育 「リーメンバー ペッパー君」の取組の実践・・・GIGAスクール推進

2 現職教育の研究課題・研究分野



3 教職員構成

名称	校長	教頭	主幹教諭	教務主任	校務主任	教諭・講師	養護教諭	栄養教諭	事務職員(主査)	任期付任用	県費非常勤	町学校教員等	用務員	介助員	Sカウンセラー	図書館指導員	Sサポートスタッフ	教職員計
人数	1	1	0	1	1	34	1	0	2	1	5	2	1	1	1	(1)	1	54

4 学級編成状況

学年	1年	2年	3年	特別支援	計
学級数	6	5	5	6	22
人数	182	177	172	36	567
実家庭数	137	171	170	32	510

5 部活動の編成状況

(1) 運動系

名 称	野球	ソフトボール	テニス	卓球	バレーボール	バスケットボール	剣道	弓道	陸上
人 数	26	18	81	77	59	55	25	79	31

(2) 文化系

名 称	科学・工学	吹奏楽
人 数	46	68

6 教育課程・日課編成上の特色

(1) 3 Tタイム

総合的な学習の時間を「3 Tタイム」と名付けて取り組んでいる。3 Tとは「Theme」「Together」「Technique」の頭文字をとったもので、自らテーマを設定し、共同で学び方を学習するという意味である。1年生では「環境・福祉」を、2年生では「生き方」を、3年生では「防災」を中心に、福祉・生き方・防災の3つの分野について、E S D（持続発展教育）の視点も加えた単元構想を考え、追究を深め、学習成果を発表し、発信する機会を積極的に取り入れ、より良く問題を解決する資質や能力を育てる。

(2) 日課の弾力的かつ効果的な運用・KFT (Kota Flexible Time) の実施

年間統一した日課で学校生活を行うことで、確かな日常「当たり前」の日常の継続と向上を意識できる生徒」を育てると共に、6限の運用を弾力的かつ効果的に工夫することで、生徒の夢を育み、折れない心を鍛える活動を展開する場としていく。

(3) 学校と家庭・地域を結ぶ活動

ア 「学校の方針を示す」取組

P T A総会、学校公開の日などのあらゆる場面で、本年度の教育目標、重点努力目標とその活動の目的や内容を啓発するとともに、年間活動計画を年度初めに生徒の家庭や学区の関係者に配付し、基本的な学校の方針についての共通理解を図る。

イ 「学校から発信する」取組

『幸中タイムズ』を年7回発行し、学校生活の様子を家庭や地域に発信する。また、ホームページの更新回数を増やし、内容の充実を図るなど積極的な情報発信に努める。

ウ 「学校を開く」取組

「学校公開の日・授業参観日」を設定し、生徒が学校生活をどのように送っているか、直接生の姿を見ていただく機会を増やす。教科等の授業公開（4月・6月・11月）、情報モラル講習会・学校保健委員会（6月）、校内体育大会（9月）、文化祭（10月）を平日や土曜日に開催し、保護者や地域の関係者に公開する。

エ 「学校と共に活動する」取組

生徒の安全確保のために、学校と家庭・地域が一体となった安全対策を推進する。また、地域や保護者の声を生かす「学校診断」を実施し、教育活動の改善を図る。

6 P T Aの組織（役員・委員の名称及びその人数）

会 長	1名	副会長	2名	会員研修委員会	15名
書記	3名	会 計	3名	保健体育委員会	17名
会計監査	2名	母親代表	2名	校外補導委員会	16名

南 部 中 学 校

校長 池 田 和 博

創 立 昭 和 58 年

所在地 幸田町大字深溝字舟山5番地5

電話 62-6811 Fax 62-6990

校地面積 31,246 m²(施設台帳より引用)

E-mail nanbujh@town.kota.aichi.jp

< 校 訓 >

錬磨(体)

- ・目標をもち、粘り強い気力と体力を身につける。

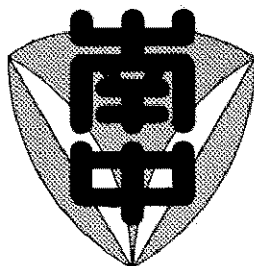
探究(知)

- ・自分から進んで学習に取り組み、最後までやりぬく。

友情(徳)

- ・思いやりの心をもち、声を掛け合い、協力し合う。

< 校 章 >



南中ソーラン

1 教育方針

教育目標

人間味があり、たくましく生きぬくことのできる生徒の育成

開校精神

「やりぬく心」

めざす生徒像

『当たり前のことが 当たり前に見える 南中生』

確かな日常のもと 体をつかい 知恵をつかい 心をつかって やりぬく南中生

めざす学校像

魅力ある教師が 魅力ある人を育てる 魅力ある学校

地域に愛され 地域に貢献できる 地域とともに歩む学校

(1) 経営方針

「つながる」

- ・学びがにつながる
- ・夢につながる
- ・伝統がにつながる
- ・地域や世界とつながる

(2) 重点努力目標

< 学びをみがく >

- ・一人一人に寄り添った指導
- ・基礎学力の定着 英語力の向上
- ・感動のある体験活動
- ・問題解決的な学習
- ・考え、表現する力の育成

< 心をみがく >

- ・「あいさつ・福祉・歌声」を柱にした生徒会活動
- ・委員会活動を中心にした読書指導
- ・感性を高める俳句づくり、語彙指導
- ・道徳の授業の充実

< 生き方をみがく >

- ・人から学ぶ、地域から学ぶ
キャリア教育の推進
- ・進路相談活動の充実

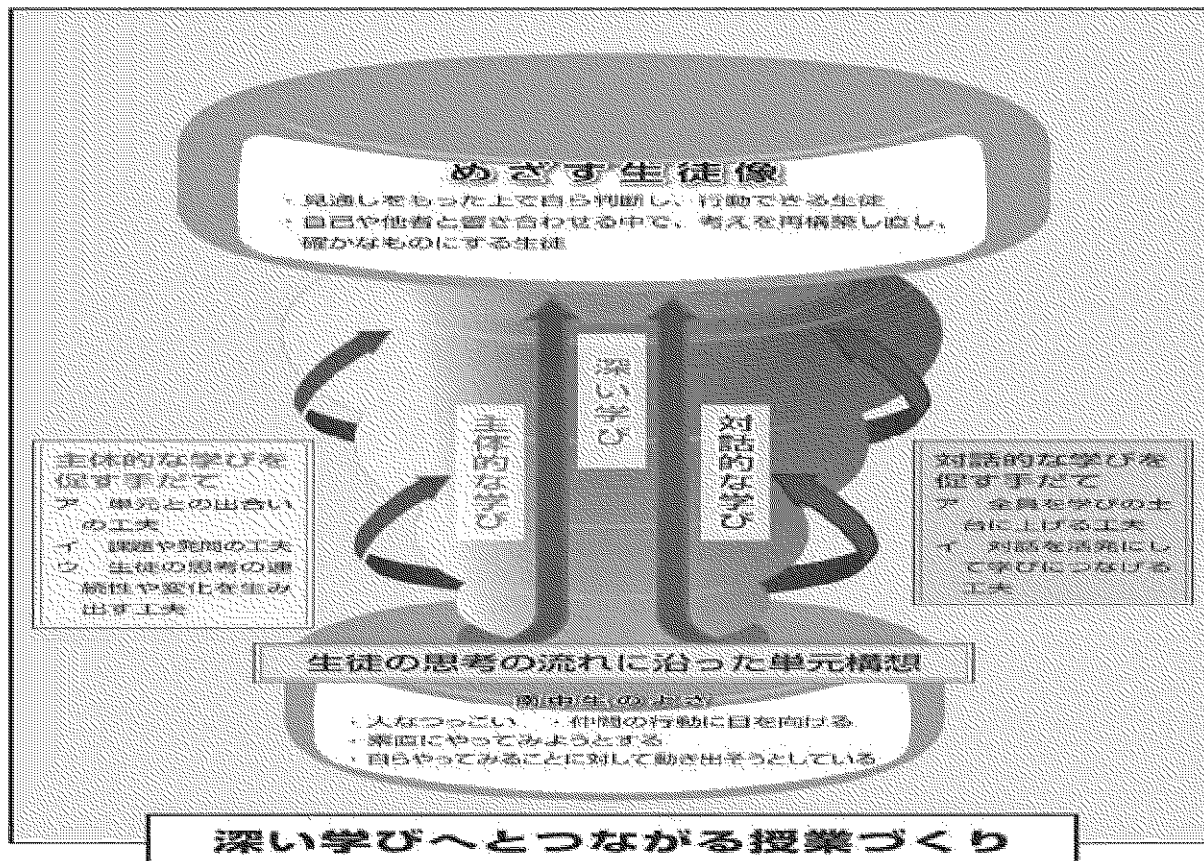
< 地域に開く >

- ・地域の「ひとものこと」を活用した交流会活動
- ・地域に貢献する活動の推進
- ・HP、学校新聞、通信等による学校紹介

< 健康や体力をみがく >

- ・やりぬく強さを育てる部活動
- ・睡眠時間の確保等望ましい生活習慣・食習慣の形成
- ・チームによる、いじめ、不登校、問題行動の未然防止・早期発見・早期対応

2 現職教育の研究課題・研究分野



3 教職員構成

名称	校長	教頭	主幹教諭	教務主任	校務主任	教諭・講師	養護教諭	栄養教諭	事務職員(主任・主事)	任期付任用	県費非常勤	町学校教員等	用務員	介助員	Sカウンセラー	図書館指導員	教員補助員	教職員計
人数	1	1	0	1	1	15	1	0	2	1	4	2	1	0	1	(1)	2	33

4 学級編成状況

学年	1年	2年	3年	特別支援	計
学級数	3	2	2	3	10
人数	72	66	67	9	214
実家庭数	53	62	67	9	191

5 部活動の編成状況

(1) 運動系

名称	野球	卓球	バレーボール	剣道	弓道
人数	20	40	28	16	39

(2) 文化系

名称	弦楽	科学	T.芸
人数	32	15	24

6 教育課程・日課編成上の特色

(1) 日課の特色

最終下校時刻が早い11月～1月の期間は、学校行事・課外活動・進路指導などができるように第6限を①②と分割して授業を行う。

4月～10月、2、3月の日課

	月・火・水・金	木
朝の会・読書 8:10～8:25		
第1限 8:35～9:25		
第2限 9:35～10:25		
第3限 10:35～11:25		
第4限 11:35～12:25		
給食 12:25～13:05		
清掃 13:10～13:25		帰りの会 簡単清掃
昼放課 13:25～13:45		
第5限 13:45～14:35		
第6限 14:45～15:35		生徒集会
帰りの会 15:40～15:50		職員会議 現職教育
部活動 (月・木曜日は部活動なし)		休養日

11月～1月の日課

	月・火・水・金	木
朝の会・読書 8:10～8:25		
第1限 8:35～9:25		
第2限 9:35～10:25		
第3限 10:35～11:25		
第4限 11:35～12:25		
給食 12:25～13:05		
清掃 13:10～13:25		帰りの会 簡単清掃
昼放課 13:25～13:45		
第5限 13:45～14:35		
第6限① 14:45～15:10		生徒集会
帰りの会 15:15～15:25		職員会議 現職教育
第6限② 15:35～16:00		
部活動 (月・木曜日は部活動なし)		休養日

(2) 総合的な学習の時間

- ・自ら計画を立てて、主体的に課題を追究し、納得のいくまで学習をやり遂げる活動
- ・自分の学び方を工夫して仲間に伝え、学びを生かし、自己の生き方を考える活動
- ・各教科で得た知識を基に、発展的な課題を追究し、学びを深める活動

(3) 交流会活動(年4回計画)

- ・地域から講師の先生を招き、全校生徒が共通の目的や関心をもって自主的に参加する活動
- ・地域の方々から文化だけではなく『生き方』についても学ぶ活動

交流会開設講座一覧(12講座実施)					
和太鼓	ゲートボール	障害者スポーツ	ハンドクラフト	将棋	着付け
陶芸	華道	茶道	手話	ちぎり絵	凧作り

7 その他の特色ある活動

(1) 地域交流活動

- ・夏祭り、ラジオ体操など、夏休みに行われている地域活動の運営補助
- ・保育園への訪問活動(弦楽部の訪問演奏など)
- ・地域との交流を大切にした南中祭(文化祭)

(2) 福祉活動

- ・学区防災訓練への参加
- ・福祉施設への訪問活動
- ・アルミ缶回収運動
- ・学区敬老会でのボランティア活動

(3) 言語表現に親しむ活動

- ・発達段階に応じた言語表現の楽しさを学ぶ「心をはぐくむ俳句講座」
- ・読書の習慣化を図る朝の読書タイム
- ・本の魅力を知り、本に親しむ図書委員会活動やボランティアの方を招いての読み聞かせ会
- ・英語に慣れ親しみ、外国の文化に触れる英語活動

8 PTAの組織(役員・委員会の名称及びその人数)

【PTA役員】			
会長	1名	副会長	2名
書記	3名	会計	3名
会計監査	2名	母親代表	2名

【PTA委員会】	
会員研修委員会	8名
生徒育成委員会	7名
安全福祉厚生委員会	7名

北 部 中 学 校

創 立 平 成 元 年

校 長 伊 與 田 孝 彦

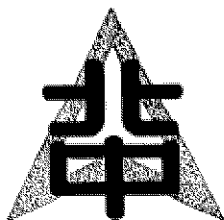
所 在 地 幸 田 町 大 字 相 見 字 越 丸 36 番 地
校 地 面 積 43,311 m² (施 設 台 帳 より 引 用)

電 話 62-9451 Fax 62-9452
E-mail hokubujh@town.kota.aichi.jp

校 訓

校 章

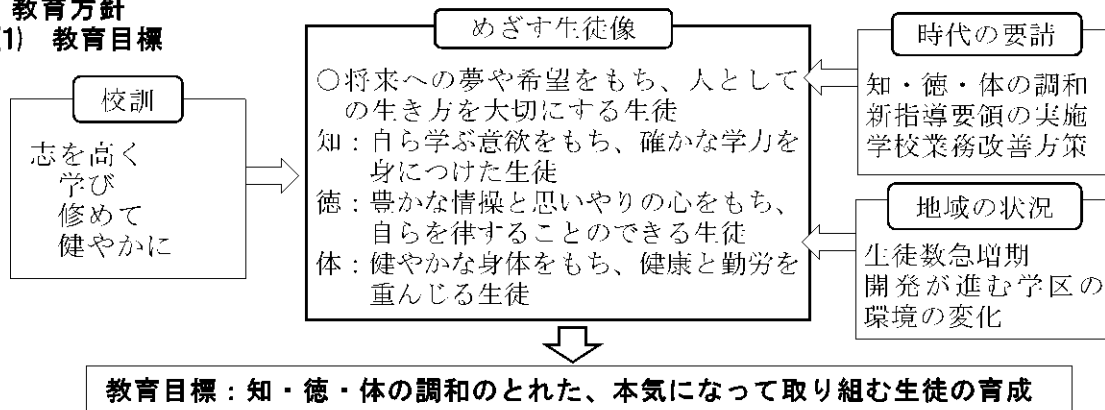
志を高く
学び
修めて
健やかに



団（縦割り）でのアピール合戦＜校内陸上大会＞

1 教育方針

(1) 教育目標



(2) 経営方針

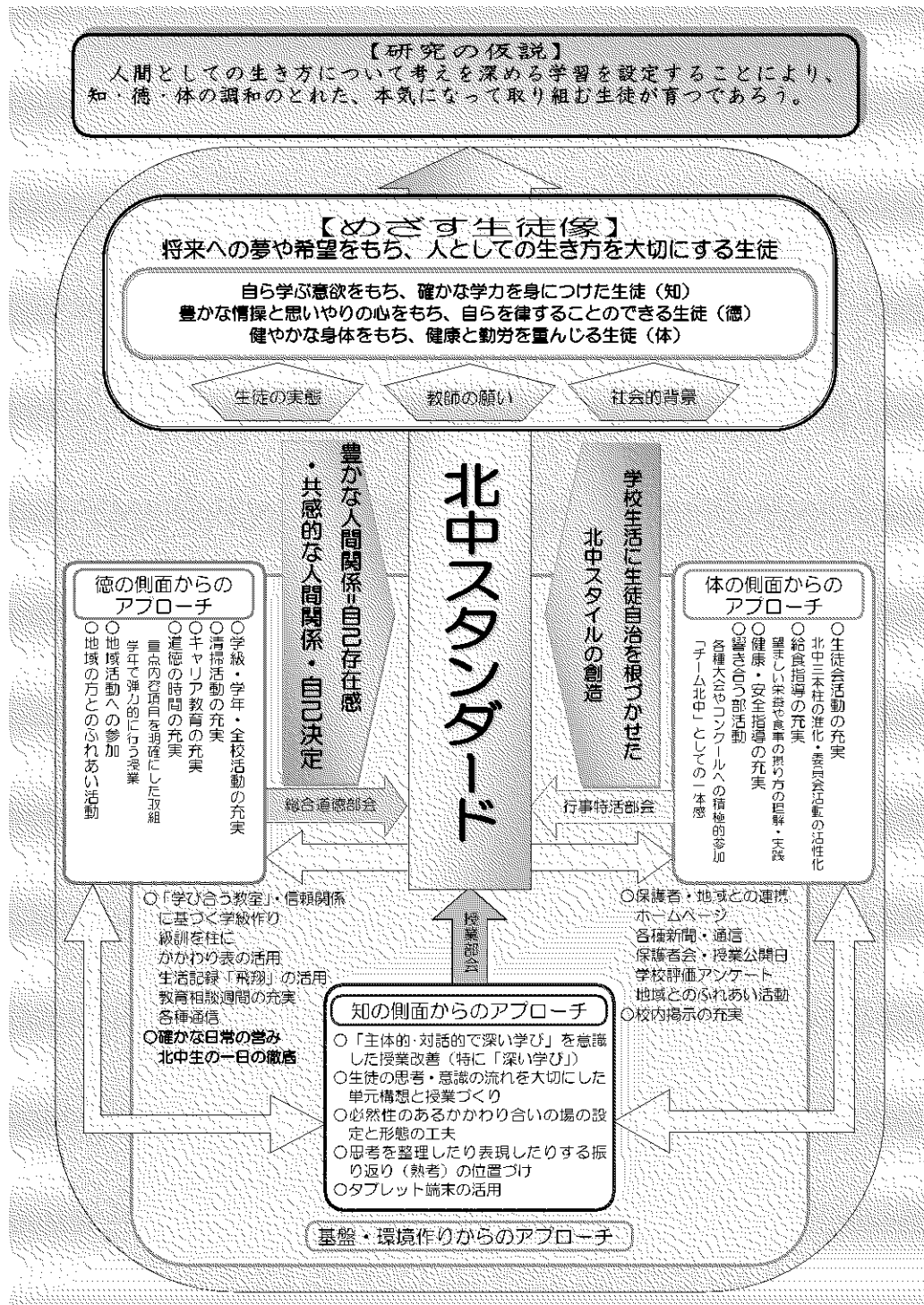
- 信頼を基盤として、「ともに」を意識できる学校づくりの推進
 - 「生徒が通いたくなる学校」
 - ・北中3本柱「あいさつ・歌声・清掃」の進化を掲げ、学校生活に生徒自治の精神を根づかせ、北中文化を創造していく。
 - 「家庭・地域が通わせたい学校」
 - ・学校行事の公開、保護者・PTA・地域との各種会合等を通して、情報発信を行うとともに、家庭や地域の思いを広く受け止め、開かれた学校づくりを推進し、家庭や地域との積極的な交流の機会をつくる。
 - 「教職員が勤めたい学校」
 - ・「和」と「共通理解」を尊び、使命感と教育愛あふれる教師集団を目指す。

(3) 本年度の重点努力目標

- ア 確かな学力を育む教育課程編成・学習指導の充実
 - ・新学習指導要領の実施をふまえ、タブレット端末も有効活用をしながら「主体的・対話的で深い学び」を具現化するための授業改善に取り組む。
 - ・習熟度別学習や個に応じた指導を効果的に取り入れ、基礎・基本の確実な定着を図るとともに、家庭との連携を密にして、中学生にふさわしい学習習慣の確立を図る。
- イ 豊かな心を育む活動の充実
 - ・「道徳」を要として、「いのちを大切にする心」「思いやりの心」等の心を耕す活動の充実を図り、豊かな情操や感性を養う。
 - ・北中3本柱「あいさつ・歌声・清掃」を軸に生徒会活動の主体的な活動を支え、促す。
 - ・心のつながりを大切にした学年・学級づくりを進め、不登校抑止やいじめ防止には、スクールカウンセラーや関係機関と連携して問題の未然防止に努める。

- ウ たくましく健やかな体を育む活動の充実
 - ・自らの心や体と向き合い、中学生にふさわしい基本的な生活習慣や食生活の確立を図るため、家庭と連携した学校保健活動を推進し、健康教育の充実を図る。
- エ 特別な支援を要する生徒への指導の充実
 - ・生徒の特性に応じた指導や支援を全校体制で推進し、自立と共生の精神を培う。
 - ・特別な支援を要する生徒の理解と適切な対応への共通理解を深める。
- オ 灾情に応じた安全の確保
 - ・家庭、地域との連携を図り、時代の要請に応じた安全・防災・情報モラル教育を推進し、生徒の意識向上に努める。

2 現職教育の研究課題・研究分野



3 教職員構成

名称	校長	教頭	主幹教諭	教務主任	校務主任	教諭・再任 用・育短	養護教諭	栄養教諭	事務職員	任期付任用	臨時的任用	県費非常勤	町学校教員等	用務員	介助員	Sカウンセラー	図書館指導員	Sサポート スタッフ	教職員計
人数	1	1	0	1	1	24	1	0	1	2	5	1	1 (2)	1	1	1	(1)	1	43 (3)

4 学級編成状況

学年	1年	2年	3年	特別支援	計
学級数	6	5	5	3	19
人数	201	194	191	6	592
実家庭数	161	185	189	5	540

5 部活動等の編成状況

(1)運動系

名称	野球 (男)	ソフトボール (女)	ソフトテニス		卓球 (男・女)	バレーボール		バスケットボール		剣道 (男・女)	弓道 (男・女)
			男	女		男	女	男	女		
人数	36	17	42	34	78	32	33	37	25	38	71

(2)文化系

名称	吹奏楽 (男・女)	コンピュータ (男・女)	T.芸 (男・女)
人数	74	52	22

6 教育課程・日課編成上の特色

(1) 総合的な学習の時間

「未来社会を切り拓きよりよく生きる力を身につけよう」を学校全体のテーマとして、自ら課題を見つけ、主体的に判断し、よりよく課題を解決する資質や能力を育てる。また、1年「地域を知る」、2年「地域を考える」、3年「地域に生きる」をテーマに、主体的・創造的に取り組む態度を育てる。

(2) 地域の講師に学ぶ

様々な方面で活躍する地域の方々から話を聞き、自己の生き方を考える時間とする。

7 その他の特色ある活動

ア 福祉活動

- ・福祉施設を訪問し、交流活動や奉仕活動をする。
- ・「こうた夏まつり」などの地域の行事に、ボランティアとして参加する。

イ 読書に親しむ活動

- ・多目的ホールに図書館の分室（読書の森）を設置し、幅広く読書を促す。
- ・朝の会の読書タイムを拡大し、読書の習慣化を図る。

ウ 学年の口

- ・1年に1回、学年ごとに内容を工夫し、終日をのびのびと活動し仲間との絆を深める。
- ・2年生は、立志の会を行う。

エ 学校保健委員会

- ・学年ごとに年間1回、講師を招聘して生徒と保護者を対象にした保健学習会を開催する。

オ 歌声タイム・生徒会縦割り活動

- ・毎週木曜日朝に歌声タイムを軸に、歌声委員会を中心に、歌声を広げていく活動を行う。
- ・異学年の交流を深めるために、北中タイム、陸上大会、文化祭などで団活動の充実を図る。

8 PTAの組織（役員・委員の名称及びその人数）

[PTA役員]			
会長	1名	副会長	2名
書記	3名	会計	3名
会計監査	2名	母親代表	2名

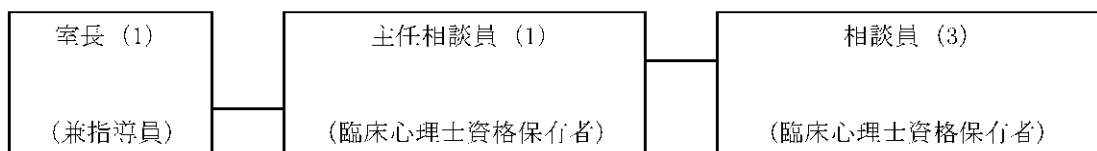
[PTA委員会]	
広報委員会	8名
研修委員会	8名
保健委員会	8名
生活委員会	8名

幸田町教育相談室・適応指導教室

1 設置目的

悩み等の相談、助言及び不登校で悩む児童生徒等に対する個々の状態に応じた指導を行うことにより、非行を防止し、集団生活に適応できるよう、自立や学校生活への復帰及び援助を図る。

2 職員



3 活動時間

火曜日から金曜日の午前10時から午後6時まで

4 活動場所

幸田町大字菱池字黒方78番地 幸田町中央公民館内

5 活動業務

- (1) 相談室での個別による助言及び指導に関すること。
- (2) 適応指導教室による適応指導に関すること。
- (3) 不登校となる原因並びに問題の究明及び解消のための必要な措置に関すること。
- (4) 不登校の予防のための活動に関すること。
- (5) 相談内容に応じた関係学校との連絡調整及び関係機関の紹介等に関すること。
- (6) その他教育相談事業に関すること。

6 令和2年度の月別相談者数

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総合計	実数	
小学生	10	1	56	69	49	57	79	71	85	82	87	84	730	73	
中学生	8	3	20	32	22	24	33	25	40	32	26	32	297	40	
保護者	小	9	0	50	50	38	52	65	48	58	53	56	52	531	93
	中	4	2	19	20	13	17	19	18	23	20	21	17	193	38
教員	0	0	1	5	1	5	7	4	7	2	5	0	37	28	
その他	2	0	10	8	2	6	6	2	5	9	6	8	64	18	
計	33	6	156	184	125	161	209	168	218	198	201	193	1852	290	

地域に根ざした学校づくり事業報告一覧

1 事業目的

本町の学校教育の指導方針及び各学校の経営方針に基づき、各学校の伝統、地域性、環境等の特殊性、独自性等を十分に考慮し、児童及び生徒の学習意欲の高揚及び心身の発達に寄与する事業を展開する。

2 令和2年度事業実績

学校名	事業内容	事業費		
坂崎小	<table border="1"> <tr> <th>テーマ</th> <td>ふるさと坂崎を愛する子どもの育成</td> </tr> </table>	テーマ	ふるさと坂崎を愛する子どもの育成	206,000 円
	テーマ	ふるさと坂崎を愛する子どもの育成		
<p>①学区の里山整備にかかわろうと、専門家のご指導を受けながら、6年生が実際に里山を歩き、活動を計画した。里山を歩く人のことを考え、憩いの場になるよう、ベンチづくりを行った。</p> <p>②6年生が1年生とともに活動したいと考え、サツマイモ栽培に取り組んだ。栽培する活動を通して、1年生との交流を深めた。</p> <p>③3年生が地域講師の方の指導のもと、イチゴの栽培を体験した。総合学習では、作ったイチゴジャムを持ち帰り、収穫の喜びを感じることができた。</p> <p>④5年生が地域講師の方のご指導を受けながら、お米の栽培活動に取り組んだ。収穫後は、講師の方を招いてお米の炊き方について学んだ。</p> <p>⑤1年生が生活科の学習で、シャボン下遊びを行った。</p> <p>⑥ウサギや魚の飼育活動を通して、思いやりの心を育んだ。</p>				
幸田小	<table border="1"> <tr> <th>テーマ</th> <td>感性豊かな子どもの育成～体験活動・交流活動を通して～</td> </tr> </table>	テーマ	感性豊かな子どもの育成～体験活動・交流活動を通して～	402,000 円
	テーマ	感性豊かな子どもの育成～体験活動・交流活動を通して～		
<p>①2年生の生活科での野菜作り、5年生の総合的な学習での米作り、特別支援学級の野菜作りを通して、地域の方のご指導を受けながら、野菜や稲の世話をすることの大変さや収穫できた時の喜びを味わうとともに、関わっていただいた方々に感謝する気持ちをもち、メッセージを手紙などにして伝えることができた。</p> <p>②地域との交流の場でもあるGTP（中庭自然広場）の整備（東屋の修理）を行った。</p> <p>③GTP（中庭自然広場）内にある「ほなみ川」周辺の環境整備のために、水中ポンプを購入した。</p> <p>④日頃の清掃活動及び、来年度の親子奉仕作業充実のための道具を購入した。</p> <p>⑤地域の方へ学校教育活動の一端を伝える大切な交流の場である学習発表会（コロナ禍での開催のため、3年生以下は無観客開催 DVD 販売、4年生以上は運動場で開催）消耗品購入に充てた。</p> <p>⑥子どもたちが集い交流する機能をもった体育館下の自由広場を有効利用し、地域住民との交流の場としても活用できるように、今年度も照明施設の未整備部分の補充を行った。LED 照明で照度が増し、子ども達の下校時の集合場所、縦割りふれあい活動の場として、また、地域住民との交流活動場所として、大きく役立った。</p>				
中央小	<table border="1"> <tr> <th>テーマ</th> <td>①中央小学区の自然や人々とふれあい、積極的に地域に貢献しよう ②伝統文化「三河万歳」「三州凧」「茶道」「和太鼓」を継承しよう</td> </tr> </table> <p>①今年度は、コロナ禍という制約がある中で、持続可能な学校・家庭・地域の連携を図るために、地域連携協議会と学校支援ボランティア（約70名）を活用して、学校の教育活動に多くの地域住民に関わっていただいた。各学年の活動も柔軟に対応し、子どもたちの興味や関心に応じて学区</p>	テーマ	①中央小学区の自然や人々とふれあい、積極的に地域に貢献しよう ②伝統文化「三河万歳」「三州凧」「茶道」「和太鼓」を継承しよう	275,000 円
テーマ	①中央小学区の自然や人々とふれあい、積極的に地域に貢献しよう ②伝統文化「三河万歳」「三州凧」「茶道」「和太鼓」を継承しよう			

	<p>の方々に協力をいただきながら、学区の自然や地域の人々と相互交流を図る活動を展開した。また授業でも地域講師の方から学ぶ機会を設定した。</p> <p>②今年度も学校支援ボランティアを活用して、各クラブが地域講師の指導の下、活動した。コロナ禍のため、例年のように地域への活動への参加や、福祉施設への訪問はできなかったが、校内での全校ライブ中継を行うことで練習の成果を披露した。</p>	
荻谷小	<p>テーマ 未来につなげ！緑かがやく荻谷笑</p> <p>①ソフトボール場や走り幅跳びの走路まで入り込んだ芝生の整備を行った。</p> <p>②草刈り機が新しくなり、どんどん伸びる草を効率よく刈り取ることができ、気持ちのよい環境を整えることができた。</p> <p>③校内の緑を守り、さらに増やすために、緑化委員を中心として、みどりのチーム（縦割り班）と関わらせながら、花壇やプランターを使って栽培活動を行った。夏に向けてマリーゴールドを種から、春に向けてパンジーを苗から栽培し、一年中季節の花で学校を彩ることができた。</p> <p>③総合的な学習（3年いちご作り、5年米作り）では、地域講師を招いて指導していただいたおかげで、子どもたちは意欲的に学習に取り組むことができた。</p> <p>④学校行事や総合的な学習で、子どもたちの活躍する姿や様子を掲示板に写真で発信することができた。</p>	195,000 円
	<p>テーマ 未来を見つめ、しせいよく 生きる子どもの育成</p> <p>①級訓を核とした、規律ある学級づくりの強化を図った。</p> <p>②体験活動、問題解決的学習を重視して、思考力・判断力・表現力等を育成した。</p> <p>③たて割り活動（異年齢集団活動）や飼育栽培活動の充実を図り、思いやりの心と、いのちや自然を大切に作る心を培った。</p> <p>④「しっかり 朝ごはん」「せなか ピン」「いつもスマイル」「よく見てあいさつ」「くじけずラン」を継続した。</p> <p>⑤通信やホームページを充実させ、子どものよさを家庭や地域に積極的に発信した。</p> <p>⑥ナスの栽培、防災学習等、地域の「ひと・もの・こと」を活用した教育活動を展開した。</p>	
深溝小		223,000 円
豊坂小	<p>テーマ 大好きなふるさと とよさか</p> <p>①地域を見つめる体験活動 豊坂小学校の取り組みとして定着しているナスや稲の栽培を、地域の方のご指導を受けながら行い、世話の大変さや収穫できた時の喜びを味わった。そして、地域の講師の方々や登下校を見守っていただいた方々を招待し、感謝の気持ちを伝えることができた。また、ナス栽培をした3年生と6年生は、豊坂ナスを多くの人に知ってもらおうと色々な取り組みを行った。地域に対しては、収穫したナスを給食センターに届け、食材として活用していただいた。</p> <p>②校内の環境をよりよくする活動 子どもたちの活動がより円滑になるよう、校内環境整備で使用する物品の購入や補修等で必要となる材料等の購入を行った。 新校舎増築による移動に伴い、学級園の移動を行った。その際、パーゴラの新設や樹木の移動なども行い環境を整えた。</p>	225,000 円

幸田中	<p>テーマ 「いつも熱く ずっと熱く もっと熱く」生きる生徒の育成を目指して</p> <p>①情熱と信頼を教育推進の基盤とし、全校合唱・ダンス、学年・学校行事などのさらなる活性化を図った。コロナ禍においても、飛沫感染防止二重分配慮し、合唱練習に取り組めるように全校生徒と教職員全員分おマウスシールドを購入し、活用した。また、全校ダンスは、平成17年度から14年続けてきた「島唄」を、東日本大震災の復興支援ソングの「ライジングサン」へと変えた2年目となった。幸田中学校の全校ダンスが、さらに進化できるように、体育大会での全校ダンスは、無観客ながらも本年度も実施することができた。そのためのよりきれいな運動場整備を行った。</p> <p>②今年度も、全学年で花いっぱい運動の一環としてチューリップの栽培に地域ぐるみの教育を考え、地域とのつながりを深める「花いっぱい運動」と委員会活動の充実を図ったが、コロナ禍のためにお世話になった地域の施設・店舗等に育てた花を贈ることはできなかった。かわりに、本校の様子を具体的に載せた学校新聞をお世話になった町内の公共施設等に送付した。</p> <p>③豊かな情操を育む教育環境の改善のため、廊下掲示を改善した。プロのカメラマンによる生徒たちの笑顔あふれる本物の写真を廊下掲示に並べることで、お互いのよさを感じ取ることができた。そこから、改めて自分の居場所が学級・学年にあることを感じさせることができた。また、保護者や外部の方々に芸術作品に近い写真群を鑑賞していただくことで、中学生の真の姿を認識していただくことができ、地域に幸中文化を発信することができた。</p>	280,000円
南部中	<p>テーマ 地域に愛され、地域に貢献できる南中生</p> <p>①交流会活動 当初予定していた「交流会活動」や地域の方を招待しての南中祭、また敬老会や夏祭りに出かけていき、南中ソーランを披露するなどの勝つ争覇、コロナ感染症対策のため行うことができなかった。直接地域貢献をすることが難しかった本年度は、地域を元気にするために、生徒会発案の「南中前向きカレンダー」を地域の施設等に配付する活動を行った。その他、以下のような活動を通して、テーマの実現を図った。</p> <p>②南中祭 地域の方及び保護者を招待せず、生徒のみで行った。生徒会活動の柱として生徒の手による模擬店を実施した。また、地域の方に体育館内に櫓を設置していただき、そこでステージ発表や南中ソーランを披露することができた。</p> <p>③地域とのつながり 家庭科の授業の一環として、保育園訪問をし、地域の子どもたちとのふれあいを行った。また、幸田高校文芸部顧問の先生を講師にお招きし、3年生生と対象に「心をはぐくむ俳句講座」を実施した。</p> <p>④学校周辺の環境美化 学校周辺を美しい環境に整えることも一つの地域貢献と考え、清掃活動やペンキの塗り替えなど、環境美化に取り組んだ。</p>	170,000円

北部中	テーマ	信頼される学校を目指して～本気になって取り組む生徒の育成～	274,000 円
	<p>①歌声の響く学校を目指し、全校で合唱に取り組んできた。2学期には地域から合唱志度運お講師を招聘し、各クラス2回の合唱指導を実施することができた。文化祭では、美しい歌声の響く合唱を発表し、保護者、地域の方にも北部中学校の合唱を聴いていただき、歌声の響く学校づくりについて知っていただいた。</p> <p>②生徒たちが本気になって取り組む授業づくりに取り組んだ。特に今年度、総合的な学習の時間のテーマを「地域」とし、各学年取り組んだ。幸田町にかかわりの深い行事や人に焦点をあてた実践を重ね、未来社会を切り開きよりよく生きる力を高めた。</p> <p>③環境美化に努めるとともに、道具などを整備するなど、生徒が生き生きと活動できる環境を整えた。校内が花であふれるようにするために、プランターや北中花壇などにパンジー、サルビア、マリーゴールド等を育てた。気持ちのよい環境を維持することができ、生徒の環境美化の意識も高まった。</p>		

幸田町奨学金制度

1. 目的

高等学校や専修学校等に在学し、心身が健全で且つ修学の意欲があるにもかかわらず、経済的理由により修学が困難なかたに対し、奨学金を支給することによって、教育の機会均等及び有能な人材を育成支援することを目的とする。

2. 奨学金の額

月額5,000円（奨学金支給審査委員会による審査により支給を決定し、8月と10月に支給）

3. 実績

	件 数	支 給 額
R1	58	3,480,000円
R2	58	3,360,000円

令和2年度 就学援助受給者内訳表

1 学年別内訳

学校	学年						計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
坂崎小	1	1	1	4	1	1	9
幸田小	3	9	8	13	4	7	44
中央小	5	3	5	6	4	9	32
荻谷小	1	2	1	3	2	2	11
深溝小	5	5	1	7	5	6	29
豊坂小	3	5	1	2	6	5	22
その他小							
小学校計	18	25	17	35	22	30	147
幸田中	6	11	13				30
南部中	2	6	13				21
北部中	10	12	9				31
その他中			1				1
中学校計	18	29	36				83
						合計	230

2 申請理由別

学校	申請番号									計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
坂崎小			1			7			1	9
幸田小	1		3			25			15	44
中央小			7		1	12			12	32
荻谷小			3		1	5			2	11
深溝小	1		4			18	1		5	29
豊坂小			2			9			11	22
その他小										
小学校計	2		20		2	76	1		46	147
幸田中			5			16			9	30
南部中	3		1			11	1		5	21
北部中	1		1			20			9	31
その他中						1				1
中学校計	4		7			48	1		23	83
									合計	230

母子家庭:168 その他:65

申請理由番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	生活保護	生活保護停止・解除	市町村民税非課税	固定資産税減免	国民年金掛金等減免	児童扶養手当支給	生活福祉資金貸付	職業安定所登録口雇労働者	その他（生活困窮）

3 新規・継続認定者／認定者世帯数

	坂崎小	幸田小	中央小	荻谷小	深溝小	豊坂小	その他小	幸田中	南部中	北部中	その他中	計
合計	9	41	32	11	29	22		30	21	31	1	230
新規	1	15	14	3	12	4		4	5	6		64
継続	8	29	18	8	17	18		26	16	25	1	166
世帯数	8	28	27	9	21	15		29	19	27	1	

小学校世帯 108 中学校世帯 76

全世界帯数(小中全体) 184

4 認定者累計／解除者数

	坂崎小	幸田小	中央小	荻谷小	深溝小	豊坂小	その他小	幸田中	南部中	北部中	その他中	計
認定者累計	9	46	36	11	29	25		31	21	33	1	242
解除者数		2	4			3		1		2		12

学 校 給 食

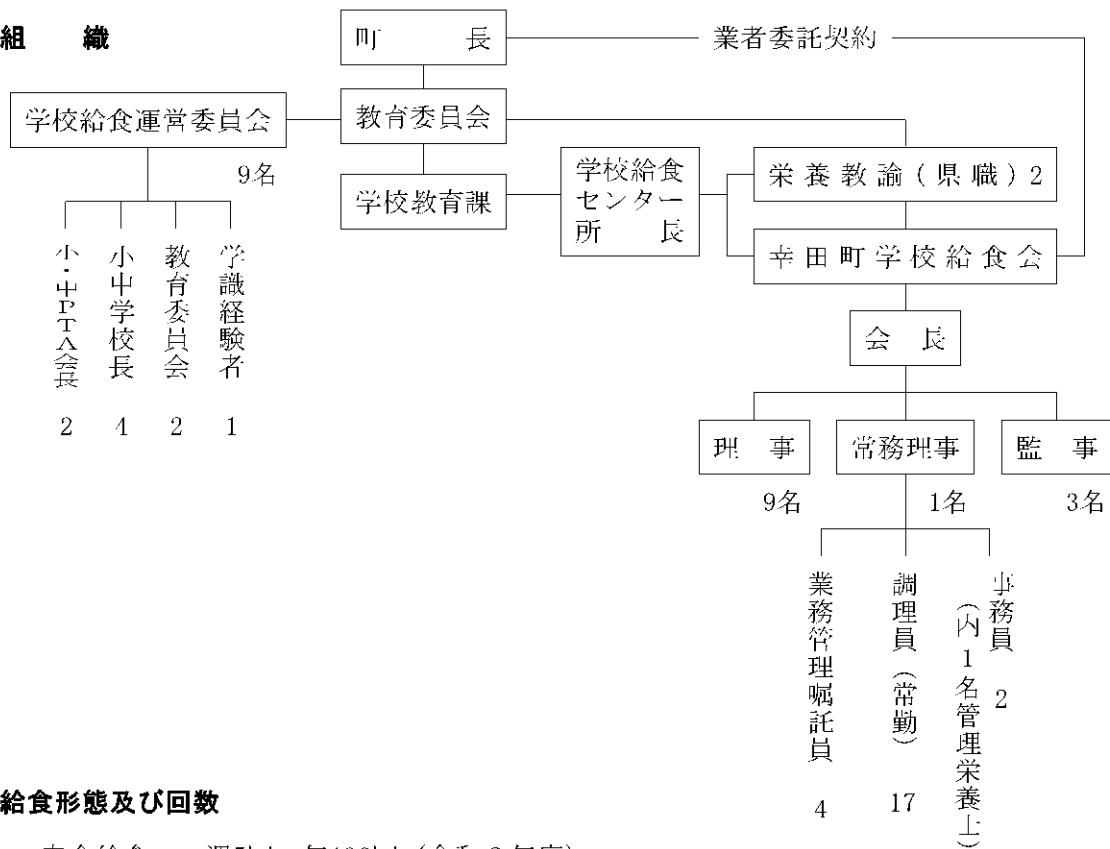
1 施設概要

名 称 幸田町学校給食センター
 所 在 地 〒444-0113 幸田町大字菱池字桜塚180番地
 電話 62-6681
 開 設 平成21年7月22日
 面 積 敷地 5,218㎡
 建物

種 別	構 造	面 積
本 館 棟	鉄骨造2階建	2,654.11㎡
機 械 棟	鉄骨造平屋建	84.00㎡
駐 輪 棟	鉄骨造平屋建	14.14㎡
資 材 保 管 庫	鉄骨造平屋建	23.88㎡
厨 房 除 外 排 水		75.00㎡/日
生ゴミ処理排水		9.00㎡/日

給食能力 5,000食/日
 配 送 2t車4台
 発電装置 太陽光発電設備 10.08kw/h

2 組 織



3 給食形態及び回数

完全給食 週5回 年192回 (令和3年度)
 (内 米飯給食 週3.8回程度)

- 4 運営目標 (1) 衛生管理の徹底
 (2) 給食多様化
 (3) 職員の資質向上

- 5 給食費 小学校 240円 (1食当たり)
 中学校 270円 (1食当たり)

- 6 給食数 (令和3年5月1日現在)

	学校数	児童生徒数
小学校	6校	2,919人
中学校	3校	1,373人

○ 学校給食の推移

昭和52年 4月	給食センター業務開始 小学校(5校)の共同調理
52年 9月	中学校(1校)の共同調理
53年 5月	小学校のみ弁当持参給食開始 実施日：(第2・第4水曜日)
53年 9月	中学校弁当持参給食開始 小中学校とも 実施日：(毎週水曜日)
53年12月	弁当箱保温庫導入(小中学校各教室へ設置)
54年 5月	愛情弁当 週2回実施 実施日：(毎週水曜日・金曜日)
55年 4月	委託米飯実施 小学校のみ(6校) 実施日：(第2・第4火曜日)
55年 6月	中学校委託米飯開始 実施日：(第2・第4火曜日)
59年 4月	委託米飯 週1回実施(毎週火曜日)
平成 9年 3月	持参弁当廃止
9年 4月	委託米飯週3回実施(毎週火・木・金曜日)
21年 4月	新給食センター竣工式(業務開始)

○ 学校給食費の推移

年 月	給食単価 (円)	
	小学校	中学校
昭和52年 4月	115	単独調理
52年 6月	120	135
52年 9月	120	145
53年 5月	135	160
55年10月	150	175
57年 4月	160	185
61年 4月	170	195
平成 5年 4月	200	230
11年 4月	220	250
21年 4月	240	270

令和3年度 幸田町学校給食 主食別実施計画表

令和3年4月5日現在

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	合計
4月								小クロスロール	白飯			白飯	白飯	バターロール	白飯	白飯			白飯	白飯	ソフトめん	白飯	麦飯			白飯	白飯	麦飯		白飯		16
5月						白飯	麦飯			白飯	わかめ飯	サンドパンズ	白飯	白玉うどん			白飯	白飯	スライスパン	白飯	麦飯			白飯	白飯	ソフトめん	白飯	麦飯			白飯	18
6月	白飯	白玉うどん	白飯	麦飯			白飯	白飯	ミルクロール	白飯	麦飯			白飯	白飯	小型ロール	白飯	麦飯			白飯	白飯	黒ロール	白飯	中華めん			白飯	白飯	麦飯	22	
7月	わかめ飯	白飯			白飯	白飯	クロワッサン	白飯	ソフトめん			白飯	白飯	小型ロール	白飯	白飯			白飯													13
9月			白飯			白飯	白飯	サンドロール	白飯	麦飯			白飯	白飯	中華めん	白飯	レーズンロール				白飯	白飯		麦飯			白飯	白飯	ソフトめん	白飯	18	
10月	麦飯			白飯	白飯	バターロール	白飯	麦飯			白飯	白飯	白飯	麦飯	ソフトめん			白飯	白飯	白玉うどん	白飯	白飯	クロスロール			白飯	わかめ飯	サンドパンズ	白飯	麦飯	21	
11月	白飯	白飯		白飯	麦飯			白飯	白飯	りんごパン	白飯	麦飯			白飯	白飯	ミルクロール	白飯	ソフトめん			白飯		白飯	白飯	ツイストロール			白飯	麦飯	20	
12月	スライスパン	白飯	白飯			白飯	白飯	クロスロール	白飯	白玉うどん			白飯	白飯	黒ロール	白飯	麦飯			白飯	白飯	麦飯									16	
1月												白飯	白飯	麦飯			白飯	白飯	バターロール	白飯	麦飯			白飯	大根菜ごはん	きしめん	白飯	あいちの米松パン		白飯	14	
2月	白飯	中華めん	白飯	麦飯			白飯	白飯	サンドロール	麦飯				白飯	白飯	小型ロール	白飯	麦飯			白飯	麦飯			白飯	わかめ飯			白飯		18	
3月	白飯	赤飯	白飯	スライスパン			白飯	白飯	サンドパンズ	白飯	麦飯			白飯	白飯	ソフトめん	五穀飯	黒ロール					白飯	白飯							16	
備考	主食別回数 米飯・・・・・・・・・・150回 (78.1%) パン・・・・・・・・・・27回 ソフトめん・・・・・・・・7回 中華めん・・・・・・・・3回 白玉うどん・・・・・・4回 きしめん・・・・・・・・1回 給食予定実施回数 192回																															

令和2年度 栄養摂取状況（喫食前）

小学校	エネルギー kcal	たんぱく質 g	脂質 g	カルシウム mg	鉄分 mg	ビタミン			エネルギー kcal	たんぱく質 g	脂質 g	カルシウム mg	鉄分 mg	ビタミン			食物繊維 g	食塩 g	
						A μg	B ₁ mg	B ₂ mg						C mg	A μg	B ₁ mg			B ₂ mg
4月	新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う臨時休校のため給食中止																		
5月	新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う臨時休校のため給食中止																		
6月	666	26.8	21.4	373	2.9	408	0.50	0.58	24	4.5	2.6	414	3.7	478	0.65	0.65	28	5.6	3.1
7月	664	25.5	20.1	348	2.8	273	0.55	0.53	35	5	2.4	384	3.6	316	0.74	0.59	39	6.2	2.9
9月	659	25.7	20.5	366	2.9	430	0.57	0.58	35	5.0	2.4	425	4.1	499	0.76	0.65	40	6.2	2.9
10月	665	25.9	21.4	378	3.0	385	0.55	0.56	29	4.9	2.5	411	3.9	445	0.73	0.62	35	6.2	3.0
11月	666	26.6	20.5	375	3.4	385	0.45	0.51	26	4.8	2.4	416	4.4	451	0.60	0.58	31	5.9	2.9
12月	663	25.9	21.1	368	2.8	292	0.52	0.57	33	5.2	2.5	415	3.9	343	0.69	0.63	38	6.3	3.0
1月	665	27.0	19.8	399	3.3	305	0.46	0.52	29	5.1	2.5	443	4.5	341	0.60	0.59	33	6.2	3.0
2月	654	26.6	20.1	379	3.1	408	0.56	0.57	31	5.1	2.4	409	3.9	475	0.74	0.63	35	6.2	2.9
3月	665	26.5	19.8	390	2.7	251	0.47	0.50	32	4.8	2.4	441	3.7	289	0.61	0.56	37	6.1	2.9
合計	5967	236.5	184.7	3376	26.9	3137	4.63	4.92	274	44.4	22.1	3758	35.7	3637	6.12	5.50	316	54.9	26.6
平均	663	26.3	20.5 27.9%	375	3.0	349	0.51	0.55	30	4.9	2.5	418	4.0	404	0.68	0.61	35	6.1	3.0
基準値	650	26.8	18.1 20-30%	350	3.0	200	0.40	0.40	20	5.0	2.0	450	4.0	300	0.50	0.60	30	6.5	2.5

エネルギーの
13-20%

エネルギーの
18-20%

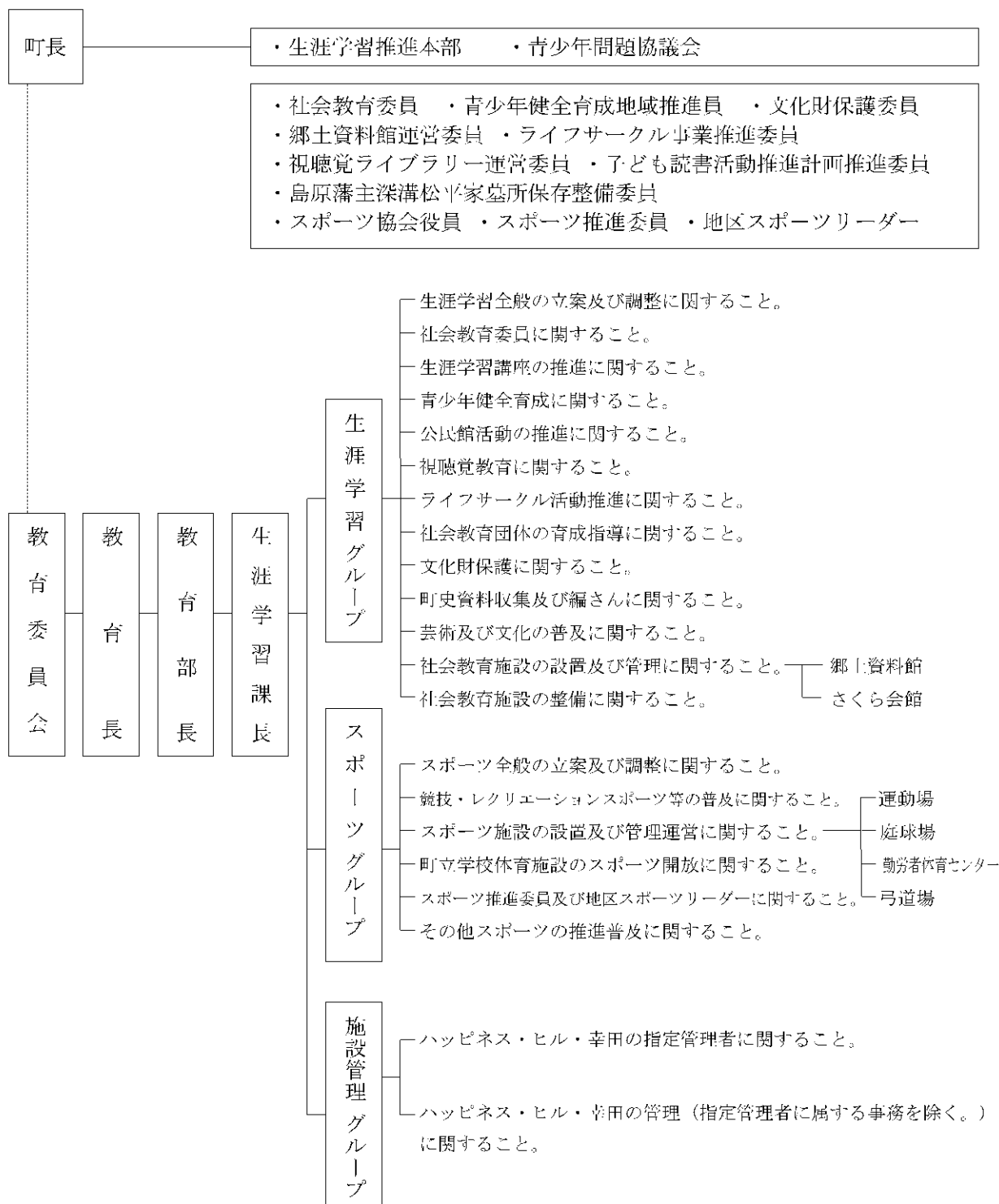
エネルギーの
20-30%

生涯学習



新春大風試し揚げ

生涯学習推進機構



生涯学習推進事業計画

1 重点目標

めまぐるしく変化する社会に対応するために、学習の場所、機会を提供し、人生を自らが築く社会教育の推進を図ります。また、地域、家庭、関係機関と連携し、和やかなまちづくりの一助となるよう努めます。

(1) 生涯学習の推進

生涯学習推進体制の充実

(2) 生涯学習の観点に立った学習計画の推進

ア 生涯学習講座の充実

イ 地域での学習活動の推進

(3) 青少年健全育成の推進

ア 家庭教育の充実

イ 青少年団体の育成

ウ 青少年健全育成事業の充実

(4) 女性教育の推進

ア 女性団体の育成

イ 女性活動の推進

(5) 文化の振興及び文化財保護促進

ア 歴史教育の推進

イ 町内文化財保護推進

ウ 埋蔵文化財の調査

エ 郷土資料館の施設充実

オ 高平市との歴史と文化の友好推進

カ 文化財紹介刊行物販売促進

(6) 視聴覚教育の促進

視聴覚教材の充実及び利用促進

(7) 心豊かで、ふれあいのある町づくりの推進

ライフサークル事業の充実

(8) 社会教育施設の整備充実

公民館・さくら会館・郷土資料館の整備充実と利用促進

生涯学習事業計画

月	生涯学習・総務一般	家庭教育	青少年育成	生涯学習講座	視聴覚ライブラリー	ライフサークル事業	文化振興
4			「家庭の目」啓発（毎月） 防犯パトロール（随時）	簡易ヨガ講座 4月～6月（全10回）	運営委員会（随時）	ライフサークル事業推進委員会	文化財保護委員会 （年2回以上随時） 郷土資料館企画展（端午の節句） 4月～5月
5	第1回社会教育委員会 子ども読書活動推進計画推進 委員会（第1回）	親子ふれあいひろば（花の湯） （本郷園児とその保護者） 5月2教室	青少年非行防止啓発活動 （小中学校運動会にて実施） 青少年健全育成地域推進委員 会（第1回）	シルバースターション 6月～10月 （全5回） フラダンス教室 5月～8月 （全10回）			鑑の試着会 5/5（水・祝） 栗山の歴史と文化財めぐり（桐 山地区） 5/15（土）
6							古文書講座 6月～12月 入川ニュース ステップアップ ニュース（各12回）
7			啓発活動（随時） 7/31（土）	夏休み子ども教室 7月～8月 全2教室			郷土資料館企画展（幸田義） 7/17（土）～9/5（土）
8						第24回こたふた夏まつり 8/21（土） ※雨天中止	歴史講座 前期7/10（土）・7/24（土） 後期10/30（土）
9	文化講演会 9/11（土） 講師 オスマン・サンニン	親子ふれあいひろば（秋の湯） （本郷園児とその保護者） 9月～10月 2教室	成人式運営委員会（随時）	栗川湘近講義 9月～11月 （全10回） 入城講習会			
10	子ども読書活動推進計画推進 委員会（第2回）		青少年健全育成地域推進委員 会（第2回）				
11			啓発活動（随時） 11/14（日）	シニア向けスマホ・タブレット 教室 11月下旬			文化振興展「小野宗直」 11/13（土）～28日（日）
12		親子ふれあいクリスマス会 12/10（金）					
1			成人式 1/10（月・祝）				郷土資料館企画展（おひなさま） 1月～3月
2	第2回社会教育委員会 子ども読書活動推進計画推進 委員会（第3回）	親子ふれあい春まつり 2/25（金）		養知人学オープンカレッジ （全3回）		第25回こたふた夏まつり 1/19（土） 交流会1/8（土）	
3							

※新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、中止または変更となった事業が一部あります。また、今後の状況によっては計画が変更となる場合もあります。

2 生涯学習事業の概要

(1) 生涯学習の推進

健康で心豊かに生きがいのある人生を送り、夢と活気にあふれる地域社会を築く原動力となるよう、乳幼児から高齢者までがいつでも、どこでも学べる生涯学習体制の推進を図る。

生涯学習推進本部

- ① 生涯学習のあり方を調査及び研究する。
- ② 学校教育と社会教育との連携を図る。

(2) 生涯学習の観点に立った学習の推進

ア 幼児教育

- ① 親子ふれあいひろば
5月（春の部） 2グループ
1グループ各10組 全2回
9月～10月（秋の部） 2グループ
1グループ各10組 全3回
- ② 親子ふれあいクリスマス会 12月10日（金） 定員30組 1回
- ③ 親子ふれあい春まつり 2月25日（金） 定員30組 1回

イ 青少年教育

- ① 夏休み子ども教室 7月～8月 全7教室
- ② 成人式 1月10日（月・祝）
- ③ 青少年育成事業
・青少年健全育成非行防止パトロール活動
・「家庭の口」の推進 毎月第3日曜日
- ④ ボーイスカウト・ガールスカウト等青少年団体の育成

ウ 女性教育

こうした女性の会活動の支援

エ 成人教育

- ① フラダンス教室 5月～8月 20人
- ② 実用細筆講座 9月～11月 全10回 20人
- ③ 古文書講座 6月～12月 全12回 各15人 2コース
- ④ 愛知大学オープンカレッジ 2月～3月 全3回 60人

オ 高齢者教育

- シルバースクール 6月～10月 全5回 60人
シルバー向けスマホ・タブレット教室 11月 全3回 24人

(3) ライフサークル事業の推進

心豊かで笑いと楽しさいっぱい町のつくり運動事業を推進する。

令和3年度ライフサークル事業計画

事業名	期日	会場	対象
こうた夏まつり	8月21日(土)	ハッピーネス・ヒル・幸田	町民一般
こうた凧揚げまつり	1月9日(日)	菱池地内	町民一般

(4) 公民館活動

町民ふれあいの場及び生涯学習の拠点となる公民館活動の充実を図る。

ア 地区公民館講座

① 簡単ヨガ講座 4月～6月 全10回 60人

イ 公民館サークル活動の育成

ウ 楽しく気軽に集まれる公民館の整備及び充実

(5) 視聴覚教育活動

ア 視聴覚教材の充実及び視聴覚教材の促進を図る。

中央公民館（幸田町大字菱池字黒方78 電話62-1111）

・液晶プロジェクター	・データプロジェクター	・ビジネスプロジェクター
・オーバーヘッドプロジェクター（OHP）		・スライドプロジェクター
・CDラジオカセット	・三脚	・スクリーン
・スピーカー	・レーザーディスクプレイヤー	
・ビデオカセットレコーダー	・デジタルビデオカメラ	・8ミリ映写機
・16ミリ映写機	・ビデオテープ教材	・レーザーディスク教材
・8ミリフィルム教材	・16ミリフィルム教材	・CD教材
・自作DVD教材6巻セット		

イ 事業の概要

視聴覚教材、フィルムの貸出し

(6) 文化振興、文化財保護活動

豊かな個性と創造性の育成及び町独自の生活、文化の土壌を培う文化財の保存並びに活用を図り、文化財保護意識の高揚に努める。

ア 歴史教育の推進

① 前期歴史講座 全2回 50人

「西方寺 蔵木造板彫当麻曼荼羅について」

第1回 7月10日(上)「西方寺 蔵木造板彫当麻曼荼羅について」

加藤善朗氏（西山短期大学学長）

第2回 7月24日(土)「西方寺 文化財見学会」

神取龍生（生涯学習課主査）

② 後期歴史講座 全1回 50人

10月30日(上)「三河における室町幕府奉公衆の動向」

松島周一氏（愛知教育大学教育学部教授）

- ③ 幸田の歴史と文化財めぐり 春 30人
- ④ 文化振興展の開催
会期：11月13日（土）～11月28日（日）
内容：小野宗重-こうたの地域史の先駆者-

イ 文化財保護（幸田町の文化財）

- ① 国指定重要無形民俗文化財「三河万歳」
幸田町三河万歳保存会
指定年月日 第324号 平成7年12月26日
- ② 国指定史跡「島原藩主深溝松平家墓所」
指定年月日 財第362号 平成26年3月18日
- ③ 県指定天然記念物「三河地震による地震断層」
深溝断層 1,806 m²
指定年月日 天第60号 昭和50年12月26日
- ④ 町指定文化財 …… 幸田町指定文化財一覧表参照

ウ 深溝松平文化財の調査

国史跡島原藩主深溝松平家墓所保存管理計画に基づく保存管理、活用
国史跡島原藩主深溝松平家墓所保存の活用のための研究・調査

エ 町史資料編の販売促進

- ① 第1巻「中・近世」（文治元年～明治4年） …… 平成6年8月発行
4,000円／冊
- ② 第2巻「近代」（明治5年～昭和19年） …… 平成7年10月発行
5,000円／冊
- ③ 第3巻「現代」（昭和20年～昭和64年） …… 平成8年11月発行
5,000円／冊

オ 文化財紹介刊行物販売促進

- ① 「幸田文化財めぐり」 …… 昭和59年12月発行
200円／冊
- ② 「こうたの民話」（32話） …… 平成8年8月発行
2,000円／冊
- ③ 「松平忠雄墓所発掘調査報告」 …… 平成25年3月発行
3,100円／冊
- ④ 「瑞雲山本光寺文化財調査総合報告」 …… 平成25年3月発行
3,600円／冊
- ⑤ 「史跡 島原藩主深溝松平家墓所」 …… 平成26年3月発行
100円／冊
- ⑥ 「こうた文化財ウォーキングマップ」 …… 平成26年3月発行
450円/全10コース 50円/1コース

No.	コース名	主な見どころ	難易度
1	前方後円墳と城館跡コース	さかづきじんやあと 高松つかこみん 坂崎陣屋跡、青塚古墳	初級☆
2	山寺めぐりコース	しょうらくじ おおぐさじんじや 正楽寺、大草神社	中級☆☆
3	菱池東部と深溝街道コース	わしだしちのいくう くまのじんじや 鷺田神明宮、熊野神社	上級☆☆☆
4	幸田駅前から地元発見コース	げんこうじ はたもとないとうせしき 玄好寺、旗本内藤屋敷など	中級☆☆
5	六粟の浜道コース	みょうぜんじ わつりほねまんどう 明善寺、六粟八幡宮	中級☆☆
6	野場の浜道コース	のらちほこみん のぼにしじやうどうい 丸山古墳、野場西城土塁	上級☆☆☆
7	資料館から歴史入門コース	ふこうげんじや まつみづき 深溝城、長満寺	初級☆
8	墳墓の地と深溝街道コース	ほんこうじ ふこうまほつたいらいけいしょ 本光寺、深溝松平家墓所	中級☆☆
9	断層と三ヶ根山麓コース	ふこうげんまら みみやじんじや 深溝断層、御祖神社	上級☆☆☆
10	伝説の墳墓発見コース	あみてんじんじや ぞうぶくし 蘇美天神社、敬見寺	初級☆

- ⑦ 「愛知県指定天然記念物 三河地震による地震断層」 …… 平成 27 年 3 月発行
無料
- ⑧ 「深溝西道祖神 竹内鍛冶屋調査報告」 …………… 平成 28 年 3 月発行
1,000 円/冊
- ⑨ 「松平忠雄墓所出土 祝婚青色ガラス杯調査報告」 …… 平成 29 年 3 月発行
400 円/冊
- ⑩ 「深溝城跡」 …………… 平成 29 年 3 月発行
1,400 円/冊
- ⑪ 「青い目の人形調査報告書」 …………… 平成 30 年 3 月発行
1,500 円/冊

(7) 幸田町郷土資料館

- ア 所在地** 幸田町大字深溝字清水 36 番地 1 電話 62-6682
- イ 開館時間** 午前 10 時～午後 5 時
- ウ 休館日** 毎週月・木曜日(ただし、祝日の場合は翌日以後の最初の休日でない日)
年末年始(12月28日～1月4日)

エ 入場料 無料

オ 館内常設展示物

- ① 原始～室町時代 東光寺遺跡、青塚古墳出土品、浄土寺の歴史等
- ② 江戸時代 菱池絵図 深溝松平家墓所 深溝城
- ③ 明治～昭和時代 菱池の下拓：山船 足踏み脱穀機 ずりまんが 方石とおし等
- ④ 昭和時代 昔の生活：足踏みミシン カマド 有線電話 井戸等

カ 館外常設展示

- ① 蒸気機関車主動輪
- ② 菱池排水ポンプ
- ③ 広報用航空機H-13 (ヘリコプター「ひばり」)
- ④ 機材展示機 (F86F ジェット機)

- ⑤ 潜水艦「おやしお」イカリ、スクリュー
- ⑥ 105mm 無反動砲 外

キ 郷土資料館企画展示

- ① 「端午の節句」 4月1日(木)～5月16日(日)
- ② 「幸田の窯」 7月17日(上)～9月5日(日)
- ③ 「おひなさま」 1月22日(土)～3月13日(日)

ク 建築年度及び面積 昭和52年1月 438 m²

(8) 幸田文化広場・さくら会館

- ① 所在地 幸田町大字芦谷字蒲野 25 番地 1 電話 62-7080
- ② 開館時間 午前 9 時～午後 10 時
- ③ 休館日 毎週月曜日(ただし、祝日の場合は翌日以後の休日でない日)
年末年始(12月28日～1月4日)
- ④ 主な施設 さくら会館 希望の塔 テニスコート(照明付)2面 はなの木広場
- ⑤ 建築年度及び面積 昭和58年2月 468.47 m²

(9) 公民館

ア 中央公民館

- ① 所在地 幸田町大字菱池字黒方 78 番地 電話 63-1618
- ② 開館時間 午前 9 時～午後 10 時
- ③ 休館日 毎週月曜日(ただし、祝日の場合は翌日以後の休日でない日)
年末年始(12月28日～1月4日)
- ④ 建築年度及び面積 平成19年2月 1,416.0 m²

イ 地区公民館

建築年度	公民館名	所在地(幸田町大字)	構造	面積(m ²)
昭和 47	須美公民館	須美字向屋敷 88 番地 2	R C	386.08
48	鷺田公民館	菱池字野々宮 102 番地 1	R C	560.16
49	坂崎公民館	坂崎字御屋敷 22 番地 1	R C	525.52
50	芦谷公民館	芦谷字神ノ前 27 番地 3	R C	545.09
51	六栗公民館	六栗字木郷 5 番地 1	R C	510.48
58	市場公民館	深溝字会下後 37 番地	R C	446.71
60	海谷公民館	深溝字上一木 16 番地	R C	473.13
平成 2	岩堀公民館	菱池字昆沙門 1 番地 1	R C	1,046.53

3 幸田町指定文化財一覧表

令和3年4月現在

番号	指 定 物 件				所 有 者
	種別	物 件 名	員数	所在地	氏 名
1	絵画	松平紀伊守源光重像	1幅	大草字寺西6(正楽寺)	宗教法人 正楽寺
2	歴史資料	足 役 御 免 状	1通	深溝字誉師9	個人
3	彫刻	木造薬師如来坐像	1軀	大草字山寺3(浄上寺)	宗教法人 浄上寺
4	工芸	懸 仏	1面	菱池字鷺取1(鷺山神明宮)	鷺山神明宮
5	彫刻	木造阿弥陀如来坐像	1軀	久保田字下田23(西方寺)	宗教法人 西方寺
6	工芸	鰐 口	1口	深溝字清水33(三光院)	宗教法人 三光院
7	史跡	青 塚 占 墳	501㎡	坂崎字弁天12	幸田町
8	史跡	須美6号墳(平松古墳)	33㎡	須美字平松6-1	個人
9	絵画	紙本著色蓮如上人絵伝	2幅	荻字下66(玄好寺)	宗教法人 玄好寺
10	絵画	家忠・忠利・忠 像	3幅	深溝字内山17(本光寺)	宗教法人 本光寺
11	絵画	京洛諸国名所図-口巻屏風-	1双	深溝字内山17(本光寺)	宗教法人 本光寺
12	彫刻	木造阿弥陀如来坐像	1軀	須美字遣水1(如意寺)	須美区
13	史跡	白 皿 古 窯 跡 群	2窯	久保田字白皿41-2 久保田字一ノ小屋2-4	個人
14	史跡	野 場 西 城 土 塁	1基	野場字城10・11・12	個人
15	史跡	丸 山 古 墳	1,208㎡	野場字大岩11-1	個人
16	彫刻	木造十二神将立像	12軀	大草字山寺3(浄土寺)	宗教法人 浄土寺
17	古文書	中根家所蔵文書	134通	横落字郷中42	個人
18	工芸	大 太 刀	1振	高力字熊谷67(高力神明宮)	高力神明宮
19	絵画	西 郷 稠 頼 像	1幅	大草字寺西6(正楽寺)	宗教法人 正楽寺
20	古文書	大久保彦左衛門忠教の自筆 釈教和歌釈義及び和歌二首	1幅	久保田字本郷50-2	個人
21	工芸	梵 鐘	1口	深溝字内山17(本光寺)	宗教法人 本光寺
22	絵画	春 日 曼 荼 羅 図	1幅	深溝字内山17(本光寺)	宗教法人 本光寺
23	史跡	日 向 山 占 墳	400㎡	深溝字日向山47・48・49・54	個人外
24	工芸	子 持 ち 壺	1口	菱池字元林1-1	幸田町
25	考古	青塚占墳出土品	一括	深溝字清水36-1	幸田町
26	考古	松平忠雄墓所出土品一括	162種類 841点	深溝字内山17	個人
27	民俗	山方手永御山扇祭り	1式	岡崎市井内町始め12町、 幸田町永野	山方手永御山扇祭り 保存会
28	建造物	肖 影 堂	1棟	深溝大字内山3	個人

番号	指定物件				所有者
	種別	物件名	員数	所在地	氏名
29	絵画	絹本著色法華経絵曼荼羅	1幅	深溝字誉師 16 (長満寺)	宗教法人 長満寺
30	絵画	絹本著色鬼子母神十羅利女像	1幅	深溝字誉師 16 (長満寺)	宗教法人 長満寺
31	工芸	三十番神御社棟札	1枚	深溝字誉師 16 (長満寺)	宗教法人 長満寺
32	書蹟	紙本墨書口蓮聖人真蹟一代五時図断片	1卷	深溝字誉師 16 (長満寺)	宗教法人 長満寺
33	書蹟	紙本墨書日蓮聖人真蹟一行断片	1幅	深溝字誉師 16 (長満寺)	宗教法人 長満寺
34	書蹟	紙本墨書日静曼荼羅本尊	1幅	深溝字誉師 16 (長満寺)	宗教法人 長満寺
35	書蹟	紙本墨書日静曼荼羅本尊	1幅	深溝字誉師 16 (長満寺)	宗教法人 長満寺
36	書蹟	扁額 六栗学校	1面	六栗字本郷 5-1 (六栗公民館)	六栗区
37	建造物	深溝神社本殿 附棟札 5枚	1棟	深溝字一之宮 7 (深溝神社)	深溝神社

4 令和2年度利用実績

(1) 視聴覚ライブラリー備品等貸出件数

(単位：回数)

月	教材フィルム・ソフト				機材							小計	前年度	前年比較			
	16mm	8mm	ビデオ	LD	映写機	ビデオカメラ	プロジェクター	スクリーン	スピーカー	CDラジカセ	ビデオデッキ				LD	OHP	三脚
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	±0	
5	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	17	- 15
6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	- 19
7	0	0	0	0	0	0	5	3	0	0	0	0	0	0	8	24	- 16
8	0	0	0	0	0	0	4	2	0	0	0	0	0	0	6	24	- 18
9	0	0	0	0	0	0	8	3	0	0	0	0	0	0	11	17	- 6
10	0	0	0	0	0	0	9	6	0	0	0	0	0	0	15	15	±0
11	0	0	0	0	0	0	10	3	0	0	0	0	0	0	13	12	+ 1
12	0	0	0	0	0	0	7	2	0	0	0	0	0	0	9	25	- 16
1	0	0	0	0	0	0	10	2	0	0	0	0	0	0	12	9	+ 3
2	0	0	0	0	0	0	13	6	0	0	0	0	0	0	19	12	+ 7
3	0	0	0	0	0	0	14	3	0	0	0	0	0	0	17	5	+ 12
計	0	0	0	0	0	0	81	31	0	0	0	0	0	0	112	179	- 67
前年度	0	0	15	0	0	0	94	48	13	9	0	0	0	0	179		
前年比較	±0	±0	- 15	±0	±0	±0	- 13	- 17	- 13	- 9	±0	±0	±0	±0	- 67		

(2) 郷土資料館利用状況

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
小・中学生	13	0	28	17	39	16	57	102	100	39	230	23	664
高・大学生	0	0	6	6	3	4	4	10	9	0	4	0	46
一般	30	0	221	180	353	172	208	300	195	158	510	123	2,450
計	43	0	255	203	395	192	269	412	304	197	744	146	3,160

(3) 郷土資料館季節・企画展示実績

(単位：人)

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
端午の節句	1,108	1,101	344	401	622	671	662	552	552	393	43
夏季企画展示	-	-	-	-	-	-	605	248	346	241	671
おひなさま	720	524	1,358	2,103	1,685	1,713	2,178	1,245	1,156	1,300	1,035

(4)文化振興展入館実績

回数	年度	展示会名	期間	来館者数	会場
第1回目	平成10年	幸田の文化財展	5日間	1,270	図書館ギャラリー
第2回目	平成11年	99美へのいざない	6日間	1,050	図書館ギャラリー
第3回目	平成12年	甦る原始・古代・中世の幸田	8日間	1,504	図書館ギャラリー
第4回目	平成13年	菱池とその周りに生きた人々	7日間	682	図書館ギャラリー
第5回目	平成14年	暮らしの流れをみつめて	7日間	1,094	図書館ギャラリー
第6回目	平成15年	世界の昆虫展	5日間	3,550	図書館ギャラリー
第7回目	平成16年	魅力いっぱい凧の世界	9日間	1,117	図書館ギャラリー
第8回目	平成17年	深溝断層-三河地震の遺した爪痕-	8日間	1,104	図書館ギャラリー
第9回目	平成18年	こうた焼き物一万年	42日間	398	郷土資料館
第10回目	平成19年	幸田の文化財展	6日間	842	図書館ギャラリー
第11回目	平成20年	「書」美へのいざない	6日間	685	図書館ギャラリー
第12回目	平成21年	深溝本光寺は墳墓の地なり	3日間	3,791	図書館ギャラリー
第13回目	平成22年	南城坊-瑠璃山浄土寺-	8日間	1,112	図書館ギャラリー
第14回目	平成23年	菩提寺と廟守-深溝松平家の葬儀事情-	11日間	1,055	図書館ギャラリー
第15回目	平成24年	岩堀万歳から三河万歳へ-伝承される祝福芸-	9日間	962	図書館ギャラリー
第16回目	平成25年	むかしそのむかし-幸田の民話と伝承-	9日間	1,441	図書館ギャラリー
第17回目	平成26年	大名家の家訓-島原藩主深溝松平家墓所の成り立ち-	9日間	1,666	図書館ギャラリー
第18回目	平成27年	青い目の人形とその時代-戦争と平和をみつめて-	9日間	1,520	図書館ギャラリー
第19回目	平成28年	ムラの鍛冶屋	8日間	1,050	図書館ギャラリー
第20回目	平成29年	深溝城と里の朱印社寺	8日間	955	図書館ギャラリー
第21回目	平成30年	繚乱!!三河の土人形-武藤俊-コレクション-	8日間	1,032	図書館ギャラリー
第22回目	令和元年	菱池物語	8日間	1,164	図書館ギャラリー
第23回目	令和2年	西方寺-三河一国深草の根元なり-	13日間	1,200	図書館ギャラリー

(5) さくら会館利用状況

(単位：人)

室名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
第1研修室	1	0	5	16	9	16	13	11	11	7	14	12	115
団体 人数	20	0	169	172	113	190	198	145	152	122	234	180	1,695
第2研修室	4	0	11	12	6	11	14	14	11	15	15	19	132
団体 人数	56	0	80	95	75	107	129	132	106	110	140	181	1,214
榕の間	7	0	12	14	16	24	28	30	29	26	28	31	245
団体 人数	66	0	66	98	130	189	202	214	232	194	219	248	1,858
ふれあいホール	1,263	0	339	315	368	379	522	563	335	307	469	1,319	6,179
人数	5,931	0	829	659	817	738	1,117	1,548	971	894	1,204	3,841	18,549
多目的広場													

利用目的	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
研修・会議	1	0	7	10	10	8	14	14	14	8	16	10	112
団体 人数	13	0	178	111	149	99	207	193	187	143	209	122	1,611
文化教室	11	0	21	32	21	43	41	41	37	40	41	52	380
団体 人数	129	0	137	254	169	387	322	298	303	283	384	490	3,156

注) 団体及び人数は利用実績

注) 多目的広場の人数については、日視により計算

(6) 中央公民館利用状況

(単位：人)

室名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
第1会議室	団体	3	0	3	17	12	21	14	10	12	9	14	128
	人数	17	0	20	115	83	142	88	61	61	73	101	842
第2会議室	団体	6	0	12	17	13	18	24	27	14	18	18	189
	人数	59	0	69	106	90	129	160	167	90	129	118	1,258
第3会議室	団体	6	0	12	18	13	18	24	27	14	18	18	192
	人数	60	0	70	115	92	129	161	169	93	128	122	1,289
第5会議室	団体	7	0	8	13	10	13	17	16	11	9	13	130
	人数	53	0	54	72	48	55	71	79	43	48	69	672
研修室	団体	2	0	21	17	15	29	20	20	9	10	12	176
	人数	40	0	334	264	234	457	323	267	121	137	160	2,644
防音室	団体	3	0	0	11	10	10	8	12	7	4	4	79
	人数	6	0	0	24	19	15	11	23	13	6	7	142
ホールA	団体	10	0	24	47	55	52	46	44	30	27	56	452
	人数	61	0	270	675	724	680	584	517	346	383	699	5,717
ホールB	団体	10	0	26	59	45	51	47	46	34	34	54	467
	人数	65	0	287	807	603	730	609	543	397	361	724	5,829
合計	団体	47	0	106	199	173	215	200	202	131	129	189	1,813
	人数	361	0	1,104	2,178	1,893	2,337	2,007	1,826	1,164	1,265	2,000	18,393

(7) 地区公民館利用状況

(単位：人)

公民館名	平成30年度	平成31年度	令和2年度
坂崎公民館	10,148	8,575	3,507
鷺田公民館	13,373	12,943	8,910
岩堀公民館	24,379	24,940	9,740
芦谷公民館	7,410	6,791	2,931
市場公民館	4,583	5,437	1,744
海谷公民館	1,242	1,820	1,122
須美公民館	2,070	1,213	1,010
六栗公民館	1,928	1,874	1,173
合 計	65,133	63,593	30,137

※延べ利用者数

(8) ライフサークル事業実績

事業名	期 日	会 場	事業内容
ホタルを観る会 (中止)	令和2年6月5日(金) 午後7:30～午後9:00	深溝小学校	深溝小学校体育館にてホタルの話、拾石川沿いを歩きホタル観察
こうた夏まつり (中止)	令和2年8月10日(土) 午後2:00～午後8:30	ハッピーネス・ ヒル・幸田	ステージアトラクション、 町民総踊り、打上げ花火等 の催し物
こうた凧揚げまつり (新春大凧試し揚げ)	令和3年1月10日(日) 午前9:30～午前11:30	菱池地内	大凧揚げを無観客で実施 11団体が参加

※中止…新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため

各種委員名簿

(1) 生涯学習推進本部委員

〔任期〕 令和3年4月1日～令和5年3月31日

氏 名	所 属 団 体	同 職 名
近 藤 正 義	学 識 経 験 者	
三 浦 倫 夫	幸 田 町 国 際 交 流 協 会	代 表
神 谷 京 子	幸 田 文 化 協 会	代 表
都 築 孝 明	坂 崎 小 学 校	校 長
伊 與 田 孝 彦	北 部 中 学 校	校 長
小 山 忠 義	幸 田 町 ス ポ ー ツ 協 会	副 理 事 長
岩 渕 初 子	幸 田 町 ス ポ ー ツ 推 進 委 員 会	代 表
川 崎 す な お	深 溝 保 育 園	園 長
吉 口 乃 里	保 育 園 父 母 の 会	会 長
成 瀬 克 己	幸 田 町 老 人 ク ラ ブ 連 合 会	会 長
山 登 一 臣	ラ イ フ サ ー ク ル 事 業 推 進 委 員 会	副 委 員 長
近 藤 美 代 子	幸 田 町 中 央 公 民 館	代 表

(2) 社会教育委員

〔任期〕 令和3年4月1日～令和5年3月31日

氏 名	所 属 団 体	同 職 名
岡 本 智	荻 谷 小 学 校	校 長
山 本 勝 秀	幸 田 中 学 校	校 長
鈴 木 眞 成	幸 田 高 等 学 校	校 長
本 多 直 子	菱 池 保 育 園	園 長
上 野 正 幸	幸田あけぼの第一幼稚園	園 長
川 畑 弥 生	幸田町子ども会連絡協議会	会 長
長 谷 恒 代	幸田町身体障害者福祉協会	女 性 部 代 表
土 屋 善 也	ライフサークル事業推進委員会	委 員 長
三 浦 倫 夫	幸 田 町 国 際 交 流 協 会	代 表
成 瀬 克 己	幸田町老人クラブ連合会	会 長
鈴 木 雅 博	幸田町小中学校PTA連絡協議会	副 会 長
加 藤 恵 子	こ う た 女 性 の 会	会 長
須 原 清 俊	幸 田 町 ス ポ ー ツ 協 会	理 事 長
貝 吹 成 子	幸 田 文 化 協 会	会 長
浦 山 岩 夫	幸田町スポーツ推進委員会	委 員 長
齋 藤 正 敏	幸 田 町 区 長 会	代 表
内 藤 節 夫	社 会 教 育 指 導 員	
近 藤 正 義	学 識 経 験 者	

(3) ライフサークル事業推進委員

〔任期〕 令和3年4月1日～令和5年3月31日

学 区	氏 名	備 考
坂 崎 学 区	釜 本 俊 行	
	浅 田 健 一	
	近 藤 正 義	
幸 田 学 区	山 本 正 美	
	江 本 一	
	磯 部 修	
中 央 学 区	土 屋 善 也	委 員 長
	上 野 幹 生	
	田 中 俊 樹	
荻 谷 学 区	米 津 巧 治	
	鈴 木 巧	
	山 登 一 臣	副 委 員 長
深 溝 学 区	岩 瀬 晴 則	
	鈴 木 謙 治	
	稲 吉 賢 二	
豊 坂 学 区	左 右 田 三 男	
	稲 吉 基 宏	副 委 員 長
	稲 吉 康 彦	

(4) 視聴覚ライブラリー運営委員

〔任期〕 令和3年4月1日～令和5年3月31日

学 区	氏 名	備 考
坂 崎 小 学 校	鈴 木 拓 実	
幸 田 小 学 校	井 上 正 興	
中 央 小 学 校	中 川 真 輔	
荻 谷 小 学 校	加 納 美 樹 雄	
深 溝 小 学 校	野 中 慎 一	
豊 坂 小 学 校	鴨 下 敦	

(5) 青少年問題協議会委員

[任期] 令和3年4月1日～令和5年3月31日

氏名	所属	同職名
成瀬 敦	幸田町	町長
稲吉 優	幸田町区長会	副会長
山下 英雄	幸田町教育委員会	教育委員
都築 孝明	坂崎小学校	校長
池田 和博	南部中学校	校長
鈴木 眞成	幸田高等学校	校長
巖 礼子	西三河児童・障害者相談センター	児童福祉士
佐藤 雅史	岡崎警察署生活安全課	生活安全課 課長代理
加藤 恵子	こうた女性の会	会長
工藤 雄二	幸田町小中学校PTA連絡協議会	会長
足立 和彦	幸田町民生児童委員協議会	会長
村越 浩幸	幸田町青少年健全育成地域推進員	委員長
三浦 敏男	人権擁護委員協議会	委員長
谷川 久夫	幸田更生保護会	保護司

(6) 青少年健全育成地域推進員

[任期] 令和3年4月1日～令和5年3月31日

学区	氏名	備考
坂崎	山本直彦 佐竹俊男	
幸田	志賀正之 石川美絵子	
中央	加藤勝 中根裕司	
荻谷	中根晃 村松竹司	
深溝	三浦敏男 村越浩幸	
豊坂	米津章 大須賀勝男	

(7) 文化財保護委員、幸田町郷土資料館運営委員

[任期] 令和3年4月1日～令和5年3月31日

役 職	氏 名	備 考
委 員 長	黒 柳 孝 夫	
副 委 員 長	神 尾 義 貴	
委 員	吉 本 一 三	
委 員	志 賀 秀 夫	
委 員	野 本 欽 也	
委 員	荒 井 信 貴	
委 員	土 井 政 美	
委 員	伊 奈 克 己	

(8) 子ども読書活動推進計画推進委員

[任期] 令和3年4月1日～令和4年3月31日

所 属	役 職	氏 名	備 考
町 立 図 書 館	館 長	丹 羽 雅 英	委 員 長
町 立 図 書 館	図書館アドバイザー	山 田 肇 子	
図書館ボランティア	ぐ り ぐ ら	長谷川 三重子	
小 学 校	校長（中央小）	藤 井 敦	
中 学 校	校長（幸田中）	山 本 勝 秀	
教 育 研 究 会	図書主任（幸田中）	高 嶋 枝 里	
学 校 図 書 館	嘱 託 指 導 員	都 築 明 美	
保 育 園	園長（里保育園）	平 野 加 代 子	
子育て支援センター	所 長 補 佐	柴 田 靖 子	
児 童 館	児 童 厚 生 員	村 井 康 子	
幸田あけぼの第一幼稚園	園 長	上 野 正 幸	
健 康 課	保 健 師	松 岡 愛 実	
中 央 公 民 館	社会教育指導員	内 藤 節 夫	

(9) 島原藩主深溝松平家墓所保存整備委員

区分	職 名 等	氏 名	専 門 分 野
顧問	深溝松平家21代当主	松平忠承	
委員長	立正大学名誉教授	坂詰秀一	考古学
委員	前愛知淑徳大学非常勤講師	赤羽一郎	考古学、史跡
委員	奈良文化財研究所 保存修復科学研究室主任研究員	田村朋美	保存科学
委員	東京大学名誉教授	藤井恵介	建造物
委員	名城大学名誉教授	丸山宏	造園
委員	名城大学講師	長屋隆幸	歴史学
委員	幸田町文化財保護委員会委員長	黒柳孝夫	郷土史
委員	深溝小学校校長	藤井健一	学校関係者
委員	里 区 長	村田幸弘	地元関係者
委員	幸田町観光協会会長	大嶽治郎	観光関係者
委員	本光寺代表役員	鶴田悦章	寺院関係者
委員	本光寺護持会会長	尾崎勝	寺院関係者

社会体育推進事業計画

1 重点目標

「健康の町」宣言に伴う町民の体力づくり事業を推進するため、体育施設の整備充実と各種スポーツ・レクリエーション行事を開催し又、地区スポーツ大会の開催を奨励していく。

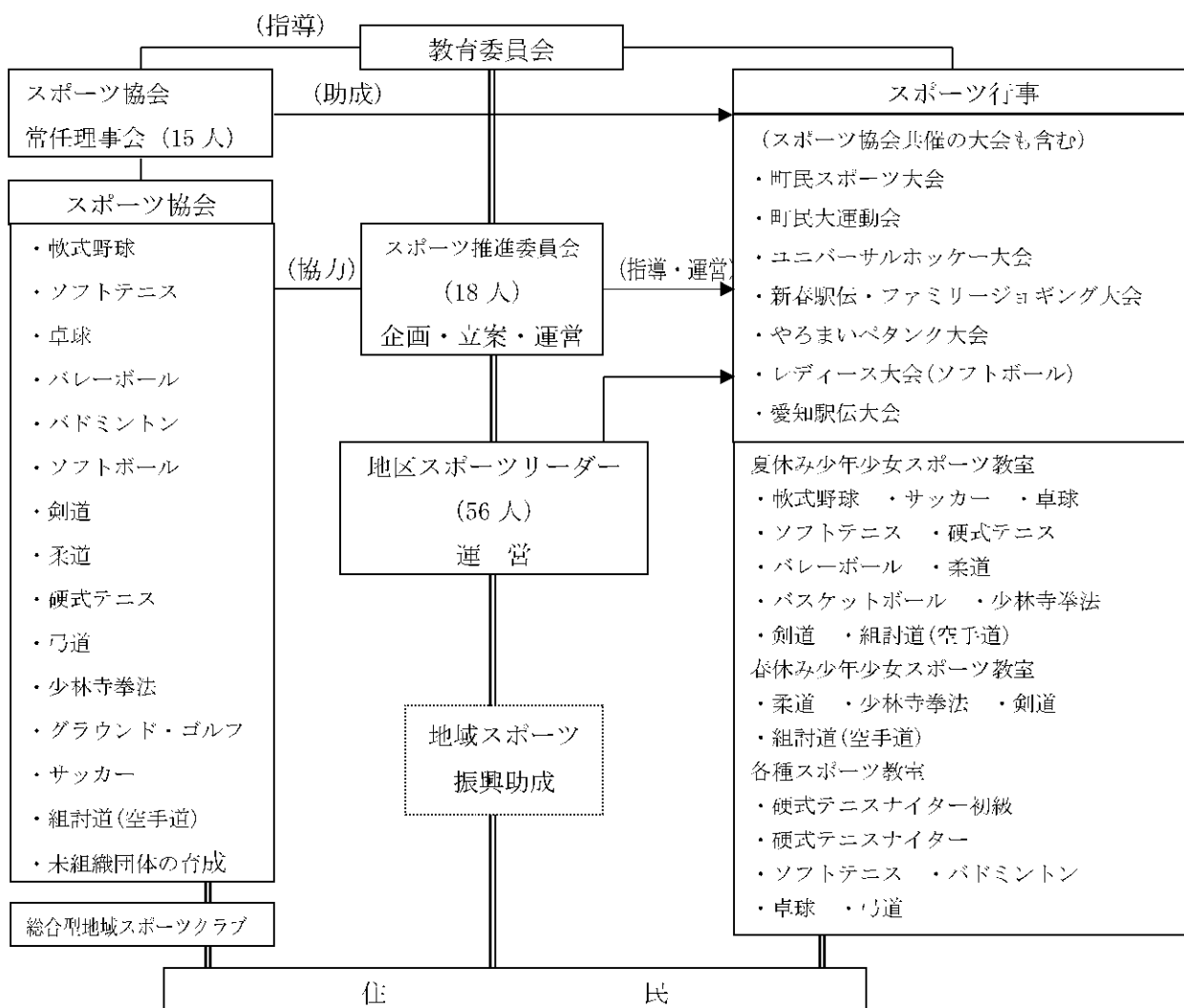
(1) 社会体育施設の整備充実と効率的活用

- ア 町民運動場等の適切な管理と施設整備
- イ 学校体育施設の効率的な活用

(2) 各種スポーツ活動の振興と指導の充実

- ア 町民大運動会、新春駅伝・ファミリージョギング大会、町民スポーツ大会等のスポーツ大会を開催する。
- イ スポーツ推進委員及び地区スポーツリーダーの指導体制の強化、地域スポーツの振興を図る。
- ウ スポーツの普及と技術向上のため、各種スポーツ教室を開催する。
- エ スポーツ推進委員を中心に、KUBB（クubb）等のニュースポーツの普及に努める。
- オ 社会体育指導者育成のため、ルール及び審判講習会を開催する。
- カ 総合型地域スポーツクラブの育成に努める。

2 社会体育組織図



3 社会体育事業の概要

(1) スポーツ教室の開催

ア 種目別スポーツ教室の開催

(硬式テニスナイター初級、硬式テニスナイター、卓球、バドミントン、ソフトテニス、弓道)

イ 少年少女スポーツ教室の開催

(2) 各種スポーツ大会の開催

ア 町民スポーツ大会

(軟式野球、ソフトボール、卓球、バレーボール、ソフトテニス、硬式テニス、バドミントン、弓道、柔道、少林寺拳法、グラウンド・ゴルフ、サッカー、ソフトバレーボール組討道(空手道))

イ 町民大運動会

ウ 新春駅伝・ファミリージョギング大会

エ レディース大会の開催(ソフトボール)

オ ユニバーサルホッケー大会

カ やろまいペタンク大会

(3) スポーツ団体の育成

ア 加盟団体の育成強化

(軟式野球、ソフトボール、卓球、バレーボール、ソフトテニス、硬式テニス、バドミントン、弓道、剣道、柔道、少林寺拳法、グラウンド・ゴルフ、サッカー、組討道(空手道))

イ 総合型地域スポーツクラブの育成

ウ 未組織スポーツクラブの育成

エ 少年スポーツクラブの育成(剣道、柔道、少林寺拳法、サッカー、組討道(空手道))

(4) 県が主催する大会への参加等

ア 愛知万博メモリアル愛知県市町村対抗駅伝競走大会への選手団参加

(5) その他

ア 地区スポーツ大会等の奨励、助成

イ 学校体育施設のスポーツ開放 町内小中学校、県立高校

令和3年度 社会体育事業計画

月	日	曜日	行事名
4	3	土	スポーツ推進委員・スポーツ協会常任理事・地区スポーツリーダー合同会議
	3	土	スポーツ推進委員定例会
	8	木	スポーツ協会常任理事会（総会・夏休みスポーツ教室について）
	10	土	硬式テニスナイター初級教室（毎週土曜日、雨天順延、豊坂）全8回、5/29まで
	11	日	学校体育施設スポーツ開放利用代表者会議
5	2	日	第55回町民スポーツ大会（テニス・バレーボール・大日蔭GG場、大日蔭G 予備日5/8）
	8	土	ソフトテニス教室（毎週土曜日、雨天順延、文化広場）全8回、6/26まで
	9	日	卓球教室（毎週日曜日、幸中）全8回、6/27まで
	9	日	スポーツ推進委員定例会
	15	土	スポーツ協会総会
	30	日	第45回レディースソフトボール大会（深溝G 予備日7/4）
6	1	火	弓道教室（毎週火・金曜日、町弓道場）全16回、7/23まで
	3	木	学校体育施設スポーツ開放運営委員会
	6	日	スポーツ推進委員定例会
	13	日	第55回町民スポーツ大会（ソフトバレーボール・デンソー体育館）
7	3・4	土・日	第54回ユニバーサルホッケー大会（豊小・勤体） 7/3（土）：3・4年、5・6年 7/4（日）：1・2年、中学生、ジュニア、シニア
	4	日	スポーツ推進委員定例会
	31	土	第22回レディースカップソフトボール大会（とぼねG 予備日8/7）
夏季休業中			夏休み少年少女スポーツ教室（軟式野球=とぼねG、卓球=勤体、バレーボール=幸中、サッカー=坂崎G、ソフトテニス=文化広場、剣道 幸中、柔道 南中、少林寺拳法 幸中、バスケットボール=荻小、硬式テニス=豊坂、組討道（空手道）=岩堀老人憩いの家）
夏季休業中			夏休み少年少女スポーツ教室（軟式野球、卓球、バレーボール、サッカー、ソフトテニス、剣道、柔道、少林寺拳法、バスケットボール、組討道（空手道））
8	1	日	スポーツ推進委員定例会
	21	土	硬式テニスナイター教室（毎週土曜日、雨天順延、豊坂）全8回、10/9まで
	29	日	第55回町民スポーツ大会（少林寺拳法=幸中）
9	5	日	スポーツ推進委員・スポーツ協会常任理事・地区スポーツリーダー合同会議（町民大運動会・町民スポーツ大会について）
	5	日	スポーツ推進委員定例会
	9	木	スポーツ協会常任理事会（協会表彰について）
	11	土	バドミントン教室（毎週土曜日、勤体）全10回、11/13まで
	18	土	愛知万博メモリアル 第15回愛知県市町村対抗駅伝競走大会 幸田町代表選手選考会（幸田中央公園）予備日9/19
	19	日	第55回町民スポーツ大会（ソフトテニス（小学生）=文化広場 予備日9/25）
	26	日	第55回町民スポーツ大会（柔道=幸中、サッカー=幸田中央公園 予備日10/3、硬式テニス=一般シニア 豊坂・文化広場 予備日10/3、軟式野球=坂崎G・とぼねG 予備日10/3）

月	日	曜日	行事名
10	2	土	第17回やろまいベタシク大会（幸田中央公園）
	3	日	第55回町民スポーツ大会（軟式野球準決・決勝とぼねG 予備日10/10）
	9	土	第55回町民スポーツ大会（硬式テニス・小学生ソフトテニス=豊坂・文化広場 予備日10/23）
	9	土	第66回町民大運動会区対抗種目別組合せ抽選会
	9	土	第66回町民大運動会運営委員打合せ会
	9	土	スポーツ推進委員定例会
	10	日	第55回町民スポーツ大会（バレーボール男女=デンソー体育館、硬式テニス・一般ソフトテニス=豊坂・文化広場 予備日10/17）
	16	土	第55回町民スポーツ大会（硬式テニス・小学生ソフトテニス=豊坂・文化広場 予備日10/30）
	24	日	第66回町民大運動会（幸田中央公園 予備日なし）毎年第4日曜日開催
	31	日	第55回町民スポーツ大会（ソフトテニス男女=とぼねG・深溝G 予備日11/7）
11	6	土	第55回町民スポーツ大会（ソフトテニス中学生男女1・2=幸中）予備日11/7
	6	土	スポーツ推進委員・スポーツ協会常任理事・地区スポーツリーダー合同会議（新春駅伝・ファミリー・ジョギング大会について）
	6	土	スポーツ推進委員定例会
	7	日	第55回町民スポーツ大会（ソフトテニス一般=豊坂・文化広場 予備日11/14、弓道 町弓道場、組討道（空手道）=北部中）
	14	日	第55回町民スポーツ大会（卓球=幸中）
	21	日	第55回町民スポーツ大会（バドミントン=幸中）
12	23	火	愛知万博メモリアル 第15回愛知県市町村対抗駅伝競走大会 下見会&結団式（愛・地球博記念公園）
	4	土	愛知万博メモリアル 第15回愛知県市町村対抗駅伝競走大会（愛・地球博記念公園）
	11・12	土・日	第55回ユニバーサルホッケー大会（豊小・勤体） 11（土）：3・4年、5・6年 12（日）：1・2年、中学生、ジュニア、シニア
1	12	日	スポーツ推進委員定例会
	9	日	スポーツ推進委員定例会
	15	土	第44回新春駅伝・ファミリー・ジョギング大会運営委員打合せ会
2	23	日	第44回新春駅伝・ファミリー・ジョギング大会（幸田中央公園 予備日なし）毎年第4日曜日開催
	3	木	スポーツ協会常任理事会
	12	土	学校体育施設スポーツ開放利用登録（次年度）
3	13	日	スポーツ推進委員定例会
	13	日	スポーツ推進委員定例会
	13	日	春休み少年少女スポーツ教室（柔道=南中、少林寺拳法=幸中、剣道=幸中、組討道（空手道）=岩堀老人憩いの家）

※新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、11月または変更となった事業が1あり
りませ、また、今後の状況によっては計画が変更となる場合もあります。

4 令和2年度社会体育事業実績

(1) スポーツ協会の育成

ア 加盟団体の育成強化

幸田町軟式野球連盟、幸田町ソフトボール協会、幸田エイティ、幸田バドミントン協会、
幸卓会、幸田町バレーボール連盟、幸田町弓道連盟、幸山ローンテニスクラブ、
幸田町グラウンド・ゴルフ協会 計9団体

イ 少年スポーツクラブの育成

幸田少年剣志会、幸田町柔道会、幸田町少林寺拳法協会、幸田JrFC
幸田町組討道会 計5団体

(2) スポーツ教室の開設

ア 夏休み少年少女スポーツ教室〔柔道、組討道(空手道)5日間、その他各8日間〕 中止
軟式野球、バレーボール、卓球、バスケットボール、柔道、ソフトテニス、少林寺拳
法、サッカー、硬式テニス、剣道、組討道(空手道)

イ 硬式テニスナイター初級教室	[4月11日～ 8日間]	中止
ウ 硬式テニスナイター教室	[8月29日～ 8日間]	(18人)
エ 卓球教室	[5月10日～ 8日間]	中止
オ ソフトテニス教室	[5月9日～ 8日間]	中止
カ 弓道教室	[6月2日～ 16日間]	中止
キ バドミントン教室	[9月12日～ 10日間]	(16人)
ク 春休み少年少女スポーツ教室	[各5日間]	(45人)
	剣道 (15人)、柔道 (5人)、少林寺拳法 (15人)、組討道(空手道) (10人)	

※中止…新型コロナウイルス拡大防止のため中止

(3) 各種スポーツ大会等の開催

ア 第54回町民スポーツ大会

・グラウンド・ゴルフ 5月3日 中止	・少林寺拳法 9月27日 中止
・硬式テニス 一般シングルス 9月27日 (45人)	一般ダブルス 10月11日 (78人)
小学生シングルス 10月10日 中止	小学生ダブルス 10月17日 中止
・軟式野球 9月27日 (90人)	・ソフトボール男子 11月1日 (94人)
・ソフトボール女子 11月1日 (55人)	・バレーボール男子 10月11日 中止
・バレーボール女子 10月11日 中止	・卓球 11月15日 中止
・ソフトテニス 9月26日・11月1日・8日 (166人)	・弓道 11月8日 中止
・柔道 9月20日 中止	・バドミントン 11月22日 中止
・サッカー 9月27日 (127人)	・ソフトバレーボール 6月14日 中止
・組討道(空手道) 11月8日 中止	以上総参加数 (655人)

イ レディーススポーツ大会

・第44回レディースソフトボール大会	5月24日	新型コロナウイルス拡大防止のため中止
・第21回レディースカップソフトボール大会	8月23日	2チーム (34人)

- ウ 第16回やろまいペタンク大会 10月3日 29チーム (87人)
 - エ ユニバーサルホッケー大会
 - ・第52回大会 7月 4日・ 5日 中止
 - ・第53回大会 12月12日・13日 中止
 - オ 第65回町民大運動会
 - 10月25日 中止
 - カ 第43回新春駅伝・ファミリージョギング大会
 - 令和3年1月24日 中止
 - キ 幸田グリーンフェス
 - 令和3年2月27日 新型コロナウイルス拡大防止による規模縮小のため不参加
 - ク 愛知万博メモリアル 第15回愛知県市町村対抗駅伝競走大会
 - 12月5日 中止
 - 幸田町代表選手選考会 9月19日 大会中止のため未実施
 - ケ 講習会
 - ・ソフトバレーボール審判講習 6月6日 大会中止のため未実施
 - ・ユニバーサルホッケー審判講習 7月3日 大会中止のため未実施
 - 12月11日 大会中止のため未実施
- ※中止…新型コロナウイルス拡大防止のため中止

(4) スポーツ協会表彰

- ・特別栄光章（国際競技大会などに出場、全国大会で3位以内に入賞された選手及び監督）
 - 澤村 葉琉、稲古 美月
- ・栄光章（県または東海大会で優勝または全国大会に出場された選手）
 - 井上 瞬、橋本 有未、間瀬 奏波、小山 峻太郎、水野 ひより、佐野 隼、石川 友雅、山崎 愛翔、岩瀬 祐稀、今泉 秀悟、川口 駿実、川口 俊太郎、稲葉 瑠璃、小野 倫太郎
- ・奨励賞（全都道府県が行っていない競技で全国大会3位以内に入賞された選手）
 - 田島 宏康、村上 智堂、稲吉 巧、江崎 智哉、鍛冶 理恵子、筒井 かつ代、山本 里美
- ・功労章（幸田町柔道会の副会長として10年以上会の発展に寄与し、その職務を現在も継続中）
 - 志賀 孝吉

以上24人

(5) 学校体育施設一般開放の現況

ア 利用状況

令和2年度学校体育施設スポーツ開放利用状況 参照

イ 学校体育施設のスポーツ開放に関する規則の制定

昭和54年6月1日

ウ 学校体育施設利用登録スポーツ団体数及び登録人数

(令和3.4.1現在)

学 校	坂崎小	幸田小	中央小	萩谷小	深溝小	豊坂小	幸田中	南部中	北部中	計
登録団体数	6	8	11	7	5	8	14	14	12	85
登録人数	206	160	187	154	210	295	357	306	290	2,157

※子ども会、各区・学区のスポーツリーダーは除く

(6) スポーツクラブの現況

スポーツ協会加盟団体人数 総計1,512人

(令和3.4.1現在)

種 目	軟式野球	バレーボール	柔 道	少林寺拳法	ソフトボール	バトミントン	剣 道
チーム数	14	11	1	1	18	7	1
人 数	256	181	30	50	277	91	15

種 目	ソフトテニス	硬式テニス	弓道	卓球	グラウンド・ゴルフ	サッカー	組討道(空手道)
チーム数	1	1	1	1	1	1	1
人 数	29	75	31	48	334	70	25

(7) 社会体育施設の状況

ア 社会体育施設の建設状況

竣工年度	施 設 名	内 容
昭和48年度	坂崎運動場	造成・建設
53年度	坂崎運動場	ナイター照明設置
54年度	中央運動場・横落公共広場	造成・建設
55年度	勤労者体育センター	造成・建設
57年度	文化広場庭球場	造成・建設
〃	豊坂庭球場	造成・建設
61年度	とぼね運動場・庭球場	造成・建設
62年度	とぼね運動場	管理棟建設
平成元年度	とぼね運動場	ナイター照明設置
2年度	勤労者体育センター	休憩室増設

竣工年度	施設名	内容
3年度	坂崎運動場	倉庫・トイレ改修
5年度	とぼね運動場	Bコートダッグアウト建設
6年度	坂崎遊水地	県河川敷借地
〃	文化広場庭球場	ナイター照明設置
9年度	文化広場庭球場	砂入人工芝張
10年度	坂崎運動場	バックネット改修
12年度	豊坂庭球場	砂入人工芝張、ナイター照明設置
〃	中央運動場・横落公共広場	廃止
13年度	とぼね運動場	第2駐車場新設、倉庫・トイレ新設
〃	大日蔭グラウンド・ゴルフ場	造成・建設
15年度	大日蔭グラウンド・ゴルフ場	トイレ・東屋新設、調整池埋め立て
16年度	勤労者体育センター	管理移管、豊坂小体育館との連絡通路新設
17年度	弓道場	造成・建設
18年度	大日蔭運動場	用地測量
19年度	深溝運動場	造成・建設
20年度	大日蔭運動場	倉庫新設
〃	深溝運動場	倉庫新設
〃	豊坂庭球場	人工芝張替え
〃	勤労者体育センター	音響設備設置
〃	弓道場	観覧席防矢ボード設置、進入路舗装
〃	坂崎運動場	ネットフェンス設置
21年度	とぼね運動場	電気設備改修
〃	勤労者体育センター	補修工事（床、小窓等）
22年度	とぼね運動場	キュービクル内主幹開閉器取付、 Aコートバックネット塗装
〃	坂崎運動場	照明灯不点修繕、防球ネット塗装
22年度	豊坂庭球場	防風ネット設置

竣工年度	施設名	内容
23年度	とぼね運動場	音響設備設置
〃	文化広場庭球場	コート修繕工事
〃	豊坂庭球場	フェンス修繕工事
〃	勤労者体育センター	休憩室床張り替え
〃	勤労者体育センター	カーテン取り替え
24年度	坂崎運動場	防球フェンス支柱補強工事
〃	大日蔭グラウンド・ゴルフ場	休憩用日除け設置工事
〃	勤労者体育センター	メッシュフェンス改修工事
25年度	坂崎運動場	ベンチ屋根改修工事
〃	坂崎・とぼね運動場	ネット修繕工事
〃	文化広場庭球場	外周フェンス補修工事
26年度	大日蔭グラウンド・ゴルフ場	設備整備工事
〃	深溝運動場	ネット修繕工事
〃	勤労者体育センター	便所改修工事
27年度	大日蔭グラウンド・ゴルフ場	東屋設置工事
〃	とぼね庭球場	コート等改修工事
〃	勤労者体育センター	暗幕カーテンレール取替工事
28年度	勤労者体育センター	外部建具他改修工事
〃	深溝運動場	防球ネット修繕工事
〃	文化広場庭球場	砂人人工芝修繕
29年度	豊坂庭球場	防球ネット修繕工事
〃	とぼね運動場	受電設備改修工事
〃	深溝運動場	防球ネット設置工事
30年度	深溝運動場	東屋外周土台等修繕工事
〃	勤労者体育センター	照明設備改修工事
〃	文化広場庭球場	ブレイングタイマー設備改修工事
令和元年度	文化広場庭球場	照明設備改修工事

竣工年度	施設名	内容
令和元年度	文化広場庭球場	フェンス修繕工事
〃	勤労者体育センター	器具庫屋上防水修繕工事
2年度	大口蔭グラウンド・ゴルフ場	便所設置工事
〃	坂崎運動場	防球ネット改修工事
〃	豊坂庭球場	照明設備改修工事

イ 社会体育施設の概要と使用料

名 称	内 容	使 用 料
坂 崎 運 動 場	坂崎字天神山23-1	1面につき3時間で 1,000円 夜間照明時 坂 崎=6,000円 とぼねA=8,000円 とぼねB=7,000円
	延面積18,642㎡ 軟式野球1面 ソフトボール1面 (サッカーも可) ナイター可	
とぼね運動場	荻字奥入61-1	
大 日 蔭 運 動 場	延面積28,277㎡ 軟式野球1面 ソフトボール1面 ナイター可	野場字大日蔭33
	延面積12,000㎡ ソフトボール1面 (サッカーも可)	
大日蔭グラウンド ・ ゴ ル フ 場	延面積31,800㎡ グラウンド・ゴルフ場：80ホール常設(5面)	専用貸出は3時間で1,300円 ただし、20人以上の団体に限る 南芝生広場2面は専用貸出をせぜ一般開放
とぼね庭球場	延面積2,032㎡ クレーコート2面	1面につき2時間で 400円 夜間照明時3時間で 1,600円
文化広場庭球場	芦谷字蒲野25-1	専用貸出は3時間で1,300円 ただし、20人以上の団体に限る 南芝生広場2面は専用貸出をせぜ一般開放
	延面積1,732㎡ 砂入人工芝2面 ナイター可	
豊 坂 庭 球 場	野場字井戸田57-1	
坂 崎 遊 水 地	延面積1,675㎡ 砂入人工芝2面 ナイター可	無料
	坂崎字馬頭90	
勤 労 者 体 育 セ ン タ ー	野場字鶏島50-1 Tel.62-2684	9:00～12:00 700円(半面350円) 13:00～15:00 500円(半面250円) 15:00～17:00 500円(半面250円) 17:00～19:00 1,000円(半面500円) 19:00～22:00 1,500円(半面750円)
	延床面積720㎡ バレーボール2面 バスケットボール1面 バドミントン3面	
弓 道 場	菱池字黒方46-10 Tel.63-2005	9:00～12:00 専用利用 1,500円 個人利用 小人150円 大人200円
	延床面積423.69㎡ 和弓近的(距離28m) 6人立ち	12:00～15:00 専用利用 1,500円 個人利用 小人150円 大人200円
		15:00～18:00 専用利用 1,500円 個人利用 小人150円 大人200円
		18:00～21:00 専用利用 2,500円 個人利用 小人200円 大人300円 ※半面専用利用の場合は専用使用料の半額 「小人」は中学生以下、「大人」は高校生以上
深 溝 運 動 場	深溝字大池8	1面につき3時間で1,000円
	延面積 13,446㎡ ソフトボール2面	

令和2年度社会体育施設利用状況

(単位：回、人)

施設名	面数	区分												合計	R元年度	前年度対比	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
坂崎	2面	昼間	12	0	43	38	75	57	41	72	45	15	0	22	420	650	61.6%
		ナイト	196	0	415	602	812	628	228	717	652	125	0	145	4,520	8,675	52.1%
とぼね	2面	昼間	2	0	4	5	6	6	10	8				41	94	43.6%	
		ナイト	30	0	75	75	130	125	190	115					740	2,409	30.7%
運動場	2面	昼間	16	0	43	45	95	62	44	51	52	47	53	37	545	689	79.1%
		ナイト	256	0	302	724	939	1,106	388	668	419	295	451	440	5,988	8,958	66.8%
坂崎遊水地	2面	昼間	40	0	40	40	40	20	140	140					460	1,691	27.2%
		ナイト	16	64	64	64	80	64	72	72	64	80	64	48	752	826	91.0%
大日彦	1面	昼間	60	240	240	240	300	240	270	270	240	300	240	180	2,820	3,150	89.5%
		ナイト	8	0	25	7	39	30	21	37	26	23	22	15	253	302	83.8%
大山陸上クラブ・ソフトボール場	3面	昼間	100	0	290	58	445	380	263	1,070	1,052	300	300	180	4,438	4,716	94.1%
		ナイト	2	0	11	9	9	10	23	30	17	7	7	9	134	340	39.4%
深溝	2面	昼間	12	0	27	38	33	56	36	25	27	22	17	9	302	322	93.8%
		ナイト	176	0	310	470	325	600	435	260	115	130	135	315	3,381	3,971	85.1%
小計		昼間	66	64	213	201	331	279	237	287	231	194	163	140	2,406	3,129	76.9%
		ナイト	988	240	2,042	2,375	3,351	3,384	2,249	4,111	3,275	2,036	1,506	1,710	27,287	43,430	62.8%
とぼね	2面	昼間	70	0	115	115	170	145	330	255					1,200	4,100	29.3%
		ナイト	27	0	45	39	84	80	82	91	91	78	90	60	767	864	88.6%
文化広場	2面	昼間	100	0	208	148	345	306	334	401	395	306	371	261	3,173	4,182	75.9%
		ナイト	67	0	144	119	196	168	167	186	194	176	185	159	1,761	2,141	82.3%
豊坂	2面	昼間	288	0	656	506	786	746	687	832	933	870	901	755	7,960	8,751	91.0%
		ナイト	15	0	45	33	59	33	47	41	58	44	49	42	466	450	103.6%
小計		昼間	118	0	304	199	377	225	313	299	248	363	422	343	3,211	3,091	103.9%
		ナイト	89	0	174	168	248	197	151	167	175	162	67	147	1,745	2,277	76.6%
総計		昼間	348	0	759	703	958	876	692	680	682	658	156	654	7,166	9,138	78.4%
		ナイト	12	0	32	25	43	37	41	30	220				220	336	65.5%
小計		昼間	183	0	363	326	528	445	400	441	460	416	342	366	4,273	5,252	80.9%
		ナイト	736	0	1,621	1,357	2,089	1,928	1,713	1,913	2,010	1,834	1,428	1,670	18,299	22,071	82.9%
総計		昼間	27	0	77	58	102	70	88	71	58	44	49	42	686	786	87.3%
		ナイト	214	0	525	372	652	537	569	248	363	422	343	343	4,901	6,208	78.9%
総計		昼間	249	64	576	527	859	724	637	731	691	610	505	596	6,679	8,411	79.4%
		ナイト	1,724	240	3,663	3,732	5,440	5,312	3,962	6,024	5,255	3,870	2,934	3,350	45,566	65,501	69.6%
合計		昼間	32	0	83	86	110	77	108	92	58	44	49	42	761	979	77.7%
		ナイト	284	0	640	487	822	682	986	824	248	363	422	343	6,101	10,308	59.2%
合計		昼間	281	64	659	593	969	801	745	823	749	654	554	548	7,440	9,390	79.2%
		ナイト	2,008	240	4,303	4,219	6,262	5,994	4,918	6,818	5,533	4,233	3,356	3,723	51,697	75,809	68.2%

令和2年度社会体育施設利用状況

(単位：回、人)

施設名	面数	区分	R元年度												前年度対比					
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		合計				
弓道場	6人立ち	個人	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
			人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		小計	回数	2	0	14	8	3	2	6	4	9	3	0	0	0	4	55	23	239.1%
			人数	6	0	23	15	7	4	8	10	21	8	0	0	0	8	110	48	229.2%
		専用	回数	2	0	14	8	3	2	6	4	9	3	0	0	0	4	55	23	239.1%
			人数	6	0	23	15	7	4	8	10	21	8	0	0	0	8	110	48	229.2%
		全面	回数	4	0	4	6	6	6	6	16	16	13	4	4	14	108	71	152.1%	
			人数	28	0	32	48	48	48	48	128	128	104	32	112	856	518	165.3%		
		小計	回数	5	0	13	17	19	16	7	4	5	6	2	6	100	257	38.9%		
			人数	75	0	195	376	497	342	317	164	255	306	100	264	2,891	6,002	48.2%		
合計	回数	9	0	17	23	25	22	26	20	21	19	6	20	208	328	63.4%				
	人数	103	0	227	424	545	390	465	292	383	410	132	376	3,747	6,520	57.5%				
体育館	総利用回数 総利用人数	回数	11	0	31	31	28	24	32	24	30	22	6	24	263	351	74.9%			
		人数	109	0	250	439	552	394	473	302	404	418	132	384	3,857	6,568	58.7%			
労働者体育センター	2面	回数	0	0	120	131	128	121	125	120	115	113	99	98	1,170	1,389	84.2%			
		人数	0	0	1,860	1,946	1,678	1,560	1,832	1,501	1,303	1,355	1,387	1,580	16,062	23,251	68.8%			
総利用回数		292	64	810	755	1,125	946	902	967	894	789	659	670	8,873	11,130	79.7%				
総利用人数		2,117	210	6,413	6,604	8,492	7,948	7,253	8,651	7,240	6,006	4,875	5,637	71,526	105,628	67.7%				

注) 本表において戶外施設は、雨天等の利用中止分を除き、利用申請書を集計したものです。屋内施設は、利用実績を集計したものです。

令和2年度学校体育施設スポーツ開放利用状況

学 校 名	区 分	(単位：回、人)												令和元年度 425	前年度対比 46.8%	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			合 計
坂崎小学校	体育館	0	0	0	0	9	35	33	32	26	22	17	25	199	425	46.8%
	運動場	0	0	0	0	145	669	607	625	483	355	297	570	3,751	9,276	40.4%
	体育館	0	0	0	0	11	8	9	0	0	0	0	0	28	62	45.2%
幸田小学校	体育館	0	0	0	0	358	324	288	0	0	0	0	0	970	2,477	39.2%
	運動場	0	0	0	0	12	42	42	40	31	25	18	21	231	421	54.9%
	体育館	0	0	0	0	201	646	612	726	497	390	313	385	3,770	8,173	46.1%
中央小学校	運動場	0	0	0	0	17	18	18	18	16	18	16	16	156	173	90.2%
	体育館	0	0	0	0	420	550	360	360	440	500	480	480	4,060	3,836	105.8%
	運動場	2	4	0	0	23	37	0	0	0	0	0	0	90	242	37.2%
坂谷小学校	体育館	0	0	0	0	695	710	0	0	0	0	0	0	2,725	8,505	32.0%
	運動場	30	60	0	0	1,230	41	42	41	32	20	12	32	232	414	56.0%
	体育館	0	0	0	0	211	706	751	749	507	367	303	642	4,236	7,999	53.0%
梁瀬小学校	体育館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	89	-
	運動場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,260	-
	体育館	0	0	0	0	8	29	40	40	33	32	35	20	237	339	69.9%
梁瀬小学校	運動場	0	0	0	0	173	575	917	799	678	636	674	450	4,902	7,605	64.5%
	体育館	0	12	0	0	16	3	0	0	0	0	0	8	39	101	38.6%
	運動場	0	480	0	0	810	230	0	0	0	0	0	400	1,920	4,460	43.0%

学校名	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	令和元年度	前年度増減比	
		回数 人数	回数 人数	回数 人数	回数 人数	回数 人数	回数 人数	回数 人数	回数 人数	回数 人数	回数 人数	回数 人数	回数 人数	回数 人数	回数 人数	回数 人数	%
豊成小学校	体育館	0 0	0 0	0 0	0 0	7 120	33 670	34 686	28 545	29 602	18 348	11 226	13 245	173 3,442	450 9,408	38.4% 36.6%	
	運動場	0 0	0 0	0 0	17 730	20 940	18 800	9 630	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	14 666	78 3,766	130 6,256	60.0% 60.2%
幸田中学校	体育館	0 0	0 0	0 0	0 0	6 149	33 609	32 663	33 672	25 603	19 457	8 231	30 755	186 4,141	332 7,752	56.0% 53.4%	
	武道場	0 0	0 0	0 0	0 0	1 15	16 318	1 40	0 0	10 201	11 201	11 192	15 444	65 1,411	114 2,473	57.0% 57.1%	
	卓球場	0 0	0 0	0 0	0 0	2 60	18 287	14 282	13 205	16 257	12 168	8 108	20 322	103 1,669	134 3,522	76.9% 47.4%	
	運動場	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	- -
南部中学校	体育館	0 0	0 0	0 0	0 0	6 114	35 549	43 714	39 591	32 465	20 319	14 255	26 435	215 3,472	330 6,222	65.2% 55.8%	
	武道場	0 0	0 0	0 0	0 0	1 5	4 59	8 118	13 238	0 17	2 15	2 23	19 329	60 954	93 1,778	61.5% 53.7%	
	卓球場	0 0	0 0	0 0	0 0	5 49	13 170	20 274	16 207	17 227	15 194	23 384	19 324	128 1,829	184 2,799	69.6% 65.3%	
	運動場	0 0	0 0	1 30	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 30	1 30	100.0% 100.0%	
北部中学校	体育館	0 0	0 0	0 0	0 0	2 23	30 426	26 367	31 413	23 319	12 167	3 40	20 235	147 1,990	278 4,737	52.9% 42.0%	
	武道場	0 0	0 0	0 0	0 0	5 103	26 482	13 270	0 0	16 332	8 157	1 20	7 171	76 1,535	135 2,911	56.3% 52.7%	
	卓球場	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	- -
	運動場	2 92	3 138	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	5 230	5 230	100.0% 100.0%	
合計	体育館	0 0	0 0	0 0	0 0	73 1,326	316 5,504	346 6,264	337 5,996	279 4,967	190 3,368	135 2,647	211 4,132	1,887 34,204	3,472 69,348	54.3% 49.3%	
	武道場	0 0	0 0	0 0	0 0	7 123	46 889	22 428	13 238	26 533	21 381	25 394	41 944	291 3,900	342 7,162	58.8% 54.5%	
	卓球場	0 0	0 0	0 0	0 0	7 60	31 437	34 556	29 412	33 484	27 362	31 492	39 646	231 3,498	318 6,321	72.6% 55.3%	
	運動場	4 122	19 678	1 30	1 57	103 3,808	73 2,706	39 1,416	18 360	16 440	18 500	16 480	38 1,546	397 13,701	803 28,054	49.4% 48.8%	
総計	4 122	4 19	1 30	1 57	190 5,366	466 9,506	441 8,664	397 7,006	354 6,424	256 4,611	207 4,013	329 7,268	2,716 55,303	4,935 110,885	55.0% 49.9%		

注) 本表において屋外施設は、利用申請書を集計したものです。屋内施設は、利用実績を集計したものです。

各種委員名簿

(1) スポーツ協会役員

[任期]令和3年5月11日～ 2年間

職 名	所 属 等	氏 名	備 考
会 長	町 長	成 瀬 敦	
副 会 長	町議会議長	足 立 初 雄	
〃	教育長	小 野 伸 之	
〃	校長会代表	山 本 勝 秀	
理 事 長	幸田町少林寺拳法協会	須 原 清 俊	
副 理 事 長	幸山JrFC	露 重 一 雄	
〃	幸田町ソフトボール協会	小 山 忠 義	
会 計	幸田少年剣志会	夏 日 守 雄	
常 任 理 事	幸田町軟式野球連盟	岡 田 真 司	
〃	幸卓会	天 野 修	
〃	幸山町バレーボール連盟	鈴 木 司	
〃	幸田エイティ	鶴 田 泰 正	
〃	幸田バドミントン協会	橋 本 徳 敬	
〃	幸田ローンテニスクラブ	高 橋 初 美	
〃	幸田町柔道会	伴 文 利	
〃	幸田町弓道連盟	越 山 和 紘	
〃	幸田町少林寺拳法協会	梅 澤 基 広	
〃	幸田町グラウンドゴルフ協会	横 落 幸 信	
〃	幸山町組討道会	近 藤 真 吏	
監 事	幸田町軟式野球連盟	諏 佐 瑛 一 朗	
〃	幸山町組討道会	近 藤 美 智 子	

(2) スポーツ推進委員

[任期]令和2年4月1日～令和4年3月31日

学 区	氏 名	経験年数	備 考
坂 崎	金 子 忠 則	9	
	鈴 木 真 琴	5	
	浅 井 幸 子	5	
幸 田	清 水 圭 司	15	
	酒 井 順 二	5	
	中 根 真実子	5	
中 央	柏 俊 也	5	
	永 田 竜 子	5	
	烏 居 賢	1	
荻 谷	岩 渕 初 子	25	
	浦 山 岩 夫	17	
	伊豫田 泰 孝	1	
深 溝	宇 都 聖 子	9	
	笹 野 英 一	7	
	蜂 谷 浩	7	
豊 坂	高 橋 勝 久	3	
	近 藤 あつ子	3	
	生 田 和 貴	1	

(3) 地区スポーツリーダー

(令和3年度)

◎=学区代表

学区	地区名	正・副	氏名	学区代表
坂 崎	長嶺	正	福岡 昭	
		副	本田 慎一	
	久保田	正	鈴木 善之	
		副	岡野 優治	
	坂崎	正	谷口 直也	◎
		副	中尾 信也	
幸 田	大草	正	山崎 英二	
		副	淵上 裕貴	
		副	今井 靖史	
	高力	正	山本 大介	
		副	村田 英秋	
		副	岡田 知宏	
	鷺川	正	占松 竜哉	◎
		副	西崎 孝伸	
		副	森 良明	
	新田	正	佐田 正聡	
		副	本多 飛也	
		副	榊原 秀樹	
中 央	岩堀	正	鈴木 仲弥	
		副	柴田 徳行	
		副	小野 勝彦	
横落	正	鈴木 知文	◎	
	副	馬崎 政俊		
	副	船木 茂		

学区	地区名	正・副	氏名	学区代表
荻 谷	荻	正	小林 洋之	
		副	内田 敏	
	芦谷	正	羽田野 勝徳	◎
		副	川崎 雅司	
		副	小椎尾 怜英	
		幸田	正	杉浦 孝文
桜坂	副	森 賢次		
	正	熊田原 康智		
里	副	太田 久喜		
	正	岩瀬 和人		
深 溝	市場	副	伊豫田 悠起	
		正	小林 晴裕	
	海谷	副	内藤 正規	
		正	村越 勝美	
	逆川	副	田邊 友深	
		正	稲占 克幸	◎
	副	春日井 利彦		
	豊 坂	野場	副	杉浦 雅一
正			大須賀 務	
永野		正	山本 宏晃	
		副	鈴木 祐介	
須美		副	鈴木 大	
		正	平岩 正成	
六栗		副	田境 祐一	
		正	寺西 宏紀	
上六栗		副	志賀 史尚	
		正	上村 卓也	
		副	山本 成行	
桐山		副	永井 大希	
	正	長谷 秀幸		
	副	鴨下 貴典	◎	
副	長谷 晃雄			

施設管理運営事業計画

1 重点目標

ハッピーネス・ヒル・幸田（町民会館、図書館、町民プール並びに屋外施設）は、幸田町の総合的な文化・スポーツの拠点空間として中心的役割を担っています。多くの人に利用していただけるような質の高いサービスの提供、多様なニーズへの柔軟な対応、施設間の連携を持ちながら一体的な効率運営を図るため、平成18年度から指定管理者制度を導入しました。施設の適正な管理運営への評価及び今後の指定管理の在り方を念頭に指定管理者への検査・指導等を行います。

また、公の施設として安全かつ利用しやすい施設を旨とし、ハッピーネス・ヒル・幸田の修繕工事をを行います。

2 令和3年度事業計画

- (1) 町民会館管理運営事業 指定管理者指定管理料（193,700,000円）
- (2) 図書館管理運営事業 指定管理者指定管理料（83,000,000円）
- (3) 町民プール管理運営事業 指定管理者指定管理料（101,300,000円）

3 ハッピーネス・ヒル・幸田 施設の概要

(1) 町民会館

施設概要

施設名称	幸田町民会館	地下1階	1,694.19 m ²	
所在地	幸田町大字大草字丸山60番地	地上1階	5,557.94 m ²	
電話	63-1111	地上2階	2,337.23 m ²	
F A X	63-5186	地上3階	330.92 m ²	
建築面積	6,096.59 m ²	地上4階	72.62 m ²	
延床面積	9,992.92 m ²	開館口	平成8年8月30日	
建築構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造地下1階地上4階建			
設備概要	さくらホール	固定席1,001席、車椅子席6席、親子席6席		
	つばきホール	固定席400席、車椅子席4席、親子席6席		
	あじさいホール	345.8 m ²	和室	28畳
	大会議室	105.4 m ²	談話室	70.8 m ²
	第一中会議室	53.8 m ²	スタジオ	26.0 m ²
	第二中会議室	36.4 m ²	喫茶室	143.8 m ²
	小会議室	37.0 m ²	衣裳展示室	102.1 m ²
	その他	管理事務室、エントランス、機械室 他		

利用概要

利用時間	午前9時～午後10時
休館日	毎週月曜日（ただし、国民の祝日にあたる場合はその翌日） 特別清掃日、年末年始（12月28日～1月4日）
使用申込みの手順	
利用施設の空き状況を電話で確認してください。	
①利用申請……………直接会館で申請書の記入をしていただきます。	
②利用申請の審査……………2～3日で申請の内容を審査いたします。	
③利用許可書の発行……………お電話で許可の旨御連絡いたします。	
④使用料の納入……………許可書のお受け取り時にお支払いください。	
⑤使用の打ち合わせ……………ホール利用の際は必ず打ち合わせを行います。	
⑥諸官公署等への届出……………使用内容によって必要な場合があります。	
⑦使用（当日）……………責任者が許可書を持って事務所にて御提示ください。	

利用料金体系

ホール等施設の利用には、施設使用料（事前に支払う）と設備使用料（当日支払う）の合計額が必要となります。

①施設使用料（抜粋）

区 分		午 前		午 後		夜 間		全 日	
時 間 区 分		9:00～12:00		13:00～17:00		18:00～22:00		9:00～22:00	
利 用 区 分		平 日	上 日 祝	平 日	上 日 祝	平 日	上 日 祝	平 日	上 日 祝
ホ ー ル	さくら	16,900円	21,500円	22,700円	28,600円	27,000円	33,100円	60,000円	75,000円
	つばき	5,900円	7,000円	9,500円	11,600円	11,700円	14,300円	21,400円	29,600円
	あじさい	4,200円	4,900円	5,700円	6,600円	6,000円	7,200円	15,900円	18,700円
大 会 議 室		1,400円		1,800円		2,100円		4,800円	
第1中会議室		800円		1,000円		1,200円		2,700円	
第2中会議室		500円		700円		800円		1,800円	
小 会 議 室		400円		600円		700円		1,500円	
和 室		800円		1,000円		1,200円		2,700円	

〔備考〕

常利宣伝での利用、1,000円を超えての入場料等はこの表に定める2倍に相当する額とする。

②設備使用料（抜粋）

種類又は品目	単位	さくら	つばき	種類又は品目	単位	さくら	つばき
演台	1台	500円	200円	ピアノ	1台	5,000円	3,000円

〔備考〕

午前・午後・夜間それぞれの時間区分ごとの使用料とする。

(2) 図書館

施設概要

施設名称	幸田町立図書館		
所在地	幸田町大字大草字丸山8番地	地下1階	537.38㎡
建築面積	1,591.88㎡	地上1階	1,369.71㎡
延床面積	2,970.67㎡	地上2階	1,069.58㎡
電 話	63-0001 (FAX) 63-0654	開館日	平成8年1月5日
建築構造	鉄筋コンクリート造、地下1階地上2階建		
設備概要	地下1階	閉架書庫、図書整理作業室、公用車庫 他	
	地上1階	おはなしのへや、児童コーナー、視聴覚コーナー、レストルーム 休憩・雑誌コーナー、ブラウジングコーナー、ギャラリー 事務室、対面朗読室、和室閲覧室、コントロールカウンター 他	
	地上2階	ブラウジングコーナー、サテライトカウンター、一般閲覧室 特別閲覧室、学習閲覧室（ハイビジョンシアター）、会議室 他	
蔵書収容能力：17万冊（開架9万冊、閉架8万冊）			

利用概要

開館時間	午前9時～午後7時	
休館日	毎週月曜日（ただし、国民の祝日にあたる時はその翌日） 館内整理日（7、8、9、12月を除く月末平日） 特別整理期間（年間15日以内）、年末年始（12月28日～1月4日）	
貸 出	個人	幸田町在住・在勤・在学者 岡崎市、蒲郡市、西尾市在住者 図書10冊、視聴覚資料2点以内、期間15日以内
	団体	館長が認める各種団体 図書100冊以内、期間30日以内
返 却	閉館中の場合、本に限りブックポストの利用も可能	

(3) 町民プール

施設概要

施設名称	幸田町民プール	本体建物	3,064.91 m ²
所在地	幸田町大字大草字丸山 89 番地	機械室	63.52 m ²
建築面積	2,806.90 m ²	屋外便所	16.74 m ²
延床面積	3,328.29 m ²	観覧所	40.98 m ²
電話	56-8111 (FAX) 56-8112	売店	28.28 m ²
建築構造	鉄骨造 2 階建 (一部平屋建)	休憩所	58.43 m ²
開館口	平成 10 年 7 月 2 日	駐輪場	55.44 m ²
設備概要	事務管理棟 1 階	エントランスホール、事務室、更衣室、シャワー室 医務室、監視員室、清掃員室、障害者更衣室及び便所 ラウンジ、採暖室 他	
	事務管理棟 2 階	トレーニング室、会議室、機械室、便所、観覧所 他	
	屋内温水プール	25m 競泳用プール (7 コース)、キッズプール リラクゼーションプール 他	
	屋外プール	流水プール (125m)、造波プール、キッズプール ウオータースライダー 2 基 (70m、30m) クジラスライダー 1 基、飲食販売所 他	
	その他	濾過器置場 (3 基)、駐車場 (306 台) 駐輪場 (100 台) 他	

利用概要

利用時間	日曜日：午前 10 時～午後 6 時 土曜日、祝日、夏休みの平日：午前 10 時～午後 9 時 平日 (夏休み以外)：午後 1 時～午後 9 時 屋外プール：午後 6 時まで、トレーニング室：午前 10 時～				
利用期間	屋外プール開場期間は 6 月第 4 土曜日から 9 月第 1 (2) 日曜日まで				
休館日	毎週月曜日 (ただし、国民の祝日にあたるときはその翌日) 特別清掃日、年末年始 (12 月 28 日～1 月 4 日)、夏休み期間中は無休				
使用料金	区 分		個人料金	団体料金	
	一般利用	大人 (高校生又は義務教育終了以上の方)	500 円	400 円	
		小人	小学 4 年生以上 (中学生を含む)	300 円	200 円
			小学 3 年生以下 (幼児を含む)	200 円	100 円
	特別利用	高齢者 (満 65 歳以上の方)	200 円	100 円	
障がい者等		大人 (高校生又は義務教育終了以上の方)	200 円	100 円	
		小人 (中学生を含む)	100 円	50 円	

(4) 思索の森、センタープラザ及びその他の屋外施設

施設概要

ハッピーネス・ヒル・幸田 屋外施設	敷地面積	82,907.3 m ²
	玄関ロータリー	モニュメント「しあわせの希求」、タクシー乗り場他
	センタープラザ	屋外ステージ、センターサークル他
	思索の森	約 4,120 m ² （東屋、池、滝、橋他）
	芝生広場	上面約 30m×60m、下面約 30m×100m
	こどもひろば	ブランコ、滑り台、スプリング遊具他
	屋外トイレ	3 箇所（身障者用 2 箇所）
	親水ゾーン	約 1,220 m ² （親水用岩場他）
	展望台	2 箇所（図書館事務室横、会館事務室横）
	駐輪場	約 200 台（図書館、会館、プール）
	調整池	3 箇所（雨水排水調整機能）
	駐市場	790 台（図書館、会館、プール、北駐市場他）
	その他	建物やエリアを結ぶカスケード、エントランスコート他

※詳しくは、ホームページでも、ご覧いただけます。

(5) その他

利用料金制度

これまでの施設の利用に伴う使用料などは、指定管理者制度の導入に伴い指定管理者の収入として収納事務等取扱いがされます。

（利用料金の主なもの：プール入場料、町民会館施設使用料、その他実費徴収金など）

(6) 指定管理者の変遷

指定期間	指定管理者名
平成 18 年度～平成 22 年度	幸田町文化振興協会
平成 23 年度～平成 27 年度	幸田町文化振興協会
平成 28 年度～令和 2 年度	幸田町文化振興協会
令和 3 年度 ～令和 7 年度	幸田町文化振興協会

4 令和2年度までの実績

(1) ハッピーネス・ヒル・幸田全体

(単位：人)

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度	平成40年度	平成41年度	平成42年度	平成43年度	令和元年度	令和2年度	備考					
図書館	4,521	46,418	31,433	75,540	88,033	37,124	93,230	20,232	117,820	177,449	118,485	144,867	23,429	128,198	22,341	118,065	24,776	108,801	105,722	81,548	138,838	126,838	81,222	貸出者数	
資料	4,521	46,418	31,433	75,540	88,033	37,124	93,230	20,232	117,820	177,449	118,485	144,867	23,429	128,198	22,341	118,065	24,776	108,801	105,722	81,548	138,838	126,838	81,222	貸出者数	
町民会館	9,203	41,334	44,729	138,493	138,493	39,579	167,533	33,208	17,719	18,226	104,763	153,138	24,232	156,230	47,624	161,684	33,742	48,003	38,228	33,229	23,229	131,227	47,234		
町民会館	9,203	41,334	44,729	138,493	138,493	39,579	167,533	33,208	17,719	18,226	104,763	153,138	24,232	156,230	47,624	161,684	33,742	48,003	38,228	33,229	23,229	131,227	47,234		
市民会館	13,339	174,187	179,215	152,283	122,301	108,138	157,996	127,787	124,185	124,889	127,787	124,185	127,787	124,185	127,787	124,185	127,787	124,185	127,787	124,185	127,787	124,185	127,787	124,185	
市民会館	13,339	174,187	179,215	152,283	122,301	108,138	157,996	127,787	124,185	124,889	127,787	124,185	127,787	124,185	127,787	124,185	127,787	124,185	127,787	124,185	127,787	124,185	127,787	124,185	
市民会館	4,521	14,706	202,287	388,038	410,033	421,066	494,165	384,236	427,672	520,732	428,988	390,134	387,268	300,655	372,946	358,042	331,455	370,783	376,391	325,442	328,063	514,582	554,266	448,136	128,822
市民会館	4,521	14,706	202,287	388,038	410,033	421,066	494,165	384,236	427,672	520,732	428,988	390,134	387,268	300,655	372,946	358,042	331,455	370,783	376,391	325,442	328,063	514,582	554,266	448,136	128,822
芝生広場等屋外利用者数	3,793人	5,071人	4,494人	6,201人	5,881人	5,101人	5,101人	5,101人	5,101人	5,101人	5,101人	5,101人	5,101人	5,101人	5,101人	5,101人	5,101人	5,101人	5,101人	5,101人	5,101人	5,101人	5,101人	5,101人	3人
芝生広場等屋外利用者数	3,793人	5,071人	4,494人	6,201人	5,881人	5,101人	5,101人	5,101人	5,101人	5,101人	5,101人	5,101人	5,101人	5,101人	5,101人	5,101人	5,101人	5,101人	5,101人	5,101人	5,101人	5,101人	5,101人	5,101人	3人
図書館	町民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	
町民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	
町民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	市民会館	

※ 上段は、「各年度利用者数」、下段は、「累積利用者数」を表す。「累積利用者数」はラウンド・ゴルフ等の利用申請に基づく利用者数です。平成21年度は、産業まつり来場者のみの開催。

町民会館 利用実績 比較グラフ

収入合計及び使用料比較

(単位：円)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度	平成40年度	平成41年度	平成42年度	平成43年度	令和元年度	令和2年度
収入合計	5,953,396	15,484,821	8,219,638	18,376,177	29,104,658	26,984,630	29,004,530	31,439,363	34,029,244	27,702,584	28,389,347	34,284,941	31,224,541	39,119,883	33,786,533	28,486,827	31,773,367	27,687,229	18,130,894
使用料	6,171,417	12,263,369	4,725,200	15,484,690	16,882,900	16,578,300	16,385,500	17,522,659	20,176,220	27,445,100	24,022,200	24,448,490	24,339,290	24,448,490	22,333,650	17,381,210	20,984,820	18,286,290	9,824,300

各ホール稼働率

(単位：%)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度	平成40年度	平成41年度	平成42年度	平成43年度	令和元年度	令和2年度					
市民会館	2.0	3.6	38.2	39.3	44.1	39.7	55.2	43.6	61.2	68.4	64.4	64.4	64.4	64.4	64.4	64.4	64.4	64.4	64.4	64.4	64.4	64.4	64.4	64.4
市民会館	28.1	20.3	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0
市民会館	48.1	41.5	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0

図書館 利用実績
図書資料貸出冊数

(単位：冊)

区分	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	令和元年度	令和2年度
一般書	5,376	71,008	20,748	147,802	147,802	147,802	147,802	147,802	147,802	147,802	147,802	147,802	147,802	147,802	147,802	147,802	147,802	147,802	147,802
児童書	15,184	54,824	54,116	103,769	113,793	131,638	155,225	166,792	168,841	170,721	172,009	173,073	173,298	173,490	173,682	173,874	174,066	174,258	174,450
その他	1,708	5,171	51,855	30,887	62,284	41,627	33,718	95,623	101,419	106,601	111,783	116,965	122,147	127,329	132,511	137,693	142,875	148,057	153,239
貸出冊数	18,268	127,003	126,719	282,373	293,284	293,068	316,745	326,224	327,052	326,224	327,052	327,875	327,052	327,875	327,052	327,875	327,052	327,875	327,052

※その他：雑誌、視聴覚資料

図書資料蔵書冊数

(単位：冊)

区分	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	令和元年度	令和2年度
一般書	5,138	48,417	57,748	72,865	77,929	82,996	87,307	92,467	96,484	101,616	106,724	111,818	116,903	122,004	127,098	132,192	137,286	142,380	147,474
児童書	12,622	15,574	18,381	22,844	24,629	26,775	29,276	32,321	34,293	37,265	40,006	42,471	44,623	46,819	48,330	50,068	51,565	53,238	54,971
博士・石書	305	1,254	2,628	5,387	7,826	9,324	9,771	9,230	8,284	7,487	6,487	5,291	4,229	3,066	2,115	1,300	1,129	1,159	1,195
視聴覚資料	1,274	1,987	2,789	3,438	4,116	4,851	5,320	5,788	6,256	6,724	7,192	7,660	8,128	8,596	9,064	9,532	10,000	10,468	10,936
蔵書冊数	9,340	70,232	84,536	104,532	110,785	117,950	124,876	131,802	138,724	145,649	152,575	159,501	166,427	173,353	180,279	187,205	194,131	201,057	207,983

町民プール 利用実績 比較
トレーニング室、会議室利用者数

(単位：人)

区分	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	令和元年度	令和2年度
トレーニング室	8,867	14,376	14,800	16,187	16,545	18,317	18,062	17,292	16,700	14,302	14,515	15,484	14,237	13,462	13,432	14,172	15,439	16,665	18,105
会議室	633	937	815	2,323	4,370	3,517	5,513	3,951	6,417	3,757	9,734	3,594	9,822	8,505	10,413	8,499	10,301	12,865	11,237
利用者数	9,500	15,313	15,615	18,510	20,915	22,834	21,243	20,243	23,117	18,459	24,249	18,078	24,059	21,967	24,587	23,938	26,740	29,530	29,342

シーズン別（7月～8月）利用者数

(単位：人)

区分	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	令和元年度	令和2年度
7～8月利用者数	32,310	91,417	88,726	67,361	85,269	58,923	62,305	57,956	65,722	58,331	61,729	58,288	63,416	61,683	65,241	60,282	60,367	66,658	68,978
その他の月利用者数	46,809	87,738	78,189	71,322	75,811	79,236	73,661	69,312	61,231	66,362	64,038	60,511	58,417	55,377	55,738	59,573	61,689	66,312	66,312
年統計	133,309	179,155	166,915	138,683	161,080	138,159	136,566	127,268	126,953	124,693	125,767	118,800	121,833	117,063	120,979	119,855	122,056	132,970	135,290
プール入場料総計(円)	51,791,303	67,115,500	66,299,298	51,798,291	51,624,506	38,893,600	47,948,806	45,188,400	43,339,539	40,573,490	42,038,000	41,119,700	41,976,900	39,810,900	37,315,700	39,610,900	37,298,500	39,212,700	41,234,100

(2) 町民会館 令和2年度 町民会館 利用実績表

利用状況 開催日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均		稼働日数 稼働率	
	9日	6日	6日	27日	26日	24日	27日	25日	24日	24日	24日	26日	261日	月	日		
さくらホール	0回	0回	18回	39回	34回	38回	50回	53回	46回	41回	39回	53回	411回	34.3回	1.6回	181日	69.3%
つばきホール	0回	0回	0回	17回	34回	33回	46回	47回	37回	30回	43回	38回	325回	27.1回	1.2回	156日	59.9%
あじさいホール	5回	17回	4回	31回	26回	32回	43回	35回	37回	14回	37回	26回	290回	24.2回	1.1回	147日	56.3%
リハーサル室	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	4回	2回	4回	2回	2回	22回	1.8回	0.1回	17日	6.5%
大会議室	5回	6回	14回	21回	25回	14回	29回	19回	34回	27回	18回	26回	232回	19.3回	0.9回	163日	61.0%
第1中会議室	3回	27回	13回	5回	5回	7回	26回	14回	21回	8回	14回	13回	129回	10.8回	0.5回	171日	62.8%
第2中会議室	5回	21回	10回	8回	4回	6回	16回	12回	24回	7回	11回	14回	117回	9.8回	0.4回	124日	45.7%
小会議室	4回	8回	0回	4回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	8回	0.7回	0.0回	19日	7.2%
和室	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	4回	11回	0回	8回	3回	28回	2.3回	0.1回	31日	11.5%
楽屋 単独利用	0回	0回	0回	9回	16回	15回	24回	16回	12回	30回	20回	6回	148回	12.3回	0.6回	147日	54.1%
ピアノ庫、床下等 単独利用	0回	0回	0回	3回	2回	3回	3回	3回	3回	3回	0回	0回	20回	1.7回	0.1回	23日	8.5%
(回数) 合計(人数)	22回	0回	59回	137回	146回	148回	217回	207回	227回	161回	182回	181回	1,730回	144.2回	6.6回	430.6人	
実績比較	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均			
(回数)	253回	216回	231回	341回	382回	270回	283回	347回	252回	248回	260回	60回	3,156回	263.0回	10.7回	431.8人	
令和元年度	10,446人	9,329人	12,279人	12,803人	9,398人	13,309人	14,853人	14,831人	13,013人	9,629人	10,070人	1,107人	131,267人	10,938.9人	431.8人		
(人数)	-231回	-216回	-175回	-204回	-226回	-122回	-46回	-140回	-25回	-84回	-68回	121回	-1,426回	1.4回	0.0回		
差	-10,118人	-9,329人	-10,821人	-10,475人	-6,817人	-10,026人	-9,006人	-6,606人	-6,109人	-5,489人	-4,471人	5,197人	-84,133人	-7,011.1人	-4.3人		
前年度 比較(%)	8.7%	6.0%	25.2%	40.2%	38.2%	54.5%	84.3%	59.7%	90.1%	66.1%	73.8%	301.7%	54.8%	35.9%	-		
	2.4%	0.0%	11.8%	18.2%	28.7%	24.7%	39.4%	55.5%	53.1%	43.0%	55.6%	569.5%	35.9%	-			

ジャンル別 利用実績表

(単位：回数)

ジャンル	月 別												合計 (3ヶ月)	構成比 (%)	内 訳		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			さくら	つばき あじさい	
吹奏楽・コンクール	0	0	0	1	9	9	5	3	14	22	12	9	84	10.2	58	13	13
演劇	0	0	0	10	16	12	0	0	6	3	0	0	47	4.6	9	37	1
音楽・ピアノ発表会	0	0	0	6	17	25	33	26	39	19	29	35	229	22.3	21	150	58
日舞・洋舞・ダンス	0	0	18	0	0	13	8	22	0	2	8	27	98	9.6	77	16	5
大会・総会・式典	0	0	0	0	0	2	13	5	0	5	0	7	32	3.1	19	4	9
展示・即売会	3	0	3	0	3	6	13	2	3	0	27	0	60	5.8	0	0	60
会議・説明会	0	0	1	4	2	2	4	1	2	0	0	1	17	1.7	0	2	15
教室・講習・研修会	1	0	0	10	1	4	4	7	0	4	2	0	33	3.2	11	1	21
和太鼓・大正琴・古典	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	3	0.3	2	0	1
カラオケ発表会	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0.2	0	0	2
パーティー・懇親会	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	6	0.6	0	0	6
演歌・歌謡・コンサート	0	0	0	2	3	0	0	0	0	0	2	0	7	0.7	0	7	0
講演会	0	0	0	0	0	0	0	3	1	2	0	2	8	0.8	4	0	4
オペラ・声楽	0	0	0	4	4	7	13	12	5	3	3	2	53	5.2	12	23	18
映画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0
結婚式	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0
その他	0	0	0	49	39	22	42	54	50	25	36	30	347	33.8	198	72	77
合計	5	0	22	87	94	103	139	135	120	85	119	117	1,026	100.0	411	325	290

(3) 図書館

蔵書構成

(単位：冊)

種別	平成30年度末	令和元年度末	令和2年度末	令和2年度受入冊数			除籍	全資料 対比(%)
	蔵書数	蔵書数	蔵書数	購入	寄贈他	計		
0 総記	4,889	5,014	5,111	96	3	99	2	2.4%
1 哲学	5,323	5,390	5,510	118	3	121	1	2.5%
2 歴史	11,805	11,531	10,856	300	9	309	984	5.1%
3 社会科学	21,433	17,907	18,484	572	13	585	8	8.8%
4 自然科学	10,978	11,160	11,524	359	6	365	1	5.5%
5 技術	12,804	12,258	12,645	393	3	396	9	6.0%
6 産業	4,814	4,977	5,151	176	0	176	2	2.4%
7 芸術	12,216	12,532	11,526	318	2	320	1326	5.5%
8 言語	2,596	2,650	2,691	44	0	44	0	1.3%
9 文学+小説	34,079	34,962	32,711	886	48	934	3,185	15.5%
文庫	14,400	14,639	14,878	200	59	259	20	7.0%
一般書 計	135,337	133,020	131,090	3,462	146	3,608	5,538	62.1%
0 総記	465	492	506	14	1	15	1	0.2%
1 哲学	398	421	434	15	0	15	2	0.2%
2 歴史	2,029	2,137	2,186	51	3	54	5	1.0%
3 社会科学	2,229	1,990	2,065	70	5	75	0	1.0%
4 自然科学	4,346	4,217	4,358	133	17	150	9	2.1%
5 技術	1,817	1,435	1,491	49	9	58	2	0.7%
6 産業	1,058	911	948	37	1	38	1	0.4%
7 芸術	3,072	2,658	2,715	62	3	65	8	1.3%
8 言語	658	576	587	13	0	13	2	0.3%
9 文学	14,525	14,895	15,263	382	8	390	22	7.2%
絵本	21,674	22,461	23,116	704	74	778	123	10.9%
紙芝居	1,566	1,575	1,590	16	0	16	1	0.8%
児童書 計	53,837	53,768	55,259	1,546	121	1,667	176	25.5%
点字	291	305	305	0	0	0	0	0.1%
郷土資料	5,674	5,884	5,827	10	35	45	102	2.8%
古書	5,980	5,980	5,980	0	0	0	0	2.8%
図書 合計	201,119	198,957	198,461	5,018	302	5,320	5,816	94.0%
CD	7,668	7,832	8,015	177	13	190	7	3.8%
カセットテープ	290	305	307	0	2	2	0	0.1%
ビデオテープ	55	55	55	0	0	0	0	0.0%
レーザーディスク	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
DVD	4,106	4,202	4,290	95	9	104	16	2.0%
視聴覚 合計	12,119	12,394	12,667	272	24	296	23	6.0%
総計	213,238	211,351	211,128	5,290	326	5,616	5,839	100.0%

月別利用状況

貸出総数内訳

月	開館日数 (日)	貸出者数 (人)	貸出冊数(冊)				
			合計	一般書	児童書	雑誌	視聴覚
4	15	4,013	21,766	8,908	9,318	1,210	2,330
5	0	190	289	181	75	12	21
6	24	4,865	25,245	10,142	10,295	1,750	3,058
7	27	7,178	30,211	11,565	13,374	2,323	2,949
8	26	8,982	37,371	13,608	17,572	2,912	3,279
9	22	6,411	27,082	10,122	12,338	2,136	2,486
10	26	8,983	35,168	12,947	16,214	2,901	3,106
11	24	8,160	32,704	11,528	15,541	2,662	2,973
12	24	7,722	32,785	12,294	14,969	2,703	2,819
1	23	7,600	31,490	12,022	14,174	2,552	2,742
2	23	8,533	33,897	13,166	15,125	2,659	2,947
3	25	8,485	34,035	12,604	15,523	2,821	3,087
合計	259	81,122	342,043	129,087	154,518	26,641	31,797
1日平均		313	1,321	498	597	103	123

校区別利用状況

校区	年代	幼児	小中高生	一般			合計
		~6才	7~18才	19~40才	41~60才	61才~	
坂崎小	貸出者数	216	583	568	913	702	2,982
	" 冊数	1,512	3,095	2,882	3,361	2,333	13,183
幸田小	貸出者数	1,087	3,091	3,384	3,778	3,052	14,392
	" 冊数	6,691	14,799	16,682	14,982	9,726	62,880
中央小	貸出者数	773	1,833	2,572	3,923	2,810	11,911
	" 冊数	5,010	9,500	13,036	12,683	8,353	48,582
荻谷小	貸出者数	313	804	971	1,652	1,009	4,749
	" 冊数	1,952	4,722	4,351	6,221	3,912	21,158
深溝小	貸出者数	270	638	1,213	1,291	1,280	4,692
	" 冊数	2,004	3,011	5,736	4,431	3,869	19,051
豊坂小	貸出者数	488	703	1,403	1,770	1,269	5,633
	" 冊数	2,961	3,842	6,482	6,329	4,804	24,418
合計	貸出者数	3,147	7,652	10,111	13,327	10,122	44,359
	" 冊数	20,130	38,969	49,169	48,007	32,997	189,272

(4) 町民プール
令和2年度町民プール利用状況
(プール利用状況)

(単位：人)

区分	月 別 利 用 者 数												平均利用者数等		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	日平均
開館日数	9日	0日	0日	25日	28日	31日	24日	27日	25日	24日	24日	18日	259日	22日	—
大人	0	0	0	0	0	62	98	164	109	111	160	123	977	81	4
小人(小4年以上)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小人(小3年以下)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	62	98	164	109	111	160	123	977	81	4
高齢者	0	0	0	0	0	58	72	86	84	76	98	75	675	56	3
障がい者等(大人)	0	0	0	0	0	11	7	14	14	11	11	4	84	7	0
障がい者等(小人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	69	79	100	98	87	109	79	759	63	3
大人(含65歳以上)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小人(小4年以上)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小人(小3年以下)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障がい者等(大人・小人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総合計	0	0	0	0	0	131	177	264	207	198	269	202	1,736	145	7
日平均利用者数	0	0	0	0	0	4	7	10	8	8	11	11	7	—	—

(トレーニング室利用状況) ※プール利用者の内数である。

(単位：人)

トレーニング室利用	0	0	0	0	0	131	177	264	207	198	269	202	1,736	145	7
日平均利用者数	0	0	0	0	0	4	7	10	8	8	11	11	7	—	—

(会議室利用状況)

(単位：人)

利用団体	2	0	0	0	0	0	21	21	36	30	31	26	239	20	1回平均
及び人員	22	0	0	0	0	0	142	166	358	271	346	283	2,395	200	10.0

※令和2年度の善田町民プールの休業期間
・屋内及び屋外プール：4月～翌年3月・トレーニング室及び会議室：4月～6月

(5) 文化振興協会

令和2年度 幸田町文化振興協会 自主事業実施一覧表 (抜粋)

	事業名	開催期日	開演	会場	入場者数
町民会館自主事業	音楽宅配事業	随時	—	各小学校	712
	あじさいコンサート	年9回	18:30~	あじさい	802
	ハピネス・ヒル ワンコインコンサート	年5回	11:30~	さくら	852
	New Lifestyle Concert	8月2日(日) 8月9日(日)	11:00~	さくら	324
	歌とオーケストラで綴る古閑裕而の世界	8月23日(日)	15:00~	さくら	233
	Brilliant Show Theater MUSICAL LIVE	10月3日(土)	17:00~	さくら	719
	宮川彬良×ばんだウインドオーケストラ2020	1月16日(土)	15:00~	さくら	293
	椿三重奏団	2月6日(土)	15:00~	つばき	107
	ハピネス・ヒル寄席 その十三	2月7日(日)	14:00~	つばき	172
町民ホール自主事業	健康講座(全4回)	11月~12月	10:00~	町民会館	60
	親子で脳スポ	2月20日(土)	10:00~	町民会館	10
	楽々エクササイズ	I期~IV期	—	会議室 町民会館	1,712
	ヨガ教室	I期~IV期	—	会議室 町民会館	2,108
	ストリートダンス教室	月4回(火・水)	16:30~ 18:00~	町民会館	2,131
図書館自主事業	おはなし会	全41回	—	おはなしのへや	507
	アウトリーチ	全22回	—	館外	511
	小学校図書館利用学習会	6月~10月	—	図書館	463
	図書館deガチャ本(PON)	10月~11月	—	図書館	1,005
	子ども一日司書	8月22日(土)	9:00~ 13:30~	図書館	8
	絵本作家 鈴木のりたけ講演会「おもしろがると せかいが ひろがる」	11月3日(火)	13:30~	あじさい	94
	図書館文学講座「良寛、その不思議な魅力」	11月12日(木) 11月26日(木)	10:00~	あじさい	57
	ほしぞらウォッチング「三日月と、アンドロメダ銀河・オリオン大星雲を見よう」	1月16日(土)	18:00~	あじさい	23
	郷土史講座	1月20日(水) 1月27日(水)	10:00~	大会議室	52
	BOOK CAFE	2月21日(日)	14:30~	学習閲覧室	15
	回想法基礎講座「回想法を体験してみませんか？」	3月14日(日)	10:30~	学習閲覧室	15

参 考 資 料

- ・ 幸田町いじめ防止基本方針 P 1
- ・ 幸田町子ども読書活動推進計画（第三次）（概要） P13
- ・ 幸田町子どもの権利に関する条例（抜粋） P14

幸田いじめ防止基本方針

幸田町・幸田町教育委員会

平成27年1月策定

平成30年2月改定

はじめに	1
第1 いじめの防止等に関する基本的な考え方	1
1 いじめ防止等の対策に関する基本理念	1
2 いじめの定義	2
3 いじめの理解	3
第2 いじめの防止等のために本町が実施する施策	3
1 幸田町いじめ・不登校対策協議会の設置	3
2 教育委員会の附属機関の設置	3
3 町の取組	4
(1) いじめの未然防止	4
(2) いじめの早期発見	4
(3) いじめに対する措置	5
第3 いじめ防止等のために学校が実施する施策	5
1 学校いじめ防止基本方針の策定	5
2 学校の組織作り	6
3 学校の取組	6
(1) いじめの未然防止	6
(2) いじめの早期発見	6
(3) いじめに対する措置	7
第4 重大事態への対処	7
1 学校及び教育委員会の対応	7
2 町長による再調査及び再調査を踏まえた措置	8
【参考】 いじめ防止対策推進法 ※関係条項抜粋	9

はじめに

いじめは、いじめを受けた児童生徒の教育を受ける権利を著しく侵害し、その心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を与えるのみならず、その生命又は身体に重大な危険を生じさせるおそれがあるものである。

いじめから一人でも多くの子供を救うためには、子供を取り囲む大人一人一人が、「いじめは絶対に許されない」、「いじめは卑怯な行為である」、「いじめはどの子供にも、どの学校でも起こりうる」との意識を持ち、それぞれの役割と責任を自覚しなければならない。

そこで、平成25年9月28日に施行された「いじめ防止対策推進法」(平成25年法律第71号。以下「法」という。)第12条の規定に基づき、本町においても、これまでの取組の積み重ねを踏まえて、いじめ防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進するための基本的な方針(以下「幸田町いじめ防止基本方針」という。)を策定するものである。

第1 いじめの防止等に関する基本的な考え方

1 いじめ防止等の対策に関する基本理念

法第3条にあるように、いじめは、全ての児童生徒に関係する問題である。いじめの防止等の対策は、全ての児童生徒が安心して学校生活を送り、様々な活動に取り組むことができるよう、学校の内外を問わず、いじめが行われなくなるようにすることを旨として行わなければならない。

また、全ての児童生徒がいじめを行わず、いじめを認識しながら放置することがないよう、いじめの防止等の対策は、いじめが、いじめられた児童生徒の心身に深刻な影響を及ぼす許されない行為であることについて、児童生徒が十分に理解できるようにすることを旨としなければならない。

加えて、いじめ防止等の対策は、いじめを受けた児童生徒の生命・心身を保護することが特に重要であることを認識しつつ、町、学校、地域住民、家庭その他の関係者の連携の下、いじめの問題を克服することを目指して行わなければならない。

2 いじめの定義

法第2条にあるように、「いじめ」とは、「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係※1にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響※2を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの」をいう。

個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的・形式的にすることなく、いじめられた児童生徒の立場に立つことが必要である。この際、いじめには、多様な態様があることを考慮し、法の対象となるいじめに該当するか否かを判断するに当たり、「心身の苦痛を感じているもの」との要件が限定して解釈されることのないよう努めることが大切である。

※1「一定の人的関係」とは、学校の内外を問わず、同じ学校・学級や部活動の児童生徒、当該児童生徒が関わっている塾やスポーツクラブ等の仲間や集団（グループ）など、当該児童生徒との何らかの人間関係がある状態を指す。

※2「物理的な影響」とは、身体的な影響のほか、金品をたかられたり、隠されたり、嫌なことを無理矢理させられたりすることなどを意味する。けんかやふざけ合いであっても、見えない所で被害が発生している場合もあるため、背景にある事情の調査を行い、児童生徒の感じる被害性に着目し、いじめに該当するか否かを判断するものとする。

具体的ないじめの態様は、以下のようなものがある。

- 冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- 仲間はずれ、集団による無視をされる。
- 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。
- ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。
- 金品をたかられる。
- 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。
- 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。
- パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷や嫌なことをされる。 等

3 いじめの理解

いじめは、どの子供にも、どの学校にも起こりうるものである。とりわけ、嫌がらせやいじわる等の「暴力を伴わないいじめ」は、多くの児童生徒が入れ替わりながら被害も加害も経験する。

「暴力を伴わないいじめ」であっても、何度も繰り返されたり多くの者から集中的に行われたりすることで、「暴力を伴ういじめ」とともに、生命又は心身に重大な危険を生じさせうる。

いじめの加害・被害という二者関係だけでなく、学級や部活動等の所属集団の構造上の問題（例えば無秩序性や閉塞性）、「観衆」としてはやし立てたり面白がったりする存在や、周辺で暗黙の了解を与えている「傍観者」の存在にも注意を払い、集団全体にいじめを許容しない雰囲気形成されるようにすることが必要である。

第2 いじめの防止等のために本町が実施する施策

1 幸田町いじめ・不登校対策協議会の設置

- ① 町は、法第14条第1項の趣旨を踏まえ、いじめの防止等に関する機関の連携を図るため、学校、教育委員会、医師会、児童相談所、人権擁護委員、岡崎警察署、町教育相談室等の関係者を構成員とする「幸田町いじめ・不登校対策協議会」を設置する。
- ② 「幸田町いじめ・不登校対策協議会」では、いじめ問題等に対処するため、その指導及び防止の在り方について総合的に検討し、児童生徒の健全育成を図る。また、本町のいじめの防止等に関する取組が、幸田町いじめ防止基本方針に基づき、実効的に行われているかを点検し、今後の取組や施策の充実に生かす。
- ③ 町は、「幸田町いじめ・不登校対策協議会」での連携が、学校におけるいじめ防止等に活用されるよう、町教育委員会との連携を図るために、必要な措置を講じる。

2 教育委員会の附属機関の設置

- ① 法第14条第3項に基づき、学校におけるいじめの防止等の対策を実効的に行うた

めに、教育委員会の附属機関として、条例により、「幸田町いじめ防止対策委員会」を設置する。この附属機関は、専門的知識及び経験を有する第三者をもって構成し、その公平性・中立性を確保する。

- ② 教育委員会が、法第28条第1項に規定する重大事態※3に係る調査を行う必要が生じた場合には、この附属機関により調査を行う。

※3「重大事態」（法第28条第1項）とは

- 一 いじめにより当該学校に在籍する児童等の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき。
- 二 いじめにより当該学校に在籍する児童等が相当の期間（年間30日を目安とする。）学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき。

3 町の取組

(1) いじめの未然防止

- ① 児童生徒の豊かな情操と道徳心を培い、心の通う人間関係を構築する能力の素地を養うことが、いじめの防止に資することを踏まえ、全ての教育活動を通じた道徳教育及び体験活動の充実を図る。
- ② いじめ防止に資する活動であって、児童生徒が自主的に行うものに対する支援を行う。
- ③ 児童生徒及びその保護者並びに学校の教職員に対して、いじめを防止することの重要性に関する理解を深めるための啓発を行う。
- ④ 教職員に対し、いじめの防止等に関する研修の実施等、資質能力の向上に必要な措置を講ずる。
- ⑤ 児童生徒や保護者が、インターネットを通じて行われるいじめの防止と効果的な対処ができるよう、必要な啓発活動を実施する。

(2) いじめの早期発見

- ① 「幸田町教育相談室」等の相談窓口を設置し、いじめに悩む子供や保護者の相談に対応する。また、相談者の意向を踏まえ、問題解決に向けての対応を積極的に進める。

- ② 児童生徒が、悩みを直接相談できる窓口の周知を図り、相談しやすい環境を充実させる。
- ③ 児童生徒に対する定期的な調査その他必要な措置を講ずるよう、学校に対する指導・助言を行う。

(3) いじめに対する措置

- ① 法第23条第2項の規定による学校からの報告を受けたときは、必要に応じ、当該学校に対し必要な支援を行い、若しくは必要な措置を講ずることを指示し、又は当該報告に係る事案について自ら必要な調査を行う。
- ② いじめを受けた児童生徒その他の児童生徒が安心して教育を受けられるようにするために、必要な措置を速やかに講じる。
- ③ いじめが犯罪行為として取り扱われると認めるときは警察と連携して対処することや、児童生徒の生命、心身又は財産に重大な被害を生じる恐れがあるときは直ちに警察に通報し、適切に援助を求める必要があることを、学校に指導・助言するとともに、自らも警察と適切に連携し対応にあたる。

第3 いじめの防止等のために学校が実施する施策

1 学校いじめ防止基本方針の策定

法第13条に基づき、各学校は「学校いじめ防止基本方針」を策定する（以下「学校基本方針」という。）。

学校基本方針には、いじめの情報共有の手順及び情報共有すべき内容を明確に定め、いじめの防止、いじめの早期発見、いじめへの対処など、いじめの防止等全体に係る内容を盛り込む。

その内容は、入学時、各年度の開始時に児童生徒、保護者、関係機関等に説明するとともに、確認できるような措置を講ずる。

また、学校いじめ防止基本方針に基づく取組の実施状況を学校評価の評価項目に位置付けるとともに、その評価結果を踏まえて、学校基本方針の見直しやいじめ防止等のための取組の改善を図る。

2 学校の組織作り

法第22条に基づき、学校は、いじめ問題等に組織的に対応するため、「いじめ・不登校対策委員会」を設置する。

構成員は、校長、教頭、教務主任、校務主任、学年主任、生徒指導担当、養護教諭、スクールカウンセラー等の他、学校の実情に応じて校長が決定する。

また、学校がいじめ等の調査を行う場合は、本組織を母体としつつ、必要な構成員を加えることができる。

3 学校の取組

(1) いじめの未然防止

- ① 児童生徒同士の関わりを大切にし、互いに認め合い、共に成長していく学級づくりを勧める。
- ② 教育活動全体を通して、道徳教育や人権教育の充実に努めるとともに、読書活動・体験活動を推進し、児童生徒の社会性を育み、豊かな情操を培う。
- ③ 情報モラル教育を推進し、児童生徒がネットの正しい利用とマナーについての理解を深め、ネットいじめの加害者、被害者とならないよう継続的に指導する。
- ④ 児童会・生徒会において、いじめ撲滅や命の大切さを呼びかける活動や、相談箱を置く活動等、児童生徒の主体的な活動を推進する。

(2) いじめの早期発見

- ① いじめアンケートや個別面談等を定期的実施し、児童生徒の小さなサインを見逃さないように努める。
- ② 教職員と児童生徒との温かい人間関係づくりや、保護者との信頼関係づくりに努め、いじめ等について相談しやすい体制を整える。
- ③ 休み時間や放課後の雑談の中などで児童生徒の様子に目を配ったり、個人ノートや生活ノート、日記等を活用して交友関係や悩みを把握したりする。

(3) いじめに対する措置

- ① 発見・通報を受けた場合には、特定の教職員で抱え込まず、速やかに、「いじめ・不登校対策委員会」に情報を報告し、組織的に対応して、被害児童生徒を徹底して守り通す。
- ② 必要に応じて、幸田町教育相談室相談員・スクールカウンセラー等の専門家や、警察署・児童相談所等の関係諸機関の協力を得る。
- ③ ネット上のいじめへの対応については、必要に応じて、法務局に協力を求めたり、警察署に連絡し援助を求めたりする。
- ④ 各教職員は、「いじめ・不登校対策委員会」の定めた方針等に沿って、いじめに係る情報を適切に記録しておく。
- ⑤ いじめが「解消している」状態に至った場合でも、当該いじめの被害児童生徒及び加害児童生徒を日常的に注意深く観察するなど、再発防止に努める。

第4 重大事態への対処

1 学校及び教育委員会の対応

- ① 学校は、重大事態が発生した場合、教育委員会を通じて町長に、事態発生について報告する。
- ② 教育委員会は、学校から重大事態の報告を受けた場合、その事案の調査を行う主体や調査組織について判断する。
- ③ 学校が調査を行う場合、「いじめ・不登校対策委員会」を母体として調査や対応を行う。教育委員会は学校の調査及び対応を指導・助言する。
- ④ 教育委員会が調査を行う場合、「幸田町いじめ防止対策委員会」が調査を行う。
- ⑤ この調査は、事実関係を明確にするための調査（背景事情、人間関係における問題、学校・教職員の対応など）であって、因果関係を特定し、民事・刑事上の責任追及やその他の訴訟等への対応を直接目的とするものではなく、学校及び教育委員会が、事実に向き合うことで、当該事態への対処や同種の事態の発生防止を図るものである。

- ⑥ 学校又は教育委員会が調査を行った場合、当該調査に係るいじめを受けた児童生徒及びその保護者に対し、事実関係等その他の必要な情報提供を適切に行うとともに、他の児童生徒のプライバシー保護に配慮するなど、関係者の個人情報の取り扱いには十分配慮する。
- ⑦ 調査の結果については、学校は教育委員会を通じて町長に報告する（法第30条第1項）。

2 町長による再調査及び再調査を踏まえた措置

- ① 町長は、学校や教育委員会が行った調査（法第28条第1項）の結果について報告を受けた場合、当該重大事態への対処又は当該重大事態と同種の事態の発生の防止のため必要があると認めるときは、専門的な知識及び経験を有する第三者等の参加による附属機関（「幸田町いじめ問題調査委員会」）により調査の結果について調査（以下、「再調査」という。）を行う（法第30条第2項）。
- ② 再調査を行った場合、個人のプライバシーに対して必要な配慮を確保した上で、町長はその結果を議会に報告する（法第30条第3項）。
- ③ 再調査を行った場合、町長又は教育委員会は、再調査の結果を踏まえ、指導主事や専門家を派遣するなど、自らの権限及び責任において、当該調査に係る重大事態への対処又は当該重大事態と同種の事態の発生の防止のために必要な措置を講じる。

【参考】

いじめ防止対策推進法（平成25年9月28日施行）※関係条項抜粋

いじめ防止対策推進法

目次

- 第1章 総則（第1条—第10条）
 - 第2章 いじめ防止基本方針等（第11条—第14条）
 - 第3章 基本的施策（第15条—第21条）
 - 第4章 いじめの防止等に関する措置（第22条—第27条）
 - 第5章 重大事態への対処（第28条—第33条）
 - 第6章 雑則（第34条・第35条）
- 附則

第1章 総則

（定義）

- 第2条** この法律において「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。
- 2 この法律において「学校」とは、学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校（幼稚部を除く。）をいう。
- 3 この法律において「児童等」とは、学校に在籍する児童又は生徒をいう。
- 4 この法律において「保護者」とは、親権を行う者（親権を行う者のないときは、未成年後見人）をいう。

（基本理念）

- 第3条** いじめの防止等のための対策は、いじめが全ての児童等に関係する問題であることに鑑み、児童等が安心して学習その他の活動に取り組むことができるよう、学校の内外を問わずいじめが行われなくなるようにすることを旨として行われなければならない。
- 2 いじめの防止等のための対策は、全ての児童等がいじめを行わず、及び他の児童等に対して行われるいじめを認識しながらこれを放置することがないようにするため、いじめが児童等の心身に及ぼす影響その他のいじめの問題に関する児童等の理解を深めることを旨として行われなければならない。
- 3 いじめの防止等のための対策は、いじめを受けた児童等の生命及び心身を保護することが特に重要であることを認識しつつ、国、地方公共団体、学校、地域住民、家庭その他の関係者の連携の下、いじめの問題を克服することを旨として行われなければならない。

第2章 いじめ防止基本方針等

（地方いじめ防止基本方針）

- 第12条** 地方公共団体は、いじめ防止基本方針を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体におけるいじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進するための基本的な方針（以下「地方いじめ防止基本方針」という。）を定めるよう努めるものとする。

(学校いじめ防止基本方針)

第13条 学校は、いじめ防止基本方針又は地方いじめ防止基本方針を参酌し、その学校の実情に応じ、当該学校におけるいじめの防止等のための対策に関する基本的な方針を定めるものとする。

(いじめ問題対策連絡協議会)

第14条 地方公共団体は、いじめの防止等に関係する機関及び団体の連携を図るため、条例の定めるところにより、学校、教育委員会、児童相談所、法務局又は地方法務局、都道府県警察その他の関係者により構成されるいじめ問題対策連絡協議会を置くことができる。

2 都道府県は、前項のいじめ問題対策連絡協議会を置いた場合には、当該いじめ問題対策連絡協議会におけるいじめの防止等に関係する機関及び団体の連携が当該都道府県の区域内の市町村が設置する学校におけるいじめの防止等に活用されるよう、当該いじめ問題対策連絡協議会と当該市町村の教育委員会との連携を図るために必要な措置を講ずるものとする。

3 前2項の規定を踏まえ、教育委員会といじめ問題対策連絡協議会との円滑な連携の下に、地方いじめ防止基本方針に基づく地域におけるいじめの防止等のための対策を実効的に行うようにするため必要があるときは、教育委員会に附属機関として必要な組織を置くことができるものとする。

第4章 いじめの防止等に関する措置

(学校におけるいじめの防止等の対策のための組織)

第22条 学校は、当該学校におけるいじめの防止等に関する措置を実効的に行うため、当該学校の複数の教職員、心理、福祉等に関する専門的な知識を有する者その他の関係者により構成されるいじめの防止等の対策のための組織を置くものとする。

(いじめに対する措置)

第23条 学校の教職員、地方公共団体の職員その他の児童等からの相談に応じる者及び児童等の保護者は、児童等からいじめに係る相談を受けた場合において、いじめの事実があると思われるときは、いじめを受けたと思われる児童等が在籍する学校への通報その他の適切な措置をとるものとする。

2 学校は、前項の規定による通報を受けたときその他当該学校に在籍する児童等がいじめを受けていると思われるときは、速やかに、当該児童等に係るいじめの事実の有無の確認を行うための措置を講ずるとともに、その結果を当該学校の設置者に報告するものとする。

3 学校は、前項の規定による事実の確認によりいじめがあったことが確認された場合には、いじめをやめさせ、及びその再発を防止するため、当該学校の複数の教職員によって、心理、福祉等に関する専門的な知識を有する者の協力を得つつ、いじめを受けた児童等又はその保護者に対する支援及びいじめを行った児童等に対する指導又はその保護者に対する助言を継続的に行うものとする。

4 学校は、前項の場合において必要があると認めるときは、いじめを行った児童等についていじめを受けた児童等が使用する教室以外の場所において学習を行わせる等いじめを受けた児童等その他の児童等が安心して教育を受けられるようにするために必要な措置を講ずるものとする。

5 学校は、当該学校の教職員が第3項の規定による支援又は指導若しくは助言を行うに当たっては、いじめを受けた児童等の保護者といじめを行った児童等の保護者との間で争いが起きることのないよう、いじめの事案に係る情報をこれらの保護者と共有す

るための措置その他の必要な措置を講ずるものとする。

- 6 学校は、いじめが犯罪行為として取り扱われるべきものであると認めるときは所轄警察署と連携してこれに対処するものとし、当該学校に在籍する児童等の生命、身体又は財産に重大な被害が生じるおそれがあるときは直ちに所轄警察署に通報し、適切に、援助を求めなければならない。

第5章 重大事態への対処

(学校の設置者又はその設置する学校による対処)

第28条 学校の設置者又はその設置する学校は、次に掲げる場合には、その事態（以下「重大事態」という。）に対処し、及び当該重大事態と同種の事態の発生の防止に資するため、速やかに、当該学校の設置者又はその設置する学校の下に組織を設け、質問票の使用その他の適切な方法により当該重大事態に係る事実関係を明確にするための調査を行うものとする。

- 一 いじめにより当該学校に在籍する児童等の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき。
- 二 いじめにより当該学校に在籍する児童等が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき。
- 2 学校の設置者又はその設置する学校は、前項の規定による調査を行ったときは、当該調査に係るいじめを受けた児童等及びその保護者に対し、当該調査に係る重大事態の事実関係等その他の必要な情報を適切に提供するものとする。
- 3 第1項の規定により学校が調査を行う場合においては、当該学校の設置者は、同項の規定による調査及び前項の規定による情報の提供について必要な指導及び支援を行うものとする。

(公立の学校に係る対処)

第30条 地方公共団体が設置する学校は、第28条第1項各号に掲げる場合には、当該地方公共団体の教育委員会を通じて、重大事態が発生した旨を、当該地方公共団体の長に報告しなければならない。

- 2 前項の規定による報告を受けた地方公共団体の長は、当該報告に係る重大事態への対処又は当該重大事態と同種の事態の発生の防止のため必要があると認めるときは、附属機関を設けて調査を行う等の方法により、第28条第1項の規定による調査の結果について調査を行うことができる。
- 3 地方公共団体の長は、前項の規定による調査を行ったときは、その結果を議会に報告しなければならない。
- 4 第2項の規定は、地方公共団体の長に対し、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第23条に規定する事務を管理し、又は執行する権限を与えるものと解釈してはならない。
- 5 地方公共団体の長及び教育委員会は、第2項の規定による調査の結果を踏まえ、自らの権限及び責任において、当該調査に係る重大事態への対処又は当該重大事態と同種の事態の発生の防止のために必要な措置を講ずるものとする。

幸田町子ども読書活動推進計画（第三次）の概要

令和2年3月策定
幸田町教育委員会

1 子ども読書活動の意義（抜粋）

平成13年12月に施行された「子どもの読書活動の推進に関する法律」の第2条基本理念に「子ども（おおむね18歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。」と掲げられています。

これまでの取組やアンケートで明らかになった課題に対応するため、また、すべての子どもがさらに主体的に読書活動ができるようにと願い、「幸田町子ども読書活動推進計画（第三次）」を策定しました。

2 基本目標及び重点項目

幸田町では、子どもの読書活動を具体的に推進するため、以下の基本目標と重点項目を設けました。

基本目標1 家庭、地域、学校等における取組の推進

- ① 家庭における発達段階に応じた取組の推進
→ ブックスタートの推進
- ② 町立図書館における発達段階に応じた取組の推進
→ ヤングアダルトコーナーの設置、障がいのある子どもの読書活動の支援
- ③ ボランティア団体の協力による発達段階に応じた取組の推進
→ 出張読み聞かせの継続・充実
- ④ 児童館・子育て支援センターにおける発達段階に応じた取組の推進
→ 「うたとおはなしの会」の実施、本の陳列の工夫
- ⑤ 保育園・幼稚園・学校における発達段階に応じた取組の推進
→ (保・幼) 保護者向けの絵本貸出しの実施、自由遊びの時間を活用した読み聞かせタイムの確保
(学校) 教科学習や特別活動での図書館の利用推進

基本目標2 子ども読書活動推進支援の一層の充実

- ⑥ 普及啓発活動の積極的な推進
→ 「子ども読書の日」や「こどもの読書週間」に合わせたクイズやスタンプラリーの実施
- ⑦ 家庭、地域、学校等の連携・協力の推進
→ 図書館の行う団体貸出の利用、図書館での催しの案内を学校にも掲載
- ⑧ 子ども読書活動推進体制の整備
→ 現在関わりのある組織だけでなく、多方面にわたる情報共有

3 計画の期間

令和2年度から概ね5年間

幸田町子どもの権利に関する条例（抜粋）

平成 23 年 4 月 1 日施行

（前文抜粋）

子どもは、一人の人として、かけがえのない価値と尊厳をもって、この世に誕生しました。子どもたち一人ひとり、独立した人格を持ち、自らの力で未来を切りひらく主人公です。そのためには、生きる権利、こころと体が大切にされる権利、子どもの意見が尊重される権利、学ぶ権利、差別や貧困から救済される権利等の保障が欠かせません。子どもは、その権利が保障される環境の中で、豊かな子ども時代を過ごすことができるのです。そのためには、家庭や学校・地域・行政がしっかりと手を結び合い、子どもたちのよきサポーターでなければなりません。

子どもは、大人とともに幸田町を創っていく大切なパートナーです。

子どもにやさしいまち、大人にとっても親しみ深いまちとなるはずです。子どもが夢を育てること、それは、そこに住むすべての人の希望になります。

私たちは、このようなまちづくりを口指し、幸田町が子どもの権利を尊重するまちであることを明らかにし、幸田町子どもの権利に関する条例を制定します

（条例抜粋）

第 2 章 子どもにとって大切な権利

（安心して生きる権利）

第 5 条 子どもには、安心して生きる権利があります。そのためには、次のことが保障されます。

- (1) 命が守られ、尊い存在として大切にされること。
- (2) 愛情と理解をもって育まれること。
- (3) 年齢や発達にふさわしい環境のもとで生活すること。
- (4) 平和で安全な環境のもとで生活すること。
- (5) 健康を保ち、適切な医療が受けられること。
- (6) 安心できる場所で眠れること。

（自分らしく生きる権利）

第 6 条 子どもには、自分らしく生きる権利があります。そのためには、次のことが保障されます。

- (1) ありのままの自分が認められること。
- (2) 子どもというだけで、不当に扱われないこと。
- (3) 自分の気持ちや考えを大切に、表現できること。
- (4) 自分のことを、年齢や発達に応じて自分で決めること。
- (5) こころの安らぐ居場所を持ち、自由な時間を過ごせること。

（学び育つ権利）

第 7 条 子どもには、学び育つ権利があります。そのためには、次のことが保障されます。

- (1) 必要な知識や情報が得られること。
- (2) 教育を受けたり、自ら学んだりする機会が得られること。
- (3) 文化、芸術及びスポーツを通じて豊かな人間性を育む経験が得られること。

(遊び育つ権利)

第8条 子どもには、遊び育つ権利があります。そのためには、次のことが保障されます。

- (1) 遊びが大切にされること。
- (2) 遊びの場、時間及び仲間が得られること。

(ともに育つ権利)

第9条 子どもには、ともに育つ権利があります。そのためには、次のことが保障されます。

- (1) 保護者とところあたたまる時間を過ごすこと。
- (2) さまざまな世代の人々と触れ合うこと。
- (3) 地域や社会の活動に参加すること。
- (4) 異文化と交流し、対話すること。
- (5) 自然に親しむこと。

(自分を守り、守られる権利)

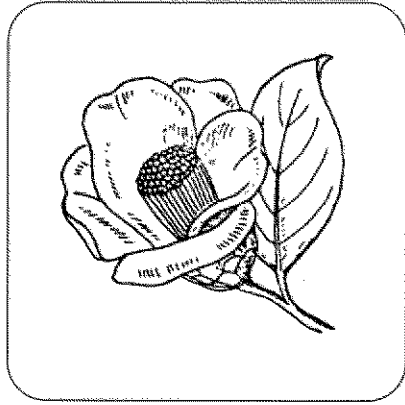
第10条 子どもには、自分を守り、守られる権利があります。そのためには、次のことが保障されます。

- (1) 本人の意思や行動が尊重され、見守られること。
- (2) プライバシーが守られること。
- (3) あらゆる差別を受けないこと。
- (4) いじめ、虐待、体罰その他あらゆるところや体への暴力から守られること。
- (5) 薬物濫用、性的搾取、誘拐その他あらゆる危害から守られること。
- (6) 自分を守るための適切な情報が得られること。
- (7) 困っていることや不安に思っていることを安心して相談できること。

(参加する権利)

第11条 子どもには、参加する権利があります。そのためには、次のことが保障されます。

- (1) 参加に必要な情報が得られること。
- (2) 参加の場で自分の気持ちや考えを表明することができ、尊重されること。
- (3) 年齢や発達にふさわしい活動の機会が得られ、意思決定に参加すること。
- (4) 仲間をつくり、集まり、自治的な活動を行うことができ、適切な支援を受けられること。



町の花 つばき



町の木 やまざくら



健康の町宣言

健康は、心ゆたかで活力に満ち充実した生活を営むための、最も重要な基盤をなす町民共通の願いであります。

私たちは、スポーツに親しみ、心身を鍛え、健康なまちづくりにつとめ、心のふれあう健康で住みよい「ふるさと こうた」の実現をめざします。

ここに、全町民の総意総力を結集して、力強く目標達成にまい進することを宣言します。

昭和63年4月1日

幸 田 町

健康は 伸びる幸田の 底力

